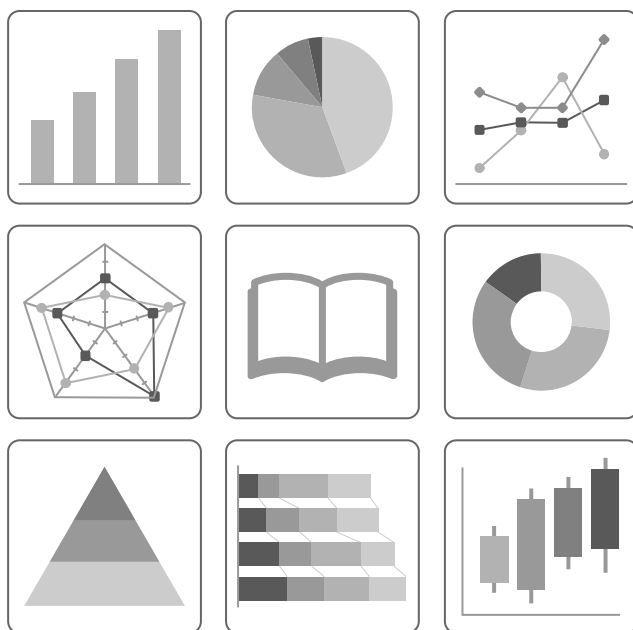


湖南省 子育て支援に関するニーズ調査 調査結果報告書



令和6年10月

湖 南 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	就学前児童保護者	2
(1)	家族構成などについて	2
(2)	子育てをめぐる環境について	6
(3)	家庭の経済状況について	10
(4)	平日の教育・保育の利用などについて	18
(5)	お子さんの病気の際の対応について	25
(6)	地域の子育て支援事業の利用などについて	28
(7)	不定期の教育・保育の利用などについて	31
(8)	お子さんの就学後の放課後や長期休暇中の過ごし方について	33
(9)	子育て全般について	39
2	小学生保護者	43
(1)	家族構成などについて	43
(2)	子育てをめぐる環境について	47
(3)	家庭の経済状況について	52
(4)	放課後や長期休暇中の過ごし方について	60
(5)	お子さんの病気の際の対応について	70
(6)	宿泊を伴う一時預かりなどについて	74
(7)	子育て全般について	75
3	中学生保護者	79
(1)	家族構成などについて	79
(2)	子育てをめぐる環境について	82
(3)	家庭の経済状況について	88
(4)	放課後や長期休暇中の過ごし方について	94
(5)	子育て全般について	97
4	こどもの生活実態調査（小学4年生・5年生、中学1年生・2年生）	101

I 調査の概要

1 調査の目的

湖南省こども計画策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

湖南省在住の0歳から中学校2年生までのお子さんがおられる世帯、市内の公立小中学校に通う小学校4年生・5年生及び中学校1年生・2年生の児童・生徒

3 調査期間

令和6年1月22日から令和6年2月20日

4 調査方法

配布：郵送または学校経由での配布もしくはインターネット

回収：郵送または学校経由での配布もしくはインターネット

5 回収状況

調査種別	調査票	対象	配布数	有効回答数	有効回答率
子育て支援に関する ニーズ調査	A	就学前児童保護者	1,907 通	856 通	44.9%
	B	小学生保護者	2,967 通	1,346 通	45.4%
子育て世帯の意識・ 生活実態調査	C	中学生保護者	938 通	472 通	50.3%
こどもの生活実態調査	D	小学校4年生・5年生 中学校1年生・2年生	1,941 通	1,867 通	96.2%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を除いているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

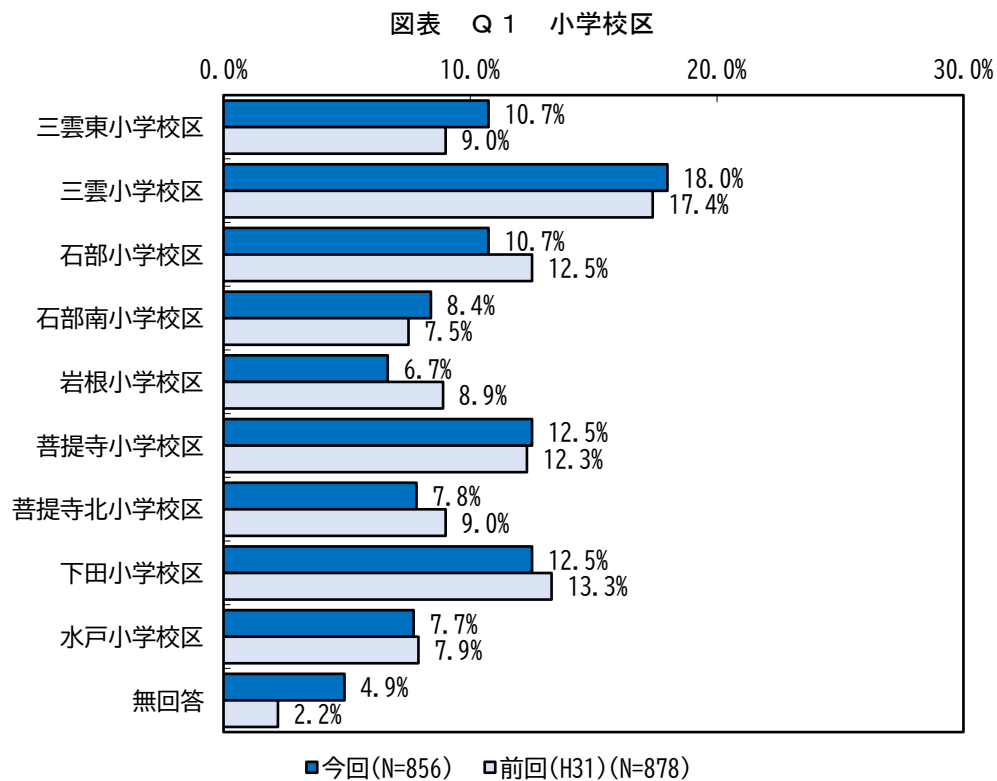
Ⅱ 調査結果

1 就学前児童保護者

(1) 家族構成などについて

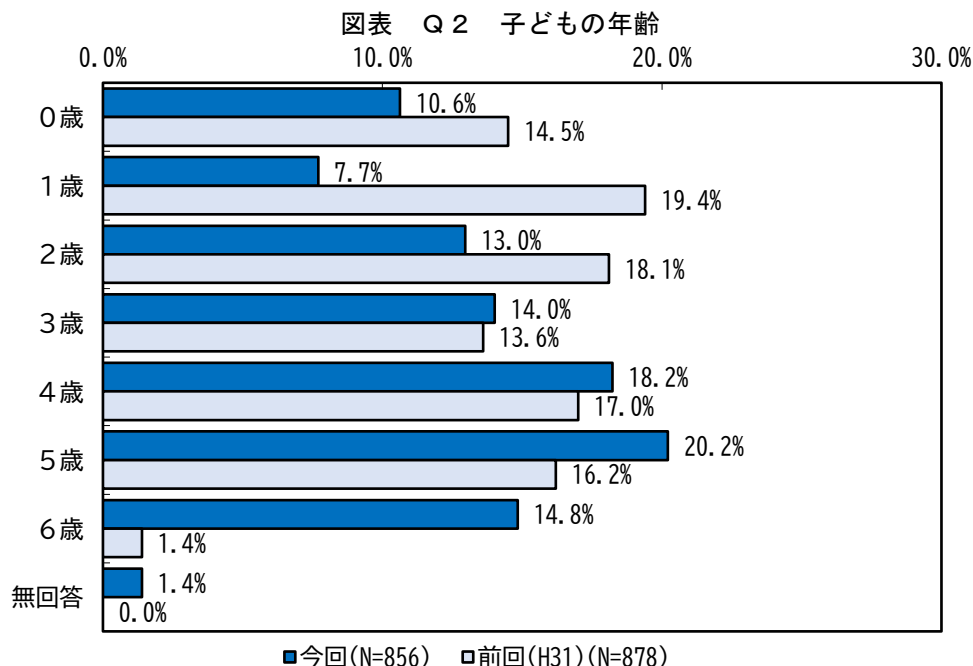
Q 1 どちらの区にお住まいですか。区名をご記入ください。

小学校区についてみると、「三雲小学校区」(18.0%) が最も多く、次いで「菩提寺小学校区」、
「下田小学校区」(いずれも 12.5%) となっています。



Q 2 宛名のお子さんの生年月を西暦でご記入ください。

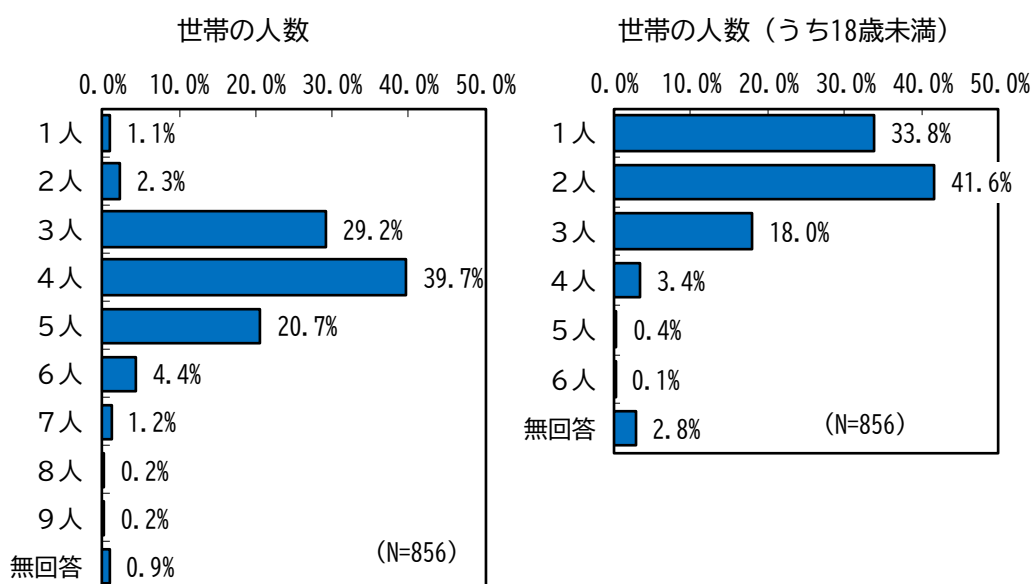
子どもの年齢についてみると、「5歳」(20.2%)が最も多く、次いで「4歳」(18.2%)、「6歳」(14.8%)となっています。



Q 3 世帯の人数と末のお子さん（お子さんがひとりの場合はそのお子さん）の年齢をご記入ください。

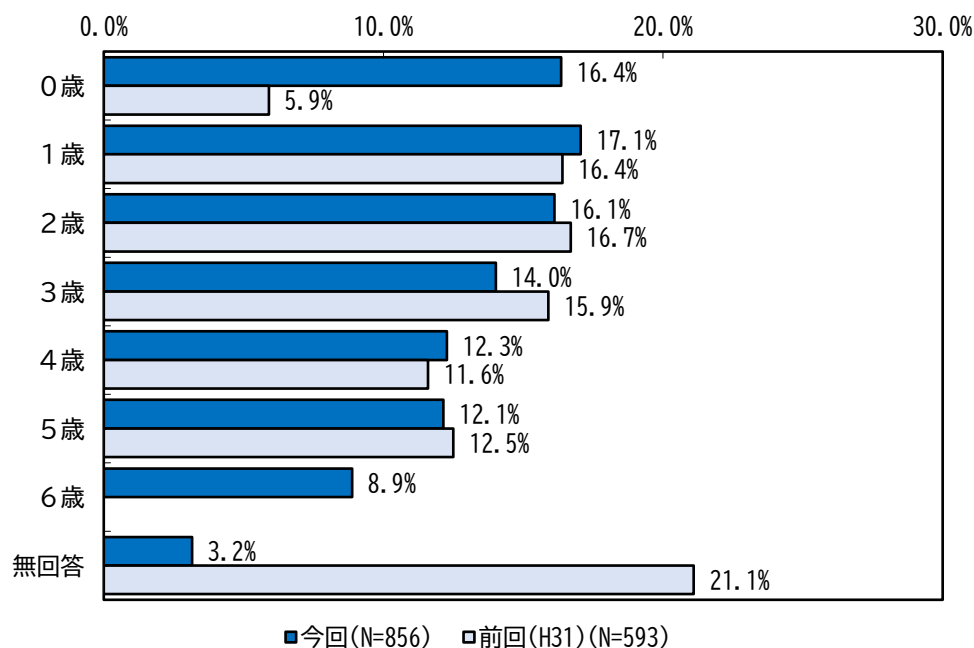
世帯の人数についてみると、「4人」(39.7%)が最も多く、次いで「3人」(29.2%)、「5人」(20.7%)となっています。うち18歳未満についてみると、「2人」(41.6%)が最も多く、次いで「1人」(33.8%)、「3人」(18.0%)となっています。

図表 Q 3 (1) 世帯の人数



末子の年齢についてみると、「1歳」（17.1％）が最も多く、次いで「0歳」（16.4％）、「2歳」（16.1％）となっています。

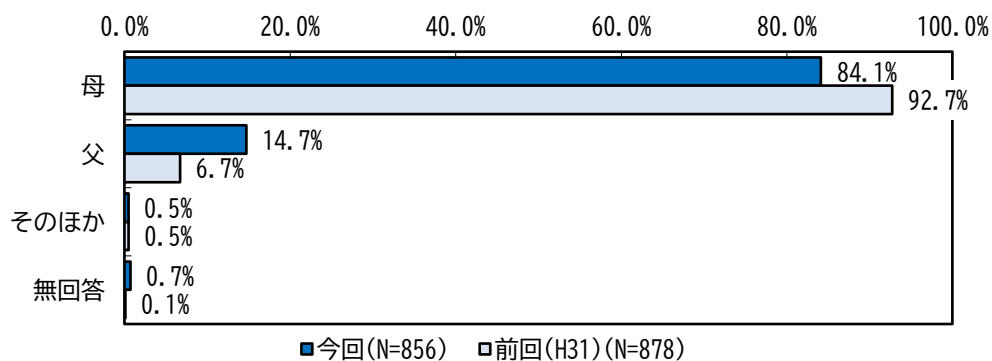
図表 Q3（2） 末子の年齢



Q4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか（お子さんからみた続柄）。

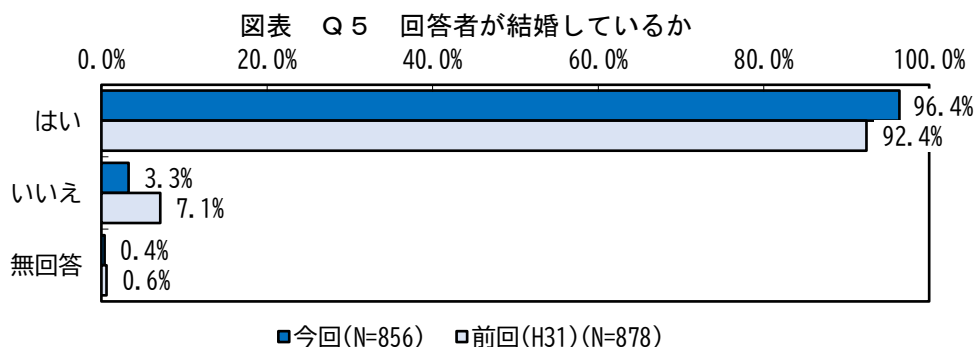
回答者についてみると、「母」が84.1％、「父」が14.7％となっています。

図表 Q4 回答者



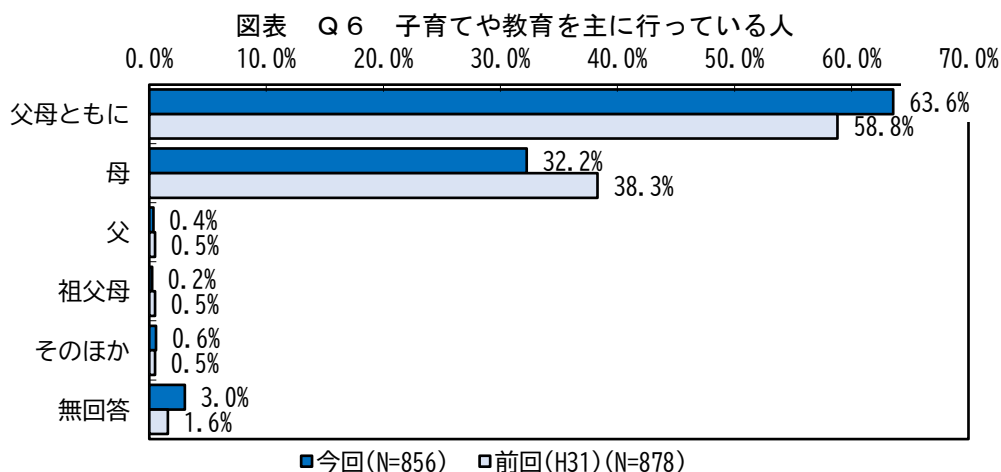
Q 5 ご回答いただいている方はご結婚されていますか（事実婚のパートナーも含みます）。

回答者が結婚しているかについてみると、「はい」が96.4%、「いいえ」が3.3%となっています。



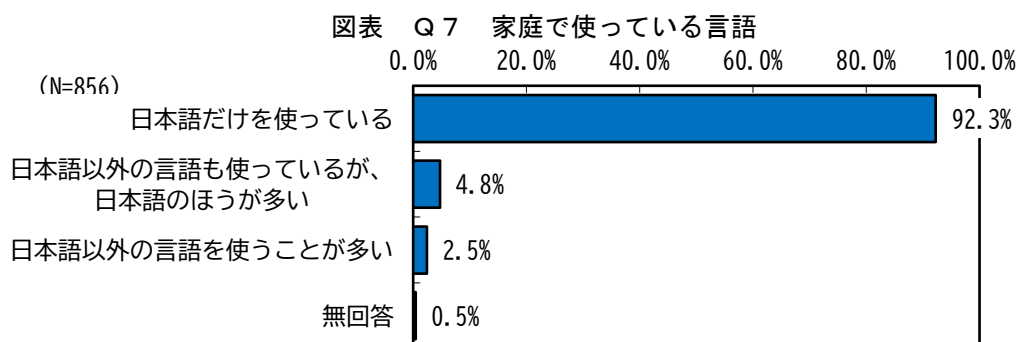
Q 6 お子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。

子育てや教育を主に行っている人についてみると、「父母ともに」(63.6%)が最も多く、次いで「母」(32.2%)となっています。



Q 7 ご家庭ではどれくらい日本語を使っていますか。

家庭で使っている言語についてみると、「日本語だけを使っている」(92.3%)が多く、次いで「日本語以外の言語も使っているが、日本語のほうが多い」(4.8%)、「日本語以外の言語を使うことが多い」(2.5%)となっています。

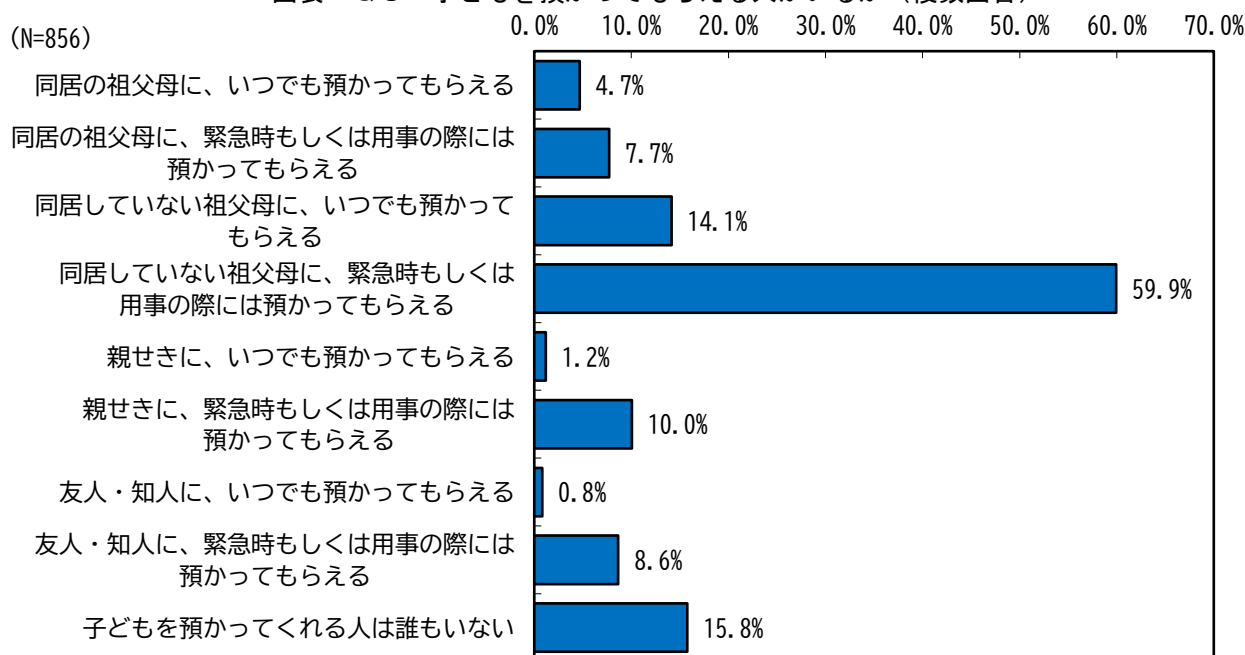


(2) 子育てをめぐる環境について

Q 8 日頃、お子さんを預かってもらえる祖父母や親せき、知人はいますか。あてはまるものをすべて選んでください。

子どもを預かってもらえる人がいるかについてみると、「同居していない祖父母に、緊急時もしくは用事の際には預かってもらえる」(59.9%)が最も多く、次いで「子どもを預かってくれる人は誰もいない」(15.8%)、「同居していない祖父母に、いつでも預かってもらえる」(14.1%)となっています。

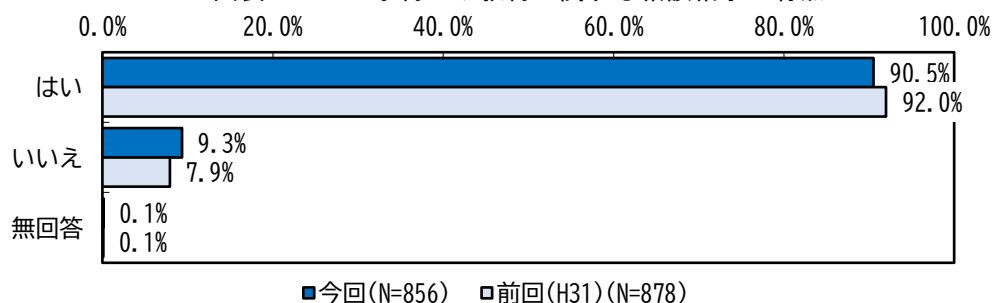
図表 Q 8 子どもを預かってもらえる人がいるか(複数回答)



Q 9 お子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所がありますか。

子育てや教育に関する相談相手の有無についてみると、「はい」が90.5%、「いいえ」が9.3%となっています。

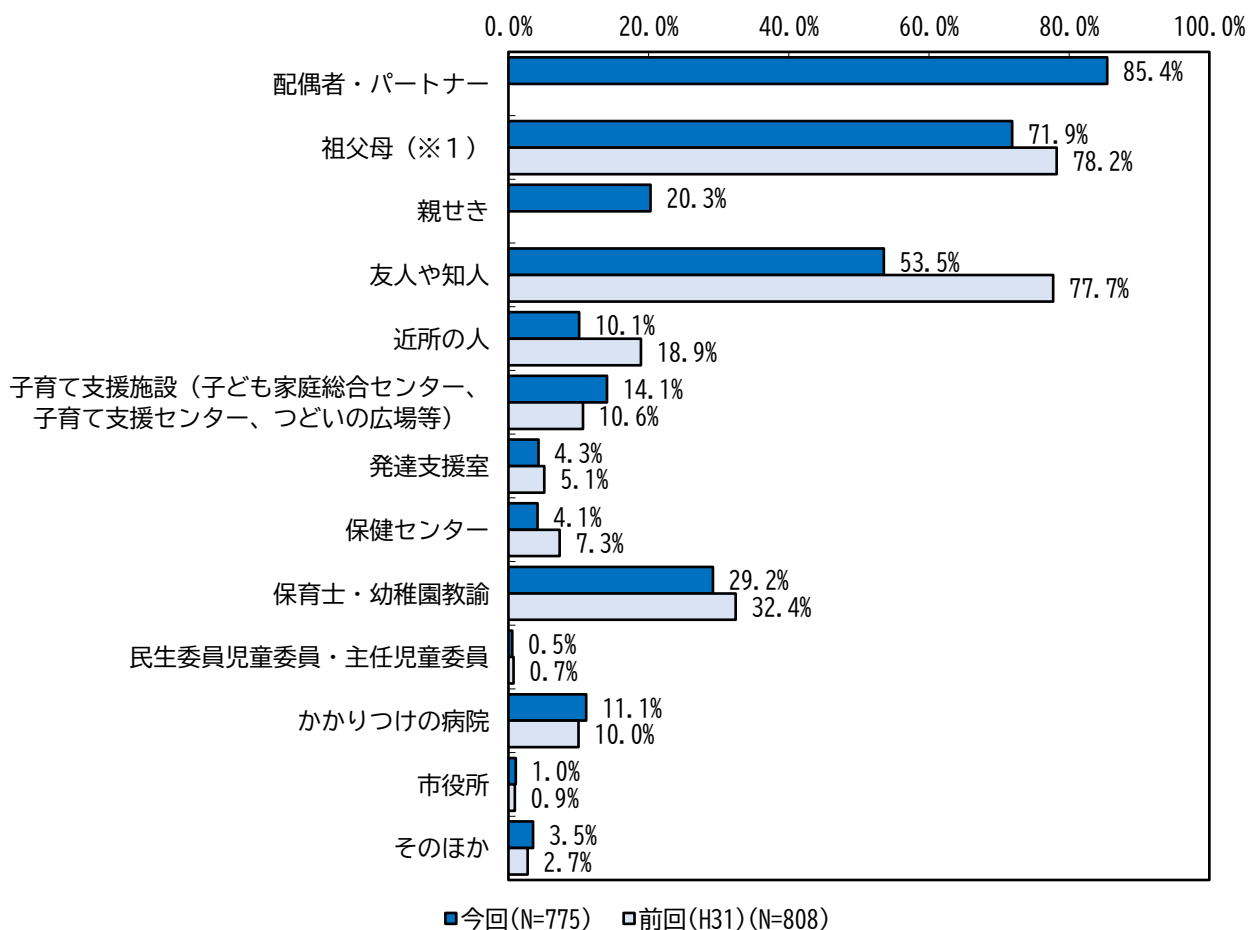
図表 Q 9 子育てや教育に関する相談相手の有無



Q 9－1 どのような人（場所）に相談していますか。あてはまるものをすべて選んでください。

相談相手についてみると、「配偶者・パートナー」(85.4%)が最も多く、次いで「祖父母」(71.9%)、「友人や知人」(53.5%)となっています。

図表 Q 9－1 相談相手（複数回答）

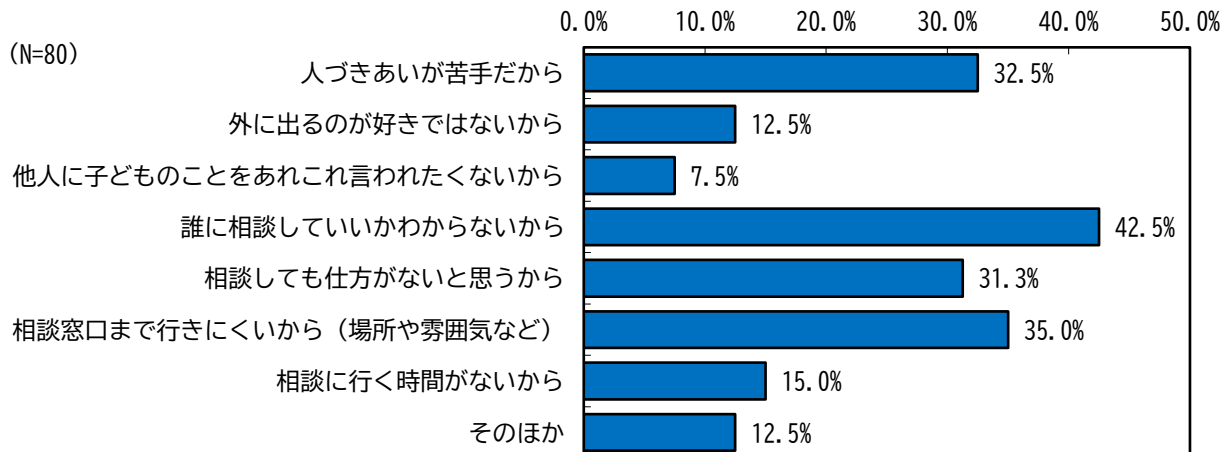


(※1) 前は「祖父母等の親戚」としていた。

Q 9 - 2 相談できる人や場所がないのはなぜですか。あてはまるものをすべて選んでください。

相談できる人や場所がない理由についてみると、「誰に相談していいかわからないから」(42.5%)が最も多く、次いで「相談窓口まで行きにくいから(場所や雰囲気など)」(35.0%)、「人づきあいが苦手だから」(32.5%)となっています。

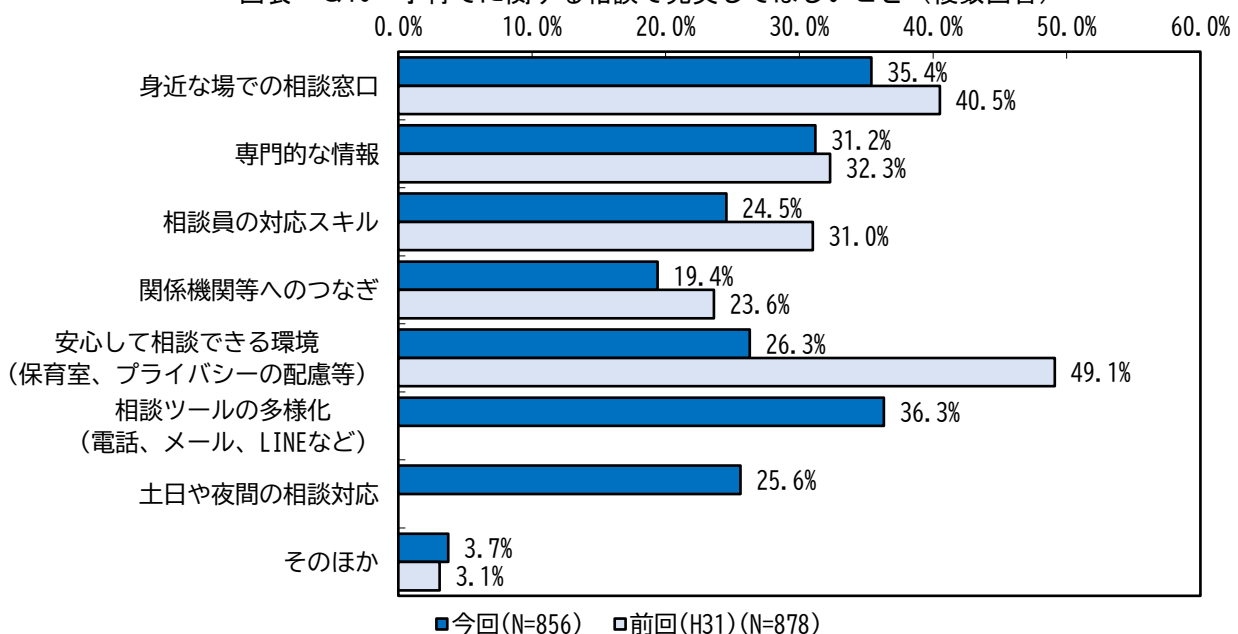
図表 Q 9 - 2 相談できる人や場所がない理由(複数回答)



Q10 子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

子育てに関する相談で充実してほしいことについてみると、「相談ツールの多様化(電話、メール、LINEなど)」(36.3%)が最も多く、次いで「身近な場での相談窓口」(35.4%)、「専門的な情報」(32.3%)となっています。

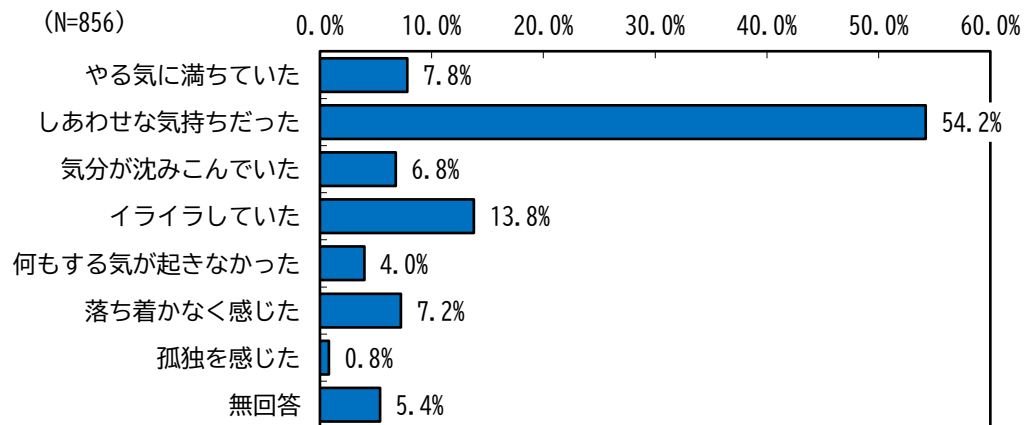
図表 Q10 子育てに関する相談で充実してほしいこと(複数回答)



**Q11 子育てに限らずお考えください。この1か月あなたの気持ちはどのようなでしたか。
最も多く感じた気持ちをひとつ選んでください。**

この1か月の気持ちについてみると、「しあわせな気持ちだった」(54.2%)が最も多く、次いで「イライラしていた」(13.8%)、「やる気に満ちていた」(7.8%)となっています。

図表 Q11 この1か月の気持ち



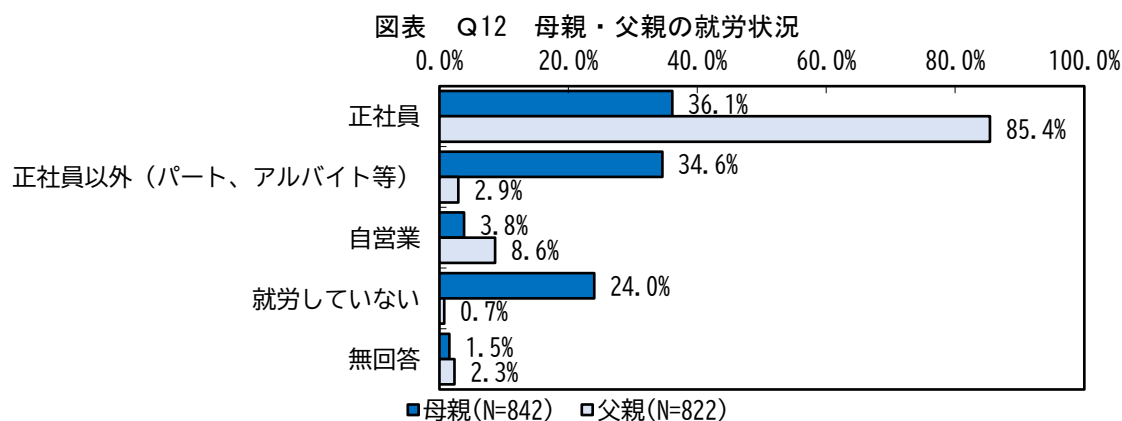
(3) 家庭の経済状況について

Q12 保護者の方の現在の就労状況は、次のどれにあてはまりますか。回答者ご本人と、配偶者（パートナー）の状況についてお答えください。産前産後休暇、育児休業、介護休業に入っている方は、休業に入る前の状況でお答えください。
※ひとり親家庭の方は、ご本人分のみお答えください。

1) 保護者の就労状況

母親の就労状況についてみると、「正社員」(36.1%)が最も多く、次いで「正社員以外（パート、アルバイト等）」(34.6%)、「就労していない」(24.0%)となっています。

父親の就労状況についてみると、「正社員」(85.4%)が最も多く、次いで「自営業」(8.6%)、「正社員以外（パート、アルバイト等）」(2.9%)となっています。



(Q12で「正社員」「正社員以外」「自営業」を選択した人)

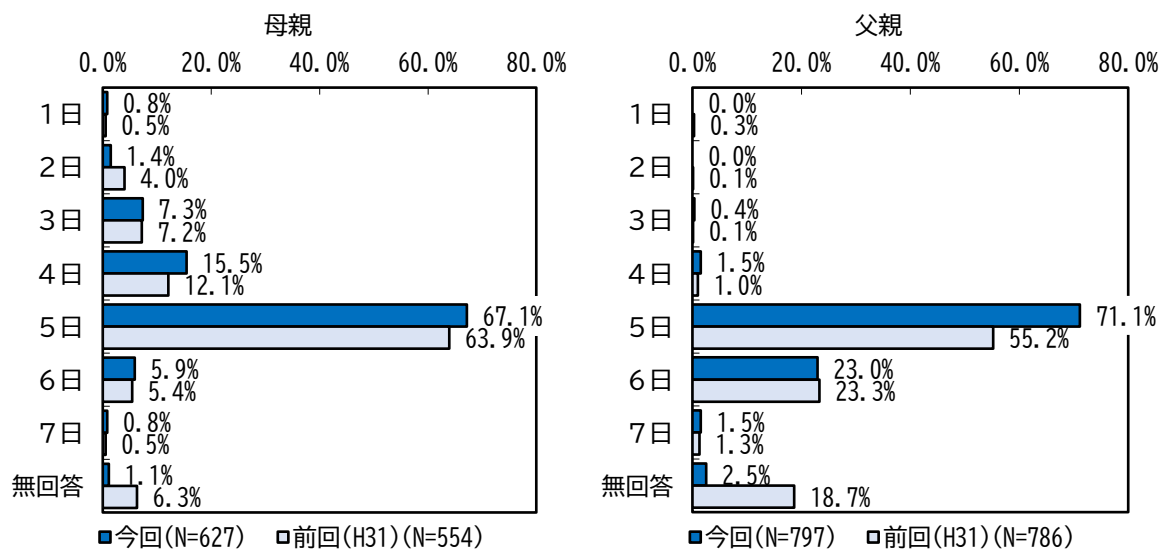
Q12-1 普段の勤務時間はどのくらいですか。もっとも多いパターンでお答えください。休業中の方は休業前の状況をお答えください。

1) 週あたりの勤務日数

母親の週あたりの勤務日数についてみると、「5日」(67.1%)が最も多く、次いで「4日」(15.5%)、「3日」(7.3%)となっています。

父親の週あたりの勤務日数についてみると、「5日」(71.1%)が最も多く、次いで「6日」(23.0%)、「7日」(1.5%)となっています。

図表 Q12-1 (1) 週あたりの勤務日数

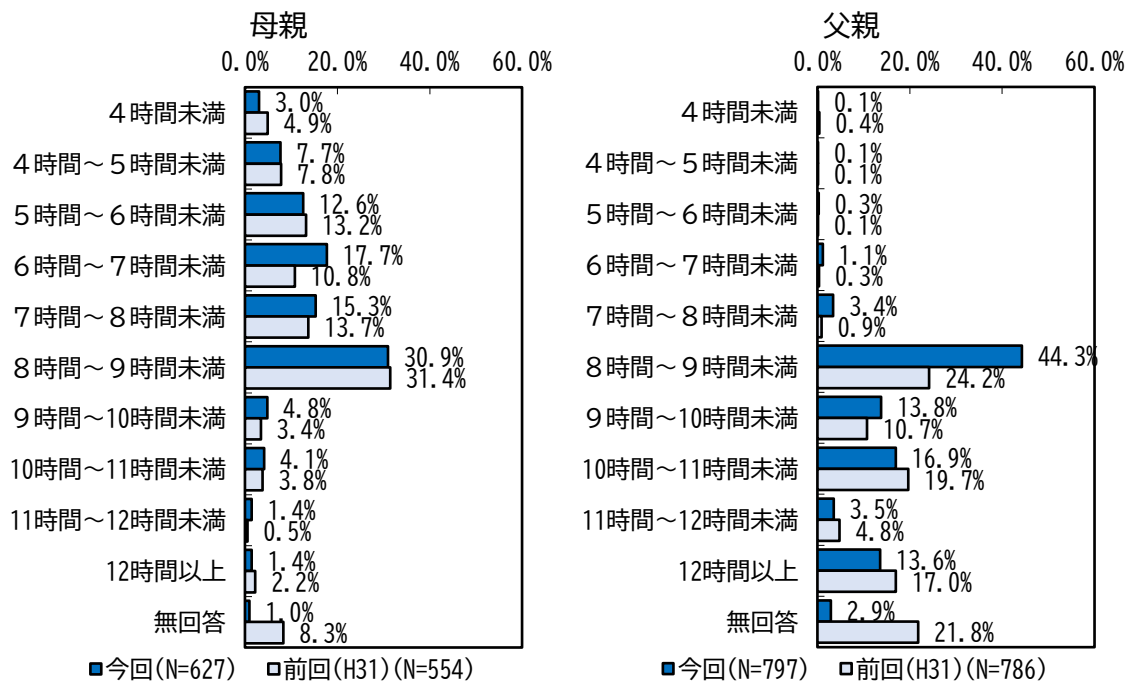


2) 1日あたりの勤務時間

母親の1日あたりの勤務時間についてみると、「8時間～9時間未満」(30.9%)が最も多く、次いで「6時間～7時間未満」(17.7%)、「7時間～8時間未満」(15.3%)となっています。

父親の1日あたりの勤務時間についてみると、「8時間～9時間未満」(44.3%)が最も多く、次いで「10時間～11時間未満」(16.9%)、「9時間～10時間未満」(13.8%)となっています。

図表 Q12-1(2) 1日あたりの勤務時間

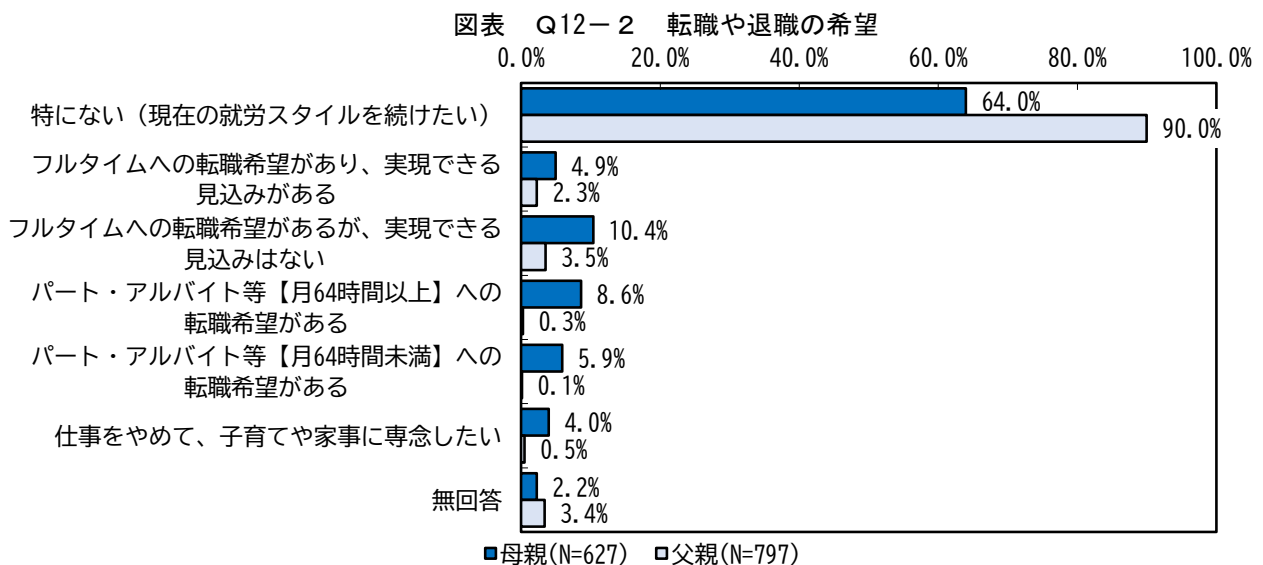


(Q12で「正社員」「正社員以外」「自営業」を選択した人)

Q12-2 今後、転職や退職の希望はありますか。

母親の転職や退職の希望についてみると、「特にない（現在の就労スタイルを続けたい）」（64.0%）が最も多く、次いで「フルタイムへの転職希望があるが、実現できる見込みはない」（10.4%）、「パート・アルバイト等【月64時間以上】への転職」（8.6%）となっています。

父親の転職や退職の希望についてみると、「特にない（現在の就労スタイルを続けたい）」（90.0%）が最も多く、次いで「フルタイムへの転職希望があるが、実現できる見込みはない」（3.5%）、「フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある」（2.3%）となっています。

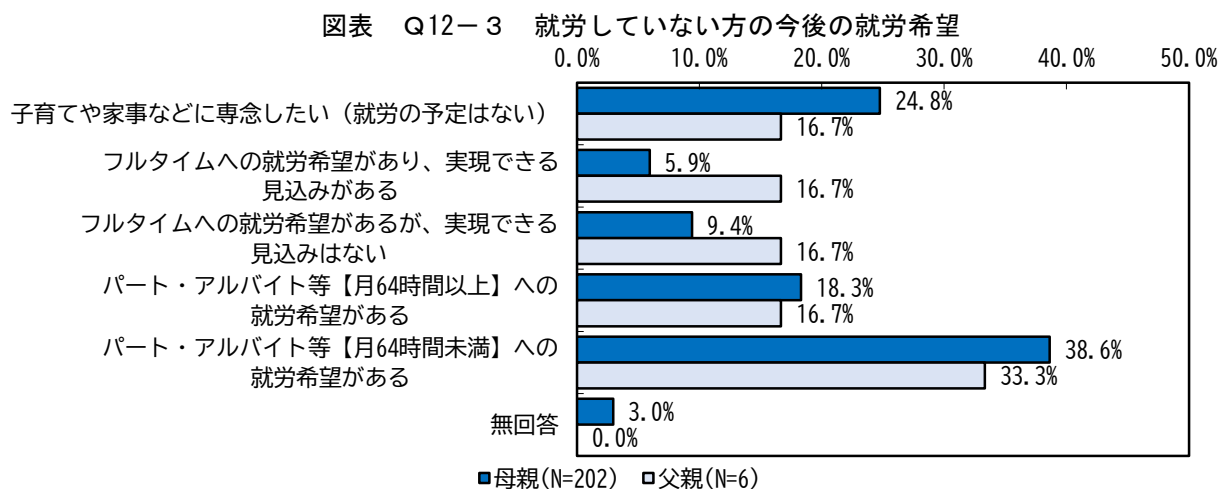


(Q12で「就労していない」を選択した人)

Q12-3 今後、就労したいという希望はありますか。

就労していない母親の今後の就労希望についてみると、「パート・アルバイト等【月64時間未満】への就労希望がある」(38.6%)が最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(24.8%)、「パート・アルバイト等【月64時間以上】への就労希望がある」(18.3%)となっています。

注：父親については回答数が6人のためグラフのみ示しています。



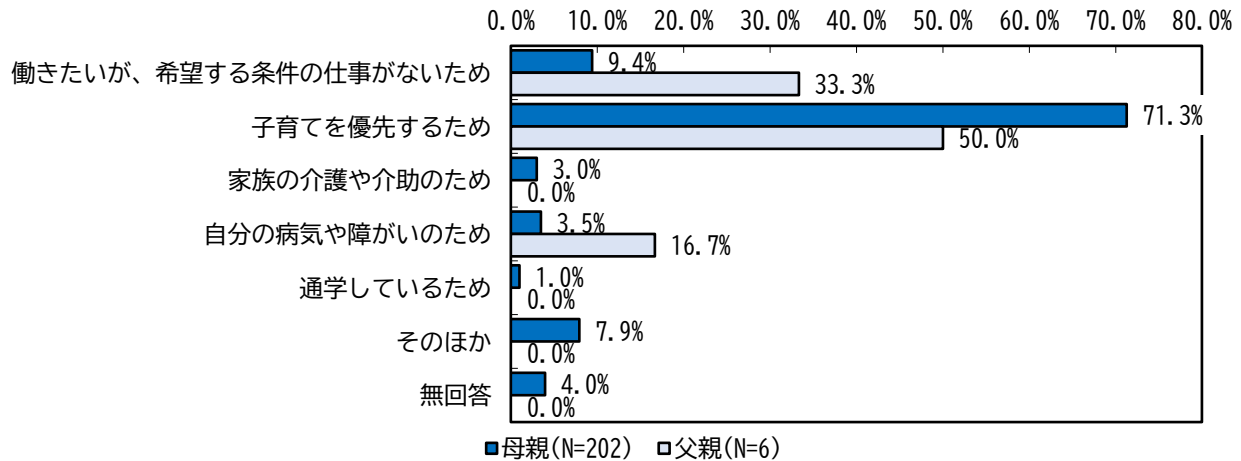
(Q12で「就労していない」を選択した人)

Q12-4 働いていない最も主な理由をひとつ選んでください。

母親の働いていない理由についてみると、「子育てを優先するため」(71.3%)が最も多く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」(9.4%)、「そのほか」(7.9%)となっています。

注：父親については回答数が6人のためグラフのみ示しています。

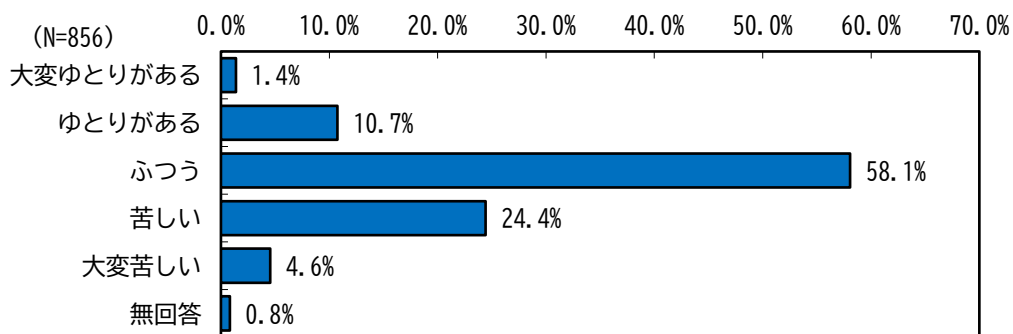
図表 Q12-4 母親・父親の働いていない理由



Q13 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。あてはまるものをひとつ選んでください。

現在の暮らしの状況についてみると、「ふつう」(58.1%)が最も多く、次いで「苦しい」(24.4%)、「ゆとりがある」(10.7%)となっています。

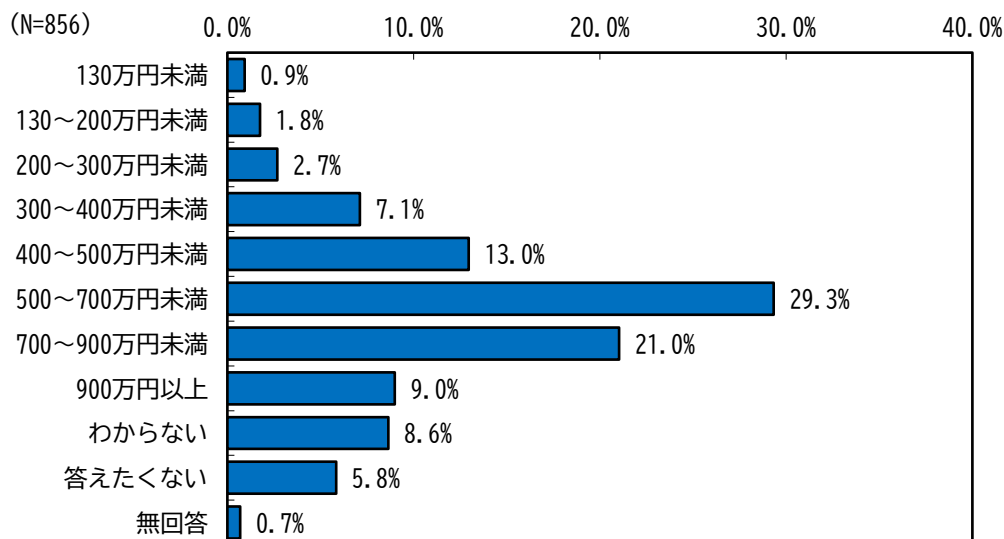
図表 Q13 現在の暮らしの状況



Q14 世帯全員の年間収入（税金などを引かれる前の金額）は合計でいくらですか。同居し、生計を同一にしている家族全員の収入について、あてはまるものをひとつ選んでください。（収入には、給与のほか、公的年金、児童手当等の諸手当、家賃収入、仕送りなども含みます）

世帯収入についてみると、「500～700 万円未満」（29.3%）が最も多く、次いで「700～900 万円未満」（21.0%）、「400～500 万円未満」（13.0%）となっています。

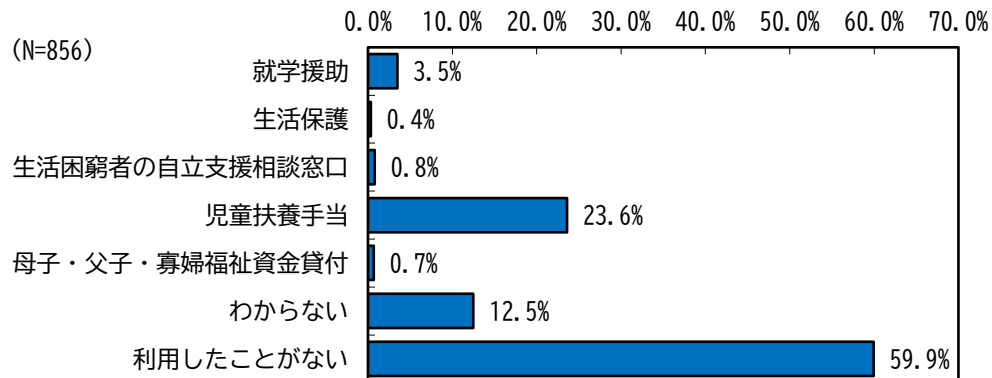
図表 Q14 世帯収入



Q15 あなたの家庭では、以下の支援制度をこれまで利用したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

支援制度の利用についてみると、「利用したことがない」が59.9%となっています。利用したことのある支援制度では「児童扶養手当」(23.6%)が最も多く、次いで「就学援助」(3.5%)となっています。また、「わからない」が12.5%となっています。

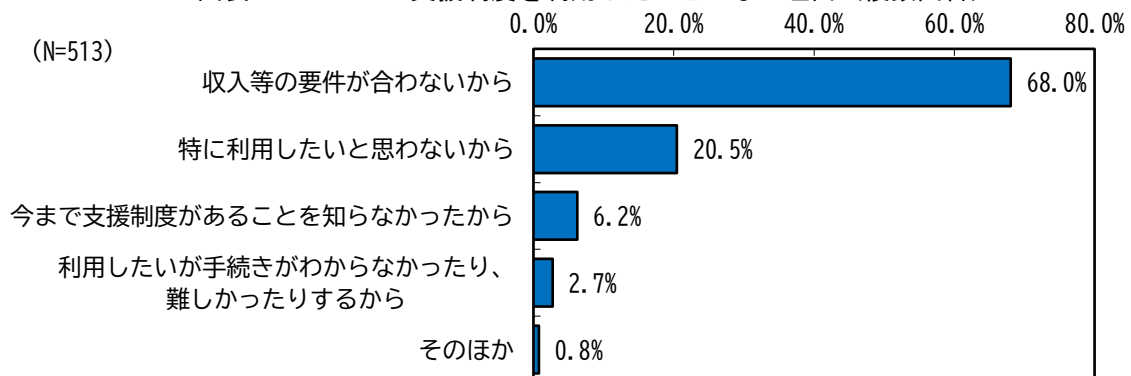
図表 Q15 利用したことのある支援制度（複数回答）



Q15－1 利用したことがない理由はなんですか。あてはまるものをすべて選んでください。

支援制度を利用したことがない理由についてみると、「収入等の要件が合わないから」(68.0%)が最も多く、次いで「特に利用したいと思わないから」(20.5%)、「今まで支援制度があることを知らなかったから」(6.2%)となっています。

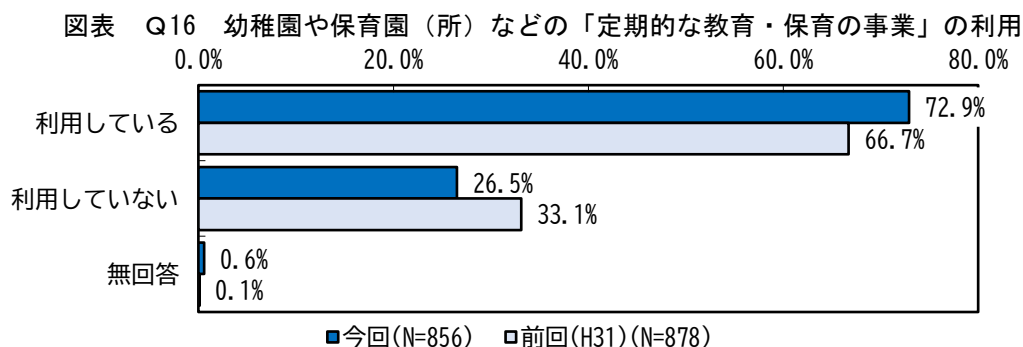
図表 Q15－1 支援制度を利用したことがない理由（複数回答）



(4) 平日の教育・保育の利用などについて

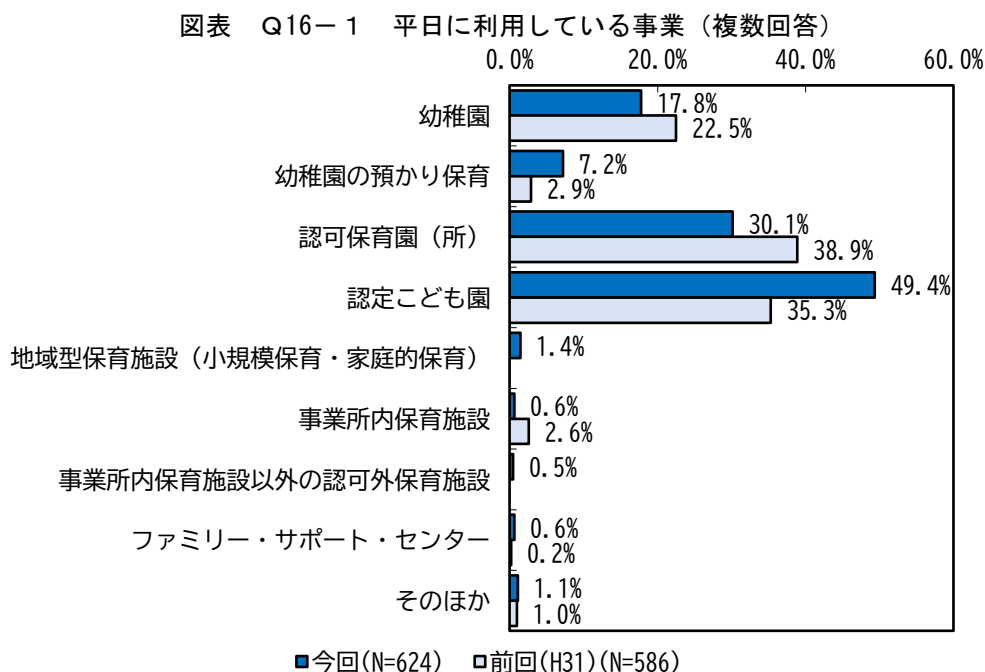
Q16 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園（所）などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

幼稚園や保育園（所）などの「定期的な教育・保育の事業」の利用についてみると、「利用している」が72.9%、「利用していない」が26.5%となっています。



Q16-1 利用している方におたずねします。平日はどのような事業を利用していますか。あてはまるものをすべて選んでください。

平日に利用している事業についてみると、「認定こども園」(49.4%)が最も多く、次いで「認可保育園（所）」(30.1%)、「幼稚園」(17.8%)となっています。



※「地域型保育施設（小規模保育・家庭的保育）」「事業所内保育施設以外の認可外保育施設」は前回項目なし、また、前回のみの項目として「その他の認可外の保育施設」(0.3%)、「居宅訪問型保育」(0.0%)、「児童発達支援（ぞうさん教室）等」(3.6%)がある。

【子どもの年齢別】

平日に利用している事業を子どもの年齢別にみると、「1歳」「3歳」は「認可保育園（所）」、「2歳」、「4歳」～「6歳」は「認定こども園」がそれぞれ最も多くなっています。

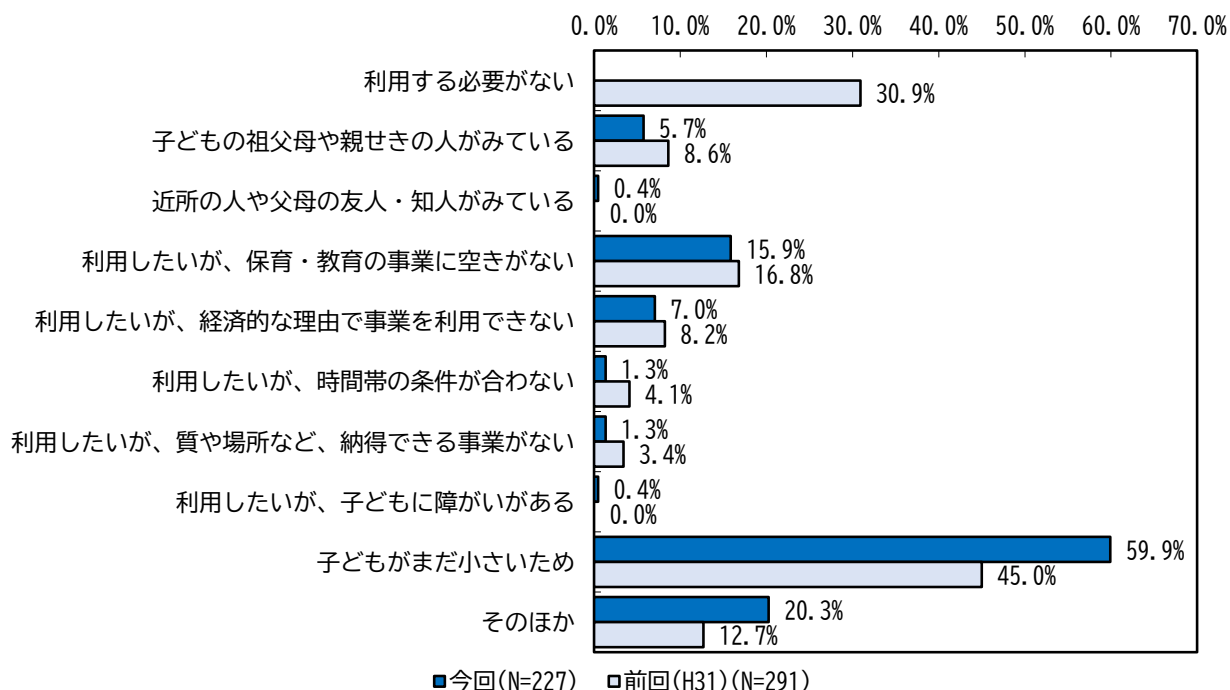
図表 子の年齢別 Q16-1 平日に利用している事業（複数回答）

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園（所）	認定こども園	地域型保育施設（小規模保育・家庭的保育）	事業所内保育施設	事業所内保育施設以外 の認可外保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	有効回答数
0歳	0	0	1	1	0	0	0	1	0	3
	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%
1歳	0	0	12	7	3	0	1	0	0	23
	0.0%	0.0%	52.2%	30.4%	13.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	100.0%
2歳	2	1	23	27	2	2	1	0	2	60
	3.3%	1.7%	38.3%	45.0%	3.3%	3.3%	1.7%	0.0%	3.3%	100.0%
3歳	3	1	43	29	2	2	0	1	3	82
	3.7%	1.2%	52.4%	35.4%	2.4%	2.4%	0.0%	1.2%	3.7%	100.0%
4歳	40	13	39	80	1	0	0	0	0	155
	25.8%	8.4%	25.2%	51.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
5歳	39	14	43	90	0	0	1	2	1	172
	22.7%	8.1%	25.0%	52.3%	0.0%	0.0%	0.6%	1.2%	0.6%	100.0%
6歳	26	15	26	70	1	0	0	0	0	123
	21.1%	12.2%	21.1%	56.9%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q16-2 利用していない方におたずねします。利用していない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

事業を利用していない理由についてみると、「子どもがまだ小さいため」(59.9%)が最も多く、次いで「そのほか」(20.3%)、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」(15.9%)となっています。

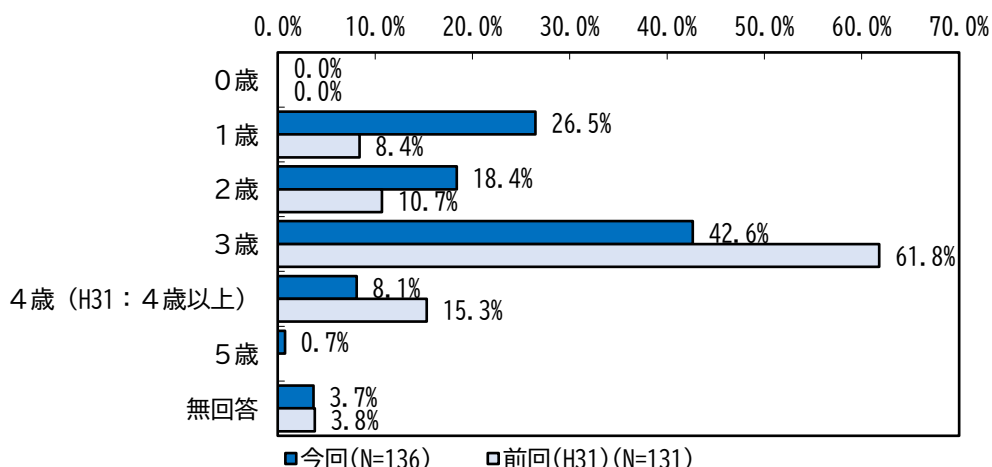
図表 Q16-2 事業を利用していない理由（複数回答）



注：「利用する必要がない」は、前回調査のみの選択肢。

利用していない理由の「子どもがまだ小さいため」とした年齢についてみると、「3歳」(42.6%)が最も多く、次いで「1歳」(26.5%)、「2歳」(18.4%)となっています。

図表 Q16-2 「子供がまだ小さいため」の年齢

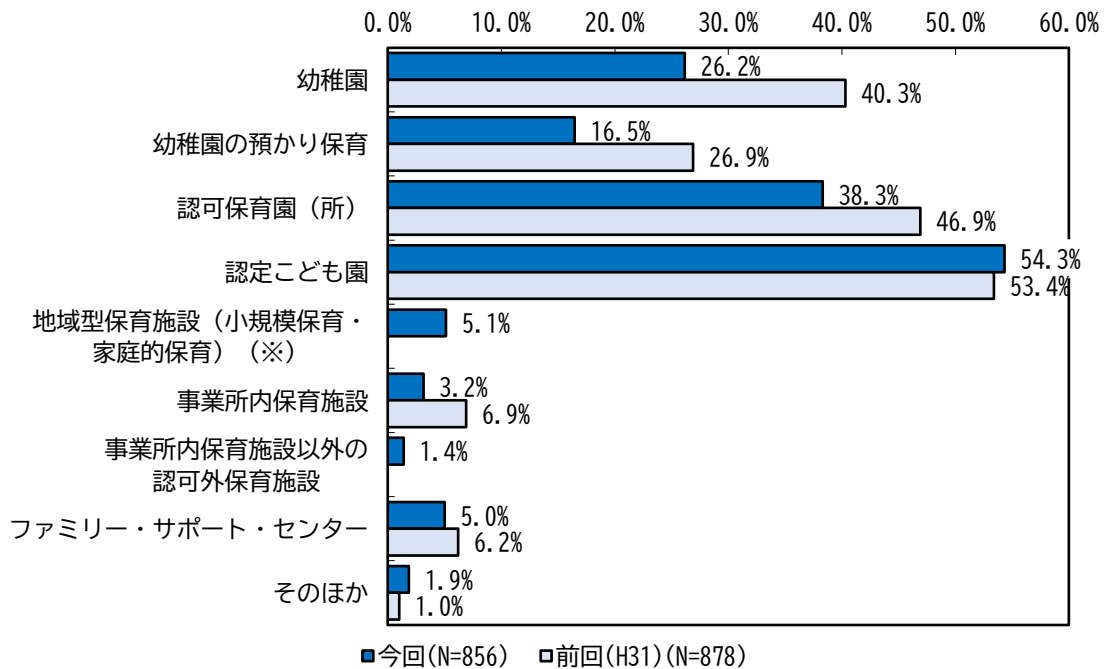


注：4・5歳について、前回調査では「4歳以上」となっている。

Q17 すべての方におたずねします。現在の利用状況にかかわらず、今後、平日に「定期的」に利用したいと思うのはどの事業ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

今後、平日に定期的に利用したい事業についてみると、「認定こども園」(54.3%)が最も多く、次いで「認可保育園(所)」(38.3%)、「幼稚園」(26.2%)となっています。

図表 Q17 今後、平日に定期的に利用したい事業(複数回答)



※「地域型保育施設(小規模保育・家庭的保育)」は前回「小規模な保育施設」(8.0%)、「家庭的保育」(3.2%)の2項目に分かれていた。「事業所内保育施設以外の認可外保育施設」は前回項目なし。また、前回のみの項目として「その他の認可外の保育施設」(0.2%)、「居宅訪問型保育」(1.6%)、「児童発達支援(ぞうさん教室)等」(4.7%)がある。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0歳、1歳では、「認可保育園（所）」が、2歳以上では「認定こども園」が最も多くなっています。

図表 子どもの年齢別 Q17 今後、平日に定期的にご利用したい事業（複数回答）

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園（所）	認定こども園	地域型保育施設（小規模保育・家庭的保育）	事業所内保育施設	事業所内保育施設以外の認可外保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	有効回答数
0歳	30	17	51	48	11	6	0	5	1	91
	33.0%	18.7%	56.0%	52.7%	12.1%	6.6%	0.0%	5.5%	1.1%	100.0%
1歳	19	8	39	35	10	5	4	8	0	66
	28.8%	12.1%	59.1%	53.0%	15.2%	7.6%	6.1%	12.1%	0.0%	100.0%
2歳	38	16	53	70	4	4	3	4	1	111
	34.2%	14.4%	47.7%	63.1%	3.6%	3.6%	2.7%	3.6%	0.9%	100.0%
3歳	30	14	58	60	4	5	2	7	4	120
	25.0%	11.7%	48.3%	50.0%	3.3%	4.2%	1.7%	5.8%	3.3%	100.0%
4歳	38	30	45	84	5	1	1	7	2	156
	24.4%	19.2%	28.8%	53.8%	3.2%	0.6%	0.6%	4.5%	1.3%	100.0%
5歳	43	29	49	96	5	5	1	6	2	173
	24.9%	16.8%	28.3%	55.5%	2.9%	2.9%	0.6%	3.5%	1.2%	100.0%
6歳	22	25	33	70	5	1	1	6	6	127
	17.3%	19.7%	26.0%	55.1%	3.9%	0.8%	0.8%	4.7%	4.7%	100.0%

【母の就労状況別】

母の就労状況別にみると、就労している場合は「認定こども園」が最も多く、就労していない場合は「幼稚園」が最も多くなっています。

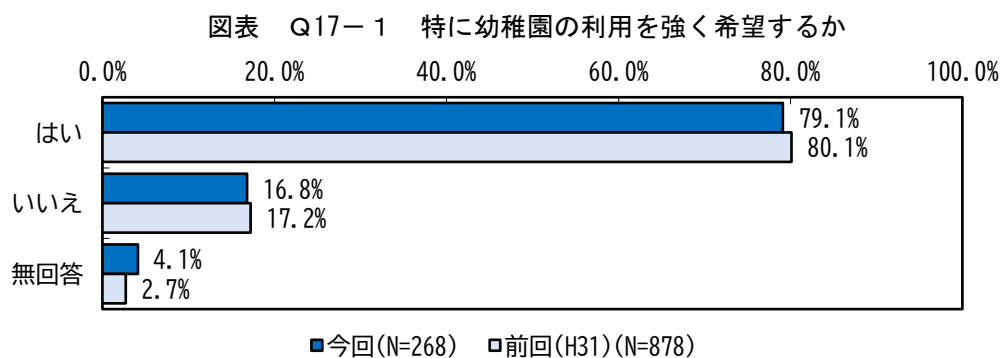
図表 母親の就労状況別 Q17 今後、平日に定期的にご利用したい事業（複数回答）

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園（所）	認定こども園	地域型保育施設（小規模保育・家庭的保育）	事業所内保育施設	事業所内保育施設以外の認可外保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	有効回答数
正社員	33	29	148	168	13	14	5	21	3	304
	10.9%	9.5%	48.7%	55.3%	4.3%	4.6%	1.6%	6.9%	1.0%	100.0%
正社員以外（パート、	65	55	111	161	19	8	4	12	6	291
	22.3%	18.9%	38.1%	55.3%	6.5%	2.7%	1.4%	4.1%	2.1%	100.0%
自営業	9	7	9	19	2	1	1	2	0	32
	28.1%	21.9%	28.1%	59.4%	6.3%	3.1%	3.1%	6.3%	0.0%	100.0%
就労していない	112	50	51	103	8	4	1	8	7	202
	55.4%	24.8%	25.2%	51.0%	4.0%	2.0%	0.5%	4.0%	3.5%	100.0%

幼稚園の利用希望がある方（Q17で「幼稚園、幼稚園の預かり保育」を選択した人）

Q17－1 就労形態等に関わらず、特に幼稚園（預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか。

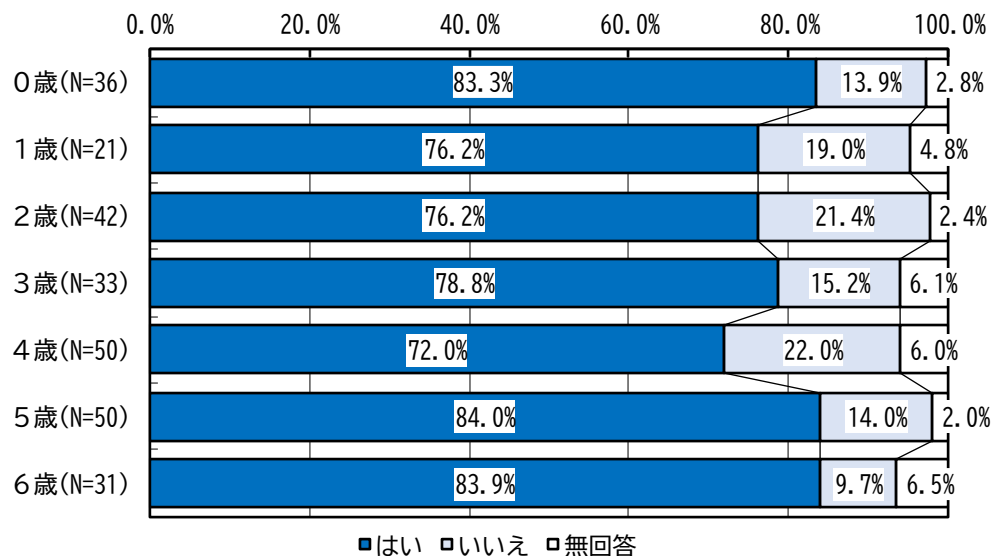
特に幼稚園の利用を強く希望するかについてみると、「はい」が79.1%、「いいえ」が16.8%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、全ての年齢で「はい」が7割以上を占めています。

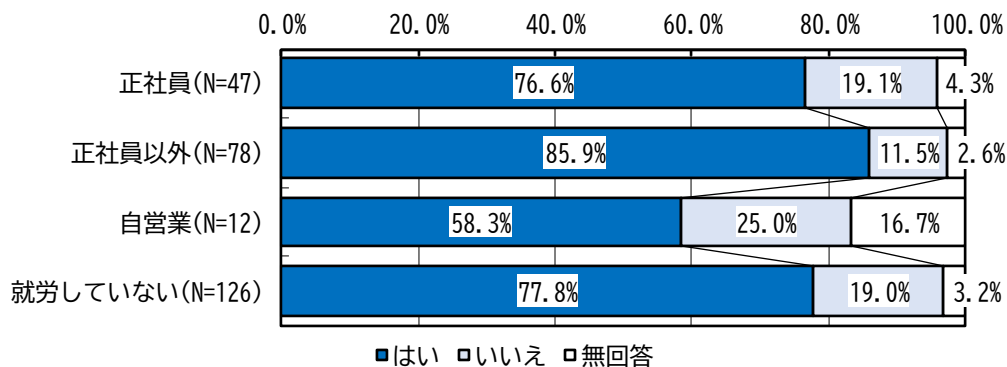
図表 子の年齢別 Q17-1 特に幼稚園の利用を強く希望するか



【母の就労状況別】

母の就労状況別にみると、「はい」は「正社員以外」が85.9%で最も多く、次いで「就労していない」(77.8%)、「正社員」(76.6%)となっています。

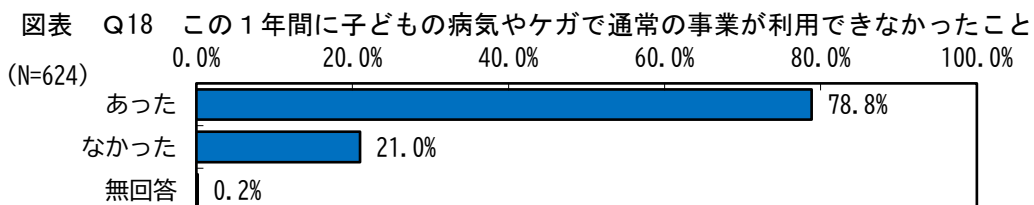
図表 母親の就労状況別 Q17-1 特に幼稚園の利用を強く希望するか



(5) お子さんの病気の際の対応について

Q18 平日の「定期的な教育・保育の事業」(幼稚園、保育園など)を利用している方におたずねします。この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

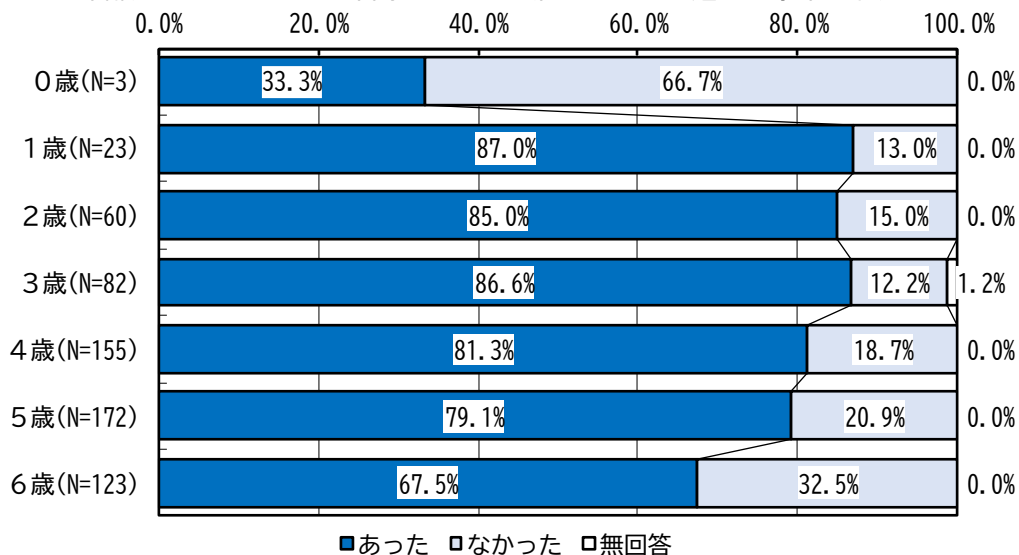
この1年間に子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったことについてみると、「あった」が78.8%、「なかった」が21.0%となっています。



【子どもの年齢別】

子の年齢別にみると、「1歳」から「4歳」では「あった」が80%を超えています。

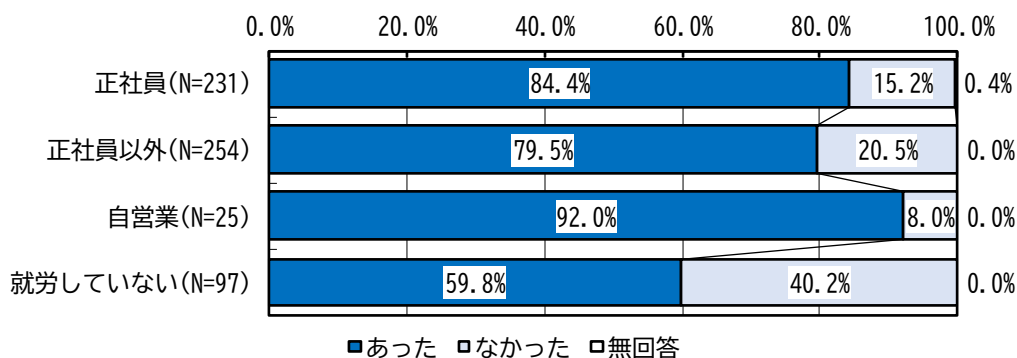
図表 子の年齢別 Q18 この1年間に子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと



【母の就労状況別】

母の就労状況別にみると、「自営業」では「あった」が92.0%で最も多く、次いで「正社員」(84.4%)、「正社員以外」(79.5%)となっています。

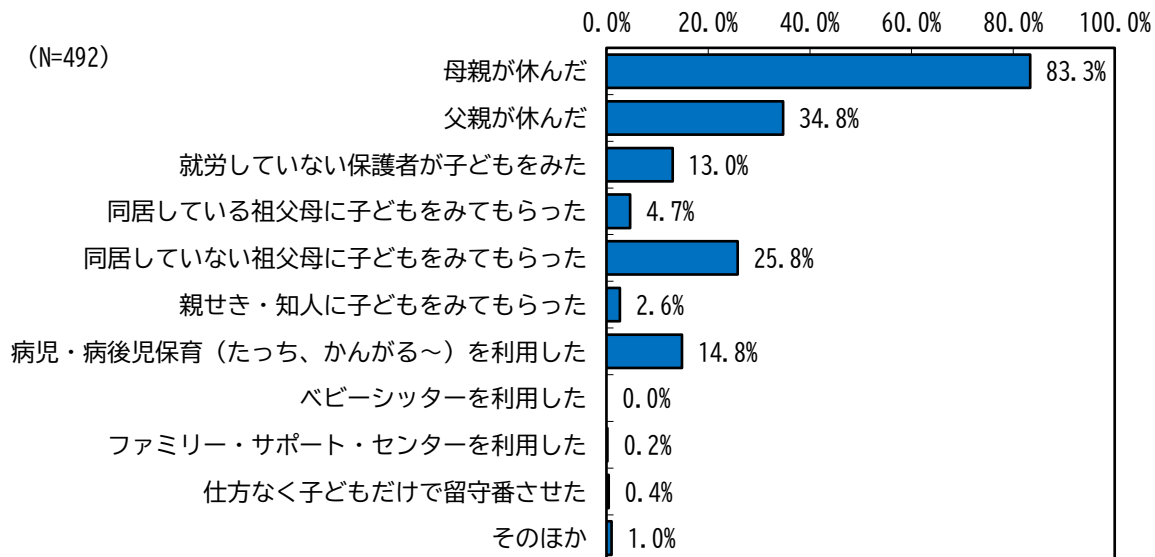
図表 母親の就労状況別 Q18 この1年間に子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと



Q18-1 病気やケガで利用できなかった方におたずねします。その際、どのように対処されましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

通常の事業が利用できなかった際の対処についてみると、「母親が休んだ」(83.3%)が最も多く、次いで「父親が休んだ」(34.8%)、「同居していない祖父母に子どもをみてもらった」(25.8%)となっています。

図表 Q18-1 通常の事業が利用できなかった際の対処（複数回答）



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、すべての年齢で「母親が休んだ」が最も多く、となっています。「父親が休んだ」は、「1歳」では55.0%となっていますが、「2歳」以上では約3割から5割弱となっています。

図表 子の年齢別 Q18-1 通常の事業が利用できなかった際の対処（複数回答）

	母親が休んだ	父親が休んだ	就労していない保護者が子どもをみた	同居している祖父母に子どもをみてもらった	同居していない祖父母に子どもをみてもらった	親せき・知人に子どもをみてもらった	病児・病後児保育（たち、かんがる～）を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番させた	その他	有効回答数
0歳	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
1歳	19 95.0%	11 55.0%	1 5.0%	0 0.0%	6 30.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 100.0%
2歳	45 88.2%	24 47.1%	6 11.8%	4 7.8%	17 33.3%	1 2.0%	8 15.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	51 100.0%
3歳	62 87.3%	26 36.6%	4 5.6%	3 4.2%	21 29.6%	4 5.6%	17 23.9%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	71 100.0%
4歳	96 76.2%	38 30.2%	25 19.8%	4 3.2%	33 26.2%	2 1.6%	17 13.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	126 100.0%
5歳	112 82.4%	45 33.1%	19 14.0%	5 3.7%	29 21.3%	4 2.9%	19 14.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.5%	3 2.2%	136 100.0%
6歳	71 85.5%	25 30.1%	8 9.6%	7 8.4%	19 22.9%	1 1.2%	10 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.4%	83 100.0%

【母の就労状況別】

母の就労状況別にみると、「正社員」「正社員以外（パート、アルバイト等）」「自営業」では「母親が休んだ」が最も多く 90%を超えており、「就労していない」では「就労していない保護者が子どもをみた」が最も多くなっています。

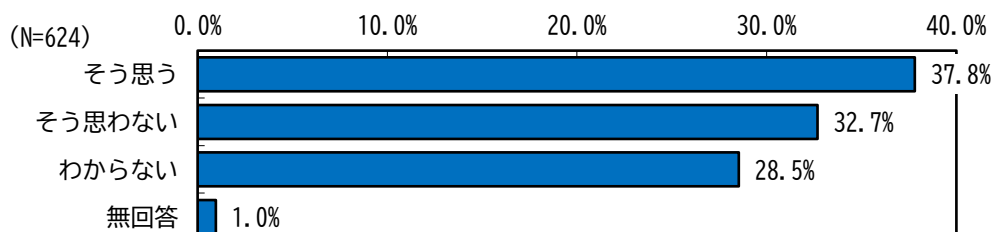
図表 母親の就労状況別 Q18-1 通常の事業が利用できなかった際の対処（複数回答）

	母親が休んだ	父親が休んだ	就労していない保護者が子どもをみた	同居している祖父母に子どもをみてもらった	同居していない祖父母に子どもをみてもらった	親せき・知人に子どもをみてもらった	病児・病後児保育（たっち、かんがる〜）を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番させた	そのほか	有効回答数
正社員	180 92.3%	109 55.9%	9 4.6%	13 6.7%	75 38.5%	8 4.1%	45 23.1%	0 0.0%	1 0.5%	0 0.0%	1 0.5%	195 100.0%
正社員以外（パート、アルバイト等）	190 94.1%	51 25.2%	3 1.5%	7 3.5%	41 20.3%	5 2.5%	24 11.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.0%	3 1.5%	202 100.0%
自営業	21 91.3%	3 13.0%	1 4.3%	2 8.7%	4 17.4%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	23 100.0%
就労していない	8 13.8%	3 5.2%	50 86.2%	1 1.7%	3 5.2%	0 0.0%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	58 100.0%

Q19 今後、お子さんが病気やケガで通常の事業を利用できない時には、病児・病後児保育を利用したいと思いますか。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

病児・病後児保育の利用意向についてみると、「そう思う」（37.8%）が多く、次いで「そう思わない」（32.7%）、「わからない」（28.5%）となっています。

図表 Q19 病児・病後児保育の利用意向

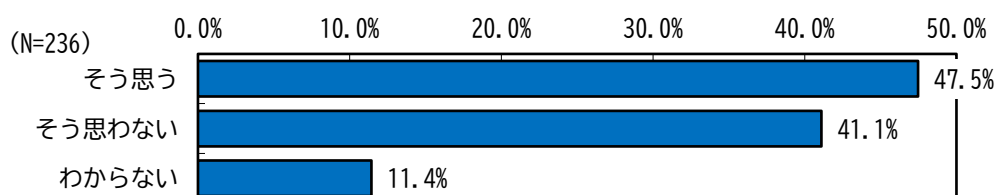


病児・病後児保育を利用したい方（Q19で「そう思う」を選択した人）

Q19-1 可能であれば湖南市だけでなく、他市町の病児・病後児保育も利用したいと思いますか。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

他市町の病児・病後児保育の利用意向についてみると、「そう思う」が 47.5%、「そう思わない」が 41.1%となっています。

図表 Q19-1 他市町の病児・病後児保育の利用意向

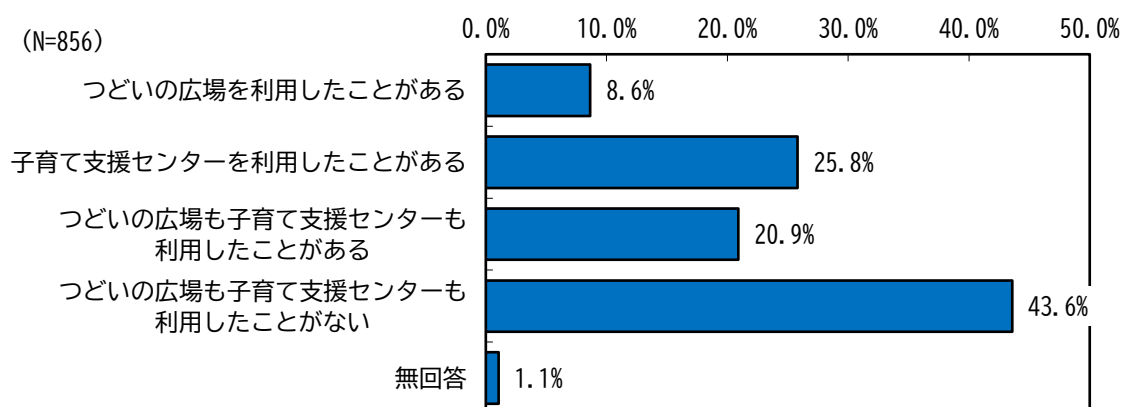


（６）地域の子育て支援事業の利用などについて

Q20 市内の「つどいの広場」や「子育て支援センター」を利用したことはありますか。

つどいの広場、子育て支援センターの利用経験についてみると、「つどいの広場も子育て支援センターも利用したことがない」(43.6%)が最も多く、次いで「子育て支援センターを利用したことがある」(25.8%)、「つどいの広場も子育て支援センターも利用したことがある」(20.9%)となっています。

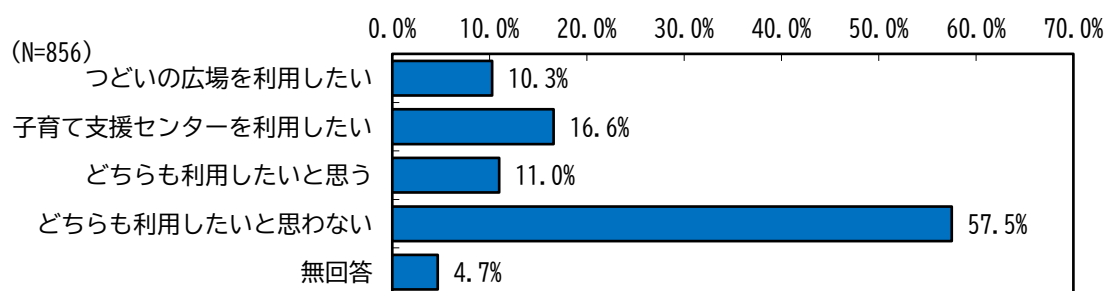
図表 Q20 つどいの広場・子育て支援センターの利用経験



Q20-1 今後「つどいの広場」や「子育て支援センター」を利用したいと思いますか。利用している方は日数を増やしたいと思いますか。どちらも利用したいと思う方はそれぞれ1か月あたりの利用回数をご記入ください。

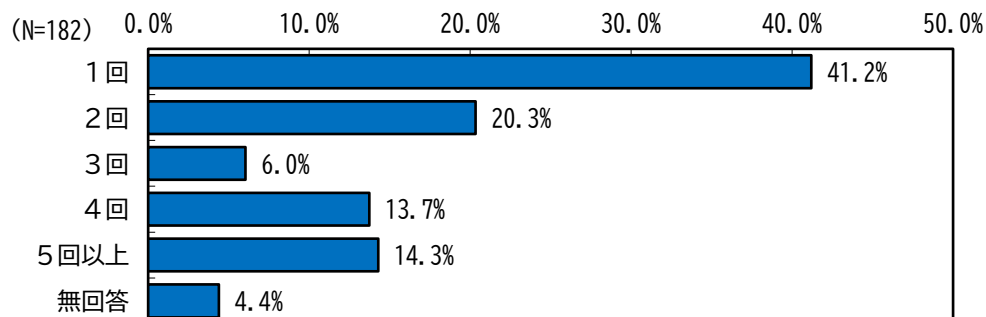
つどいの広場・子育て支援センターの利用希望についてみると、「どちらも利用したいと思わない」(57.5%)が最も多く、次いで「子育て支援センターを利用したい」(16.6%)、「どちらも利用したいと思う」(11.0%)となっています。

図表 Q20-1 つどいの広場・子育て支援センターの利用希望



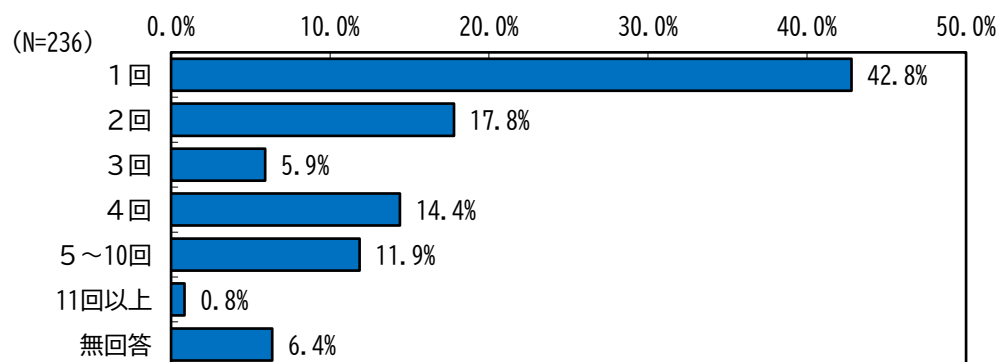
つどいの広場の利用希望回数についてみると、「1回」(41.2%) が最も多く、次いで「2回」(20.3%)、「5回以上」(14.3%) となっています。

図表 Q20-1 つどいの広場の利用希望回数



子育て支援センターの利用希望回数についてみると、「1回」(42.8%) が最も多く、次いで「2回」(17.8%)、「4回」(14.4%) となっています。

図表 Q20-1 子育て支援センターの利用希望回数



Q21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものにそれぞれ○をつけてください。

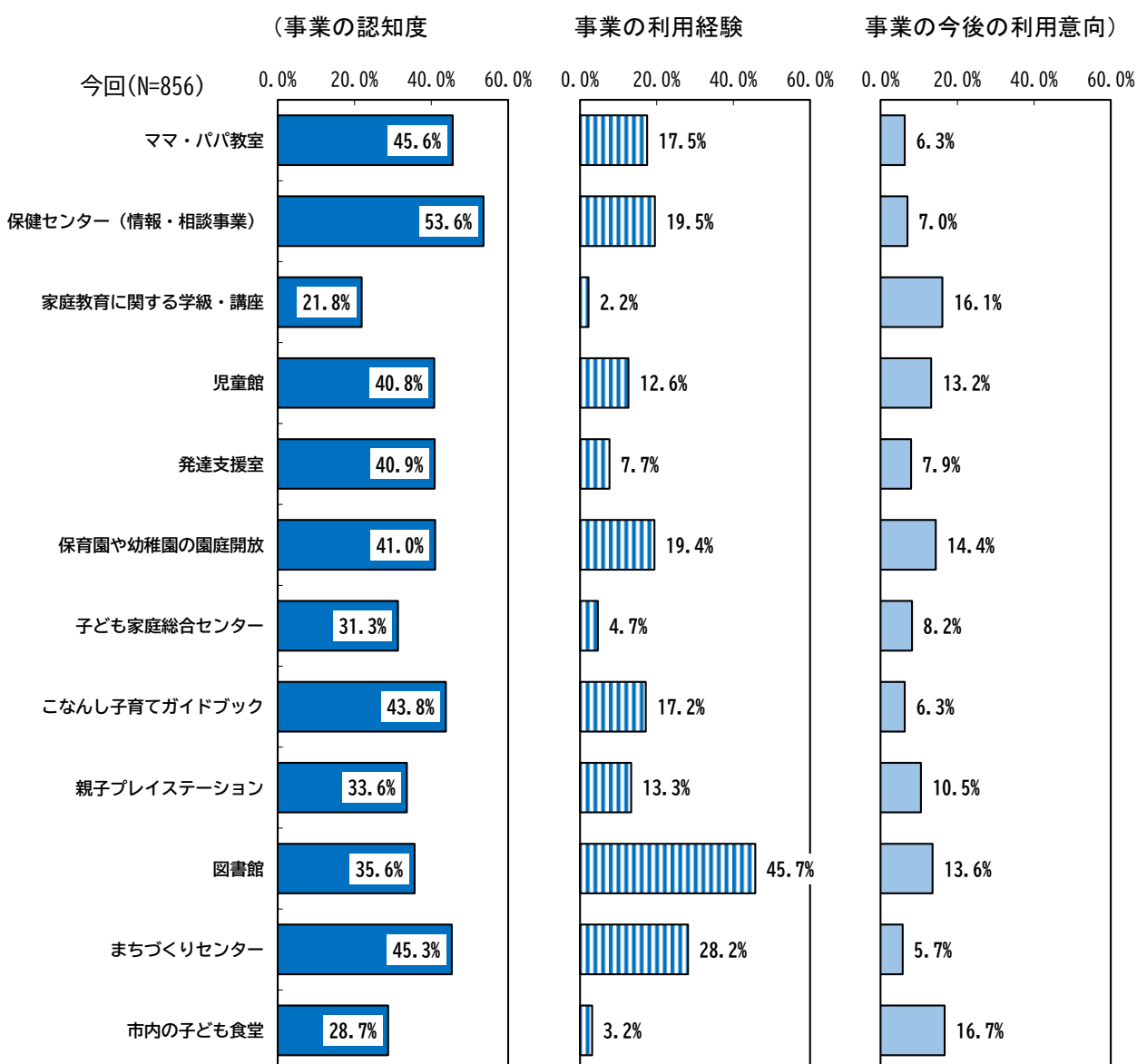
事業の認知度では、「保健センター（情報・相談事業）」（53.6%）が最も多く、次いで「ママ・パパ教室」（45.6%）、「まちづくりセンター」（45.3%）となっています。

事業の利用経験では、「図書館」（45.7%）が最も多く、次いで「まちづくりセンター」（28.2%）、「保健センター（情報・相談事業）」（19.5%）となっています。

事業の今後の利用意向では、「市内の子ども食堂」（16.7%）が最も多く、次いで「家庭教育に関する学級・講座」（16.1%）、「保育園や幼稚園の園庭開放」（14.4%）となっています。

「家庭教育に関する学級・講座」「市内の子ども食堂」は、低い利用経験に対して、利用意向は高くなっています。

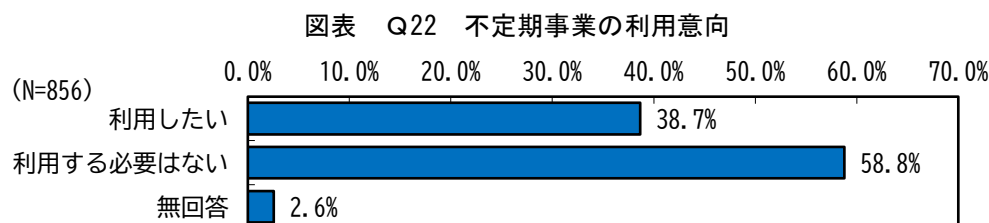
図表 Q21 事業の認知度・利用経験・利用意向（複数回答）



(7) 不特定の教育・保育の利用などについて

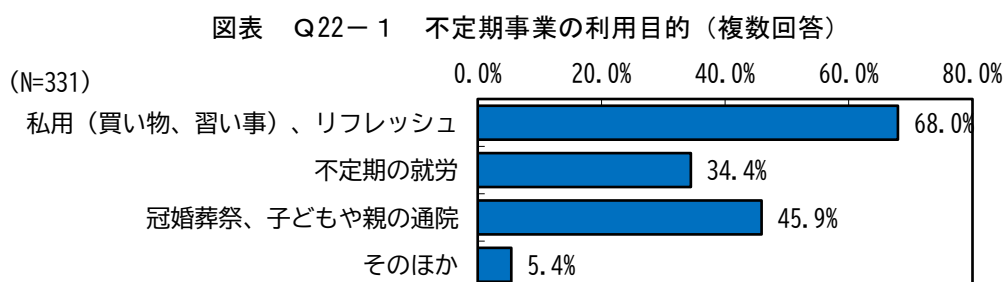
Q22 私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、不特定事業（一時預かり、幼稚園の預かり保育、ファミリー・サポート・センター、トワイライトステイなど）について、利用したいと思いますか。

不特定事業の利用意向についてみると、「利用したい」が 38.7%、「利用する必要はない」が 58.8%となっています。



Q22-1 利用したいと回答した方（Q22 で①に○）におたずねします。利用する目的と希望する年間の利用日数をお答えください。

不特定事業の利用目的についてみると、「私用（買い物、習い事）、リフレッシュ」（68.0%）が最も多く、次いで「冠婚葬祭、子どもや親の通院」（45.9%）、「不特定の就労」（34.4%）となっています。



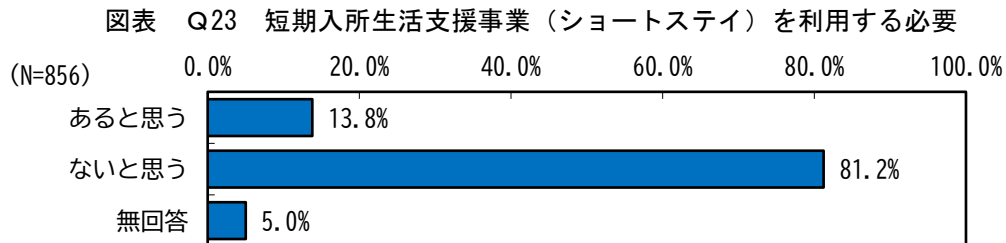
利用希望日数を目的別にみると、「私用（買い物、習い事）、リフレッシュ」では「11～20 日」が、「不特定の就労」では「21 日以上」が、「冠婚葬祭、子どもや親の通院」では「5 日」がそれぞれ最も多くなっています。

図表 Q22-1 年間利用希望日数

	回答者数	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6～10 日	11～20 日	21 日以上
私用（買い物、習い事）、リフレッシュ	225	8.0%	7.1%	8.4%	1.3%	12.0%	22.2%	24.0%	16.9%
不特定の就労	114	7.0%	4.4%	7.0%	1.8%	16.7%	11.4%	15.8%	36.0%
冠婚葬祭、子どもや親の通院	152	13.2%	12.5%	11.2%	2.6%	21.1%	15.8%	15.1%	8.6%
その他	18	0.0%	16.7%	11.1%	11.1%	16.7%	5.6%	0.0%	38.9%

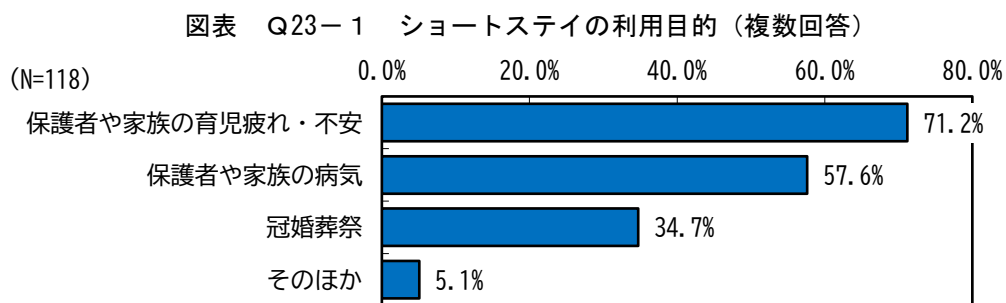
Q23 お子さんについて、保護者の事情（育児疲れ、育児不安、病気、冠婚葬祭など）により、短期入所生活支援事業（ショートステイ）を利用する必要があると思いますか。

短期入所生活支援事業（ショートステイ）を利用についてみると、「(利用する必要が) あると思う」が13.8%、「(利用する必要は) ないと思う」が81.2%となっています。



Q23-1 利用する必要があると思う方（Q23で①に○）におたずねします。ショートステイの利用目的と希望する年間利用日数（泊数）をお答えください。

ショートステイの利用目的についてみると、「保護者や家族の育児疲れ・不安」（71.2%）が最も多く、次いで「保護者や家族の病気」（57.6%）、「冠婚葬祭」（34.7%）となっています。



ショートステイの利用希望日数を目的別にみると、「保護者や家族の育児疲れ・不安」「保護者や家族の病気」では「6～10日」が、「冠婚葬祭」では「1日」がそれぞれ最も多くなっています。

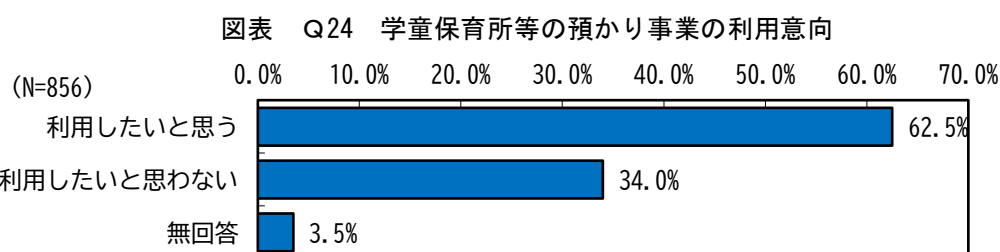
図表 Q23-1 ショートステイの利用希望日数（年間）

	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6～10日	11～20日	21日以上
保護者や家族の育児疲れ・不安	84	17.9%	10.7%	13.1%	2.4%	10.7%	22.6%	9.5%	13.1%
保護者や家族の病気	68	10.3%	11.8%	16.2%	1.5%	13.2%	27.9%	7.4%	11.8%
冠婚葬祭	41	31.7%	17.1%	17.1%	0.0%	14.6%	9.8%	4.9%	4.9%
その他	6	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	33.3%

（８）お子さんの就学後の放課後や長期休暇中の過ごし方について

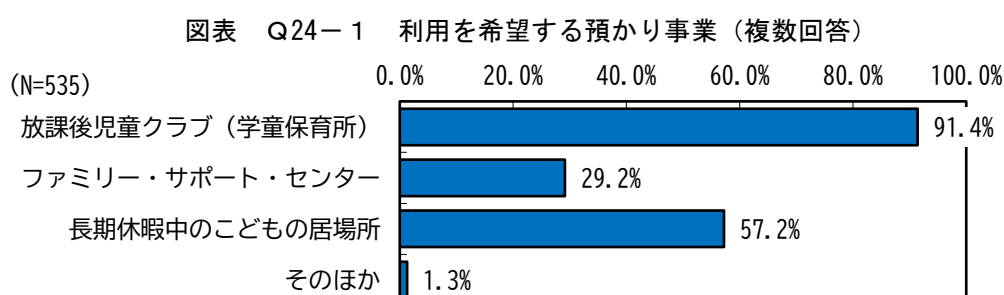
Q24 小学校入学後平日の放課後に、学童保育所、ファミリー・サポート・センター等の預かり事業を利用したいと思いますか。

学童保育所等の預かり事業の利用意向をみると、「利用したいと思う」が62.5%、「利用したいと思わない」が34.0%となっています。



Q24-1 学童保育所等の預かり事業を利用したい方（Q24 で①に○）におたずねします。利用を希望する期間についてお答えください。

利用を希望する預かり事業についてみると、「放課後児童クラブ（学童保育所）」（91.4%）が最も多く、次いで「長期休暇中のこどもの居場所」（57.2%）、「ファミリー・サポート・センター」（29.2%）となっています。



利用を希望する期間（何年生まで）を事業別にみると、「放課後児童クラブ（学童保育所）」「ファミリー・サポート・センター」「長期休暇中のこどもの居場所」のいずれもで「6年生」が最も多くなっています。

図表 Q24-1 利用を希望する期間（何年生まで）

	回答者数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
放課後児童クラブ（学童保育所）」	489	1.6%	3.3%	20.9%	22.5%	5.7%	46.0%
ファミリー・サポート・センター	156	12.2%	5.1%	23.1%	12.2%	5.8%	41.7%
長期休暇中のこどもの居場所	306	3.6%	3.3%	16.7%	17.0%	7.8%	51.6%
そのほか	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q25 平日に放課後児童クラブ（学童保育所）を利用したい方におたずねします。土曜日と日曜・祝日、長期休暇中に利用希望はありますか。あてはまる番号ひとつに○印をつけて、利用したい時間帯を記入してください。

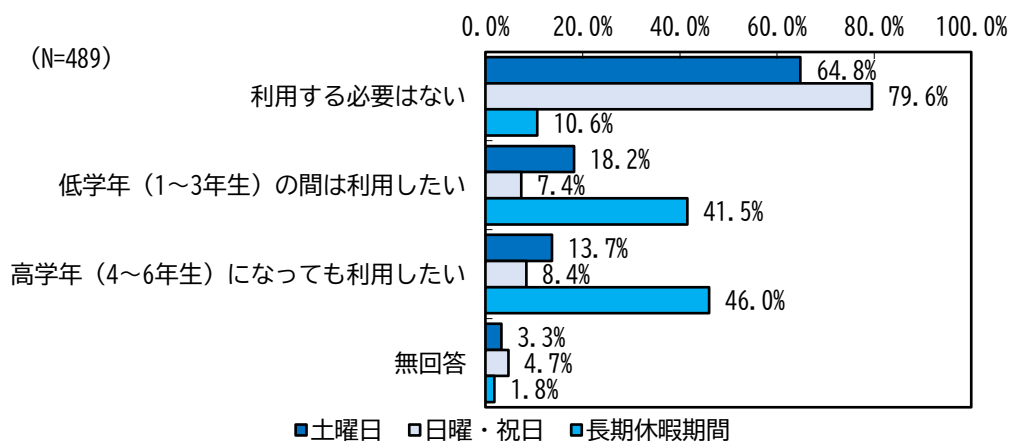
1) 利用希望

「土曜日」の放課後児童クラブ（学童保育所）の利用希望についてみると、「利用する必要はない」（64.8％）が最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（18.2％）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（13.7％）となっています。

「日曜・祝日」の放課後児童クラブ（学童保育所）の利用希望についてみると、「利用する必要はない」（79.6％）が多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（8.4％）、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（7.4％）となっています。

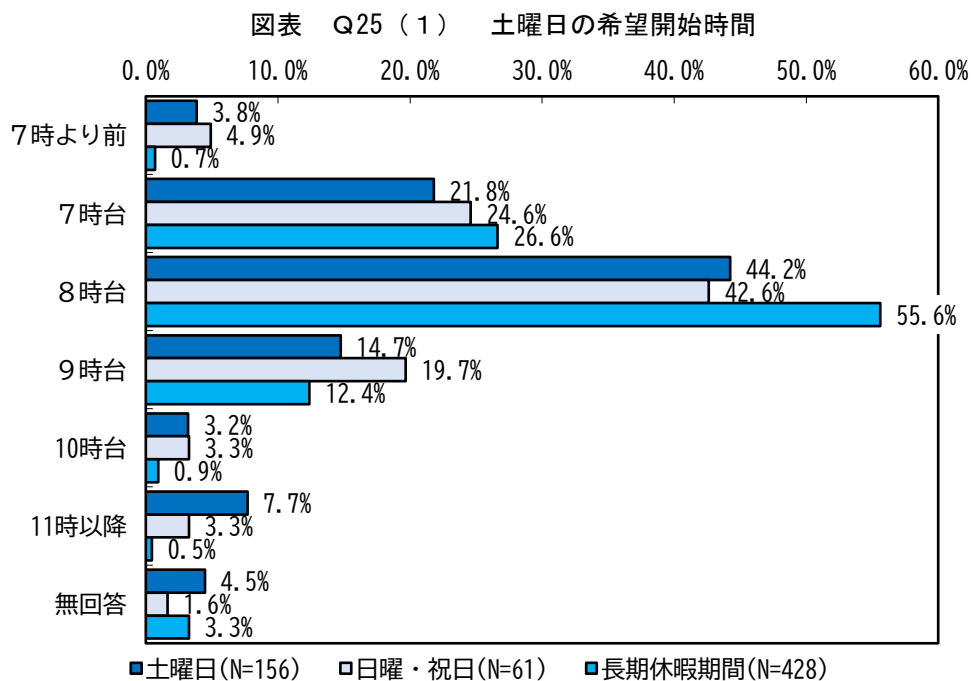
「長期休暇中」の放課後児童クラブ（学童保育所）の利用希望についてみると、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（46.0％）が多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（41.5％）、「利用する必要はない」（10.6％）となっています。

図表 Q25（1） 放課後児童クラブ（学童保育所）の利用希望



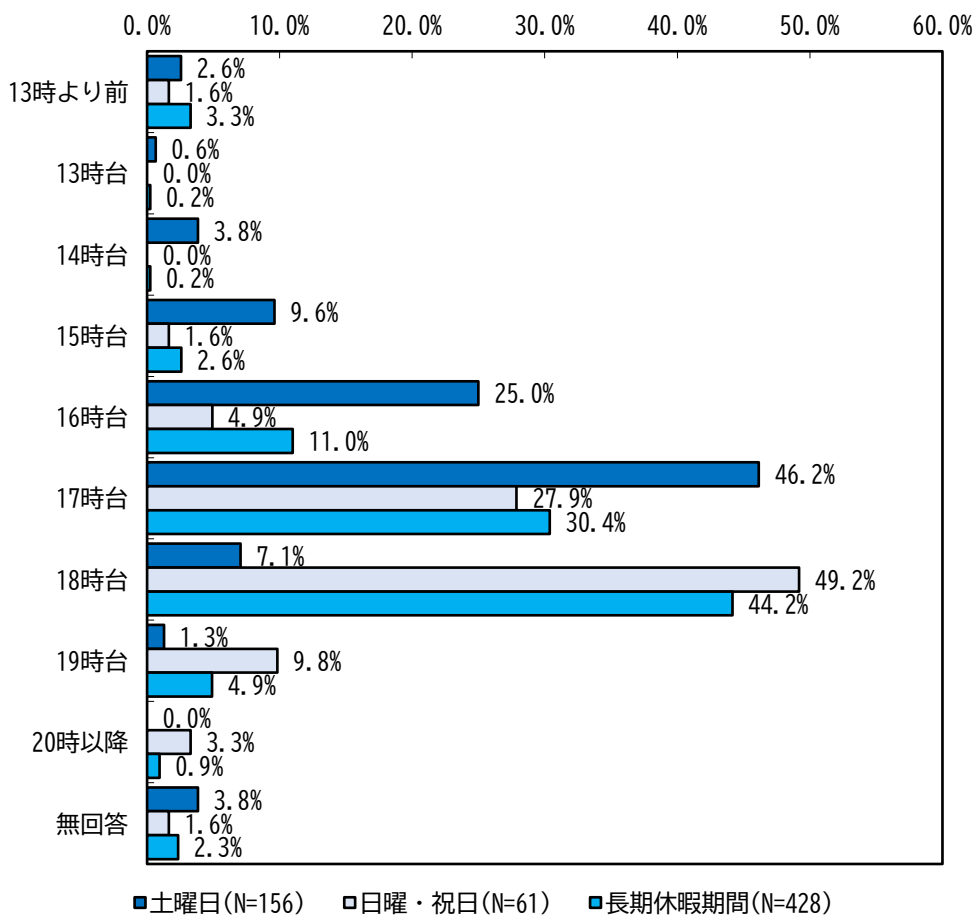
2) 希望開始時間・終了時間

希望開始時間についてみると、「土曜日」「日曜・祝日」「長期休暇期間」のいずれもで「8時台」が最も多く、次いで「7時台」、「9時台」となっています。



希望する終了時間についてみると、「土曜日」では「17 時台」が、「日曜・祝日」「長期休暇期間」では「18 時台」がそれぞれ最も多くなっています。

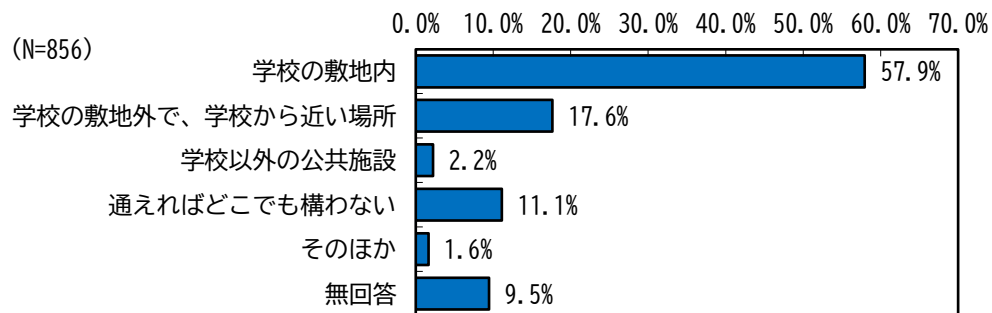
図表 Q25 (1) 希望終了時間



Q26 どのような場所に放課後児童クラブ（学童保育所）があればよいと思いますか。あてはまるものをひとつ選んでください。

放課後児童クラブ（学童保育所）があればよいと思う場所についてみると、「学校の敷地内」（57.9%）が最も多く、次いで「学校の敷地外で、学校から近い場所」（17.6%）、「通えればどこでも構わない」（11.1%）となっています。

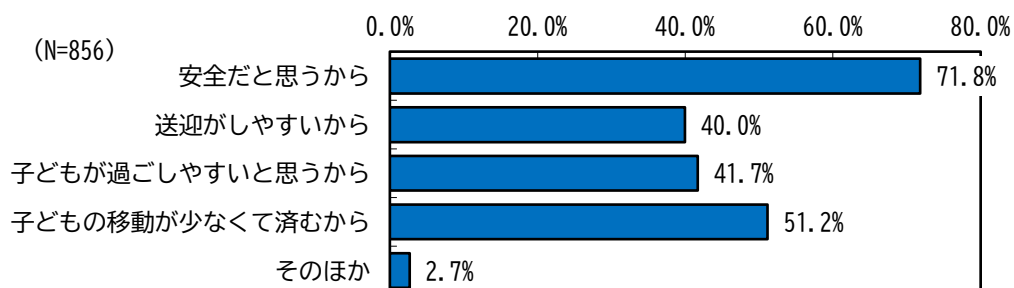
図表 Q26 放課後児童クラブ（学童保育所）があればよいと思う場所



Q26－1 なぜその場所にあると良いと思うのか、あてはまる理由をすべて選んでください。

その場所にあれば良い理由についてみると、「安全だと思うから」（71.8%）が最も多く、次いで「子どもの移動が少なくて済むから」（51.2%）、「子どもが過ごしやすいと思うから」（41.7%）となっています。

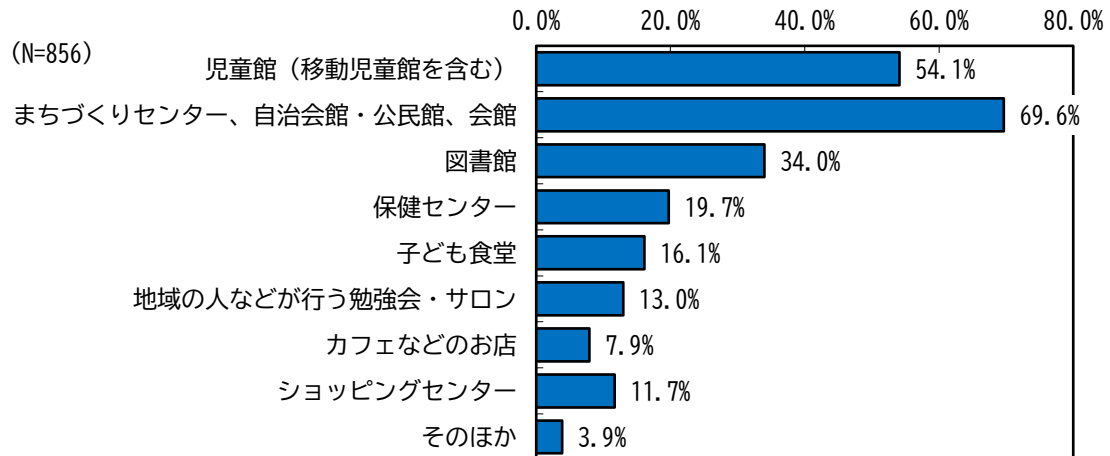
図表 Q26－1 その場所にあれば良い理由（複数回答）



Q27 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中、大人の見守りがあって子どもが自由に過ごせる場所（こどもの居場所）を新たに設置するなら、どのような場所にあるといいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

長期休暇期間中のこどもの居場所を新たに設置すべき場所についてみると、「まちづくりセンター、自治会館・公民館、会館」（69.6%）が最も多く、次いで「児童館（移動児童館を含む）」（54.1%）、「図書館」（34.0%）となっています。

図表 Q27 長期休暇期間中のこどもの居場所を新たに設置すべき場所（複数回答）

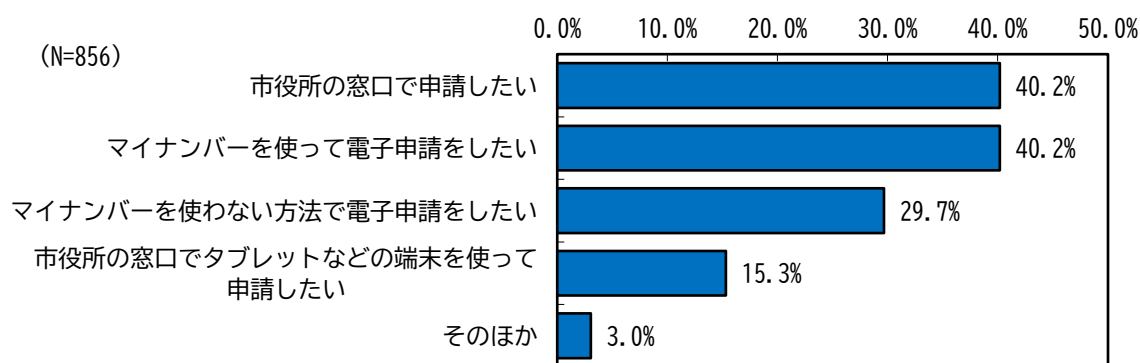


(9) 子育て全般について

Q28 児童手当などの諸手当の申請や、入園・入所の制度の申請について、どのような方法で申請したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

手当や制度の申請方法の希望についてみると、「市役所の窓口で申請したい」、「マイナンバーを使って電子申請をしたい」（いずれも 40.2%）が多く、次いで「マイナンバーを使わない方法で電子申請をしたい」（29.7%）となっています。

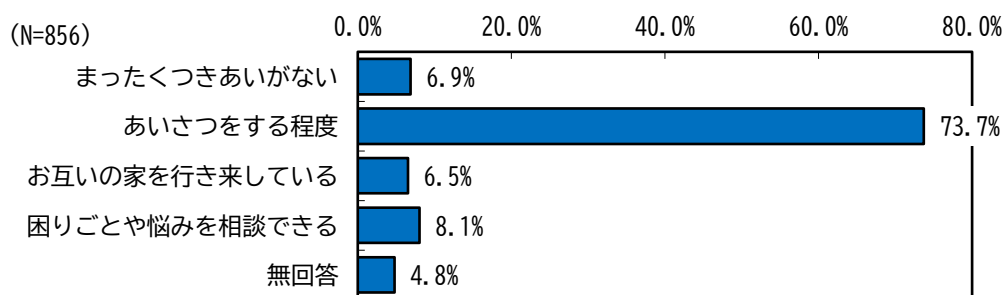
図表 Q28 手当や制度の申請方法の希望（複数回答）



Q29 あなたの家族の近所づきあいは何の程度ですか。あてはまるものをひとつ選んでください。

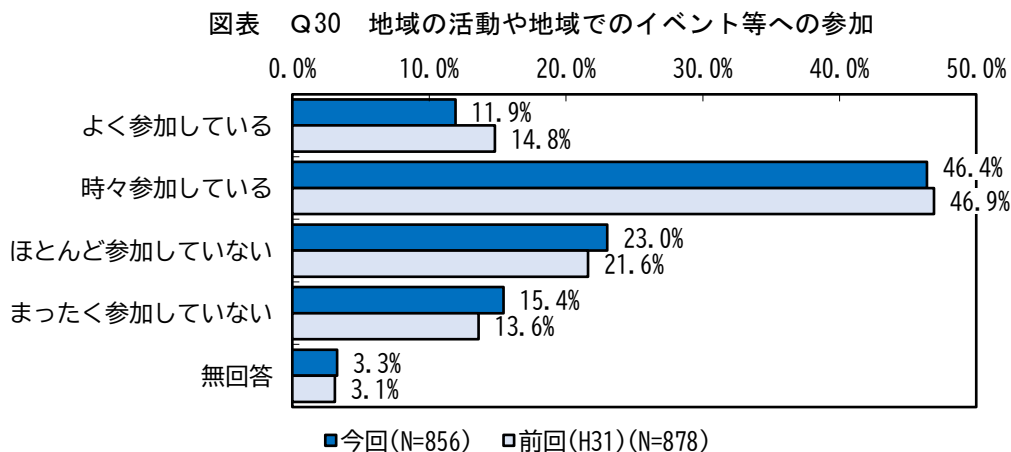
近所づきあいの程度についてみると、「あいさつをする程度」（73.7%）が最も多く、次いで「困りごとや悩みを相談できる」（8.1%）、「まったくつきあいがいい」（6.9%）となっています。

図表 Q29 近所づきあいの程度



Q30 地域の活動や地域でのイベント等に参加していますか。あてはまるものをひとつ選んでください。

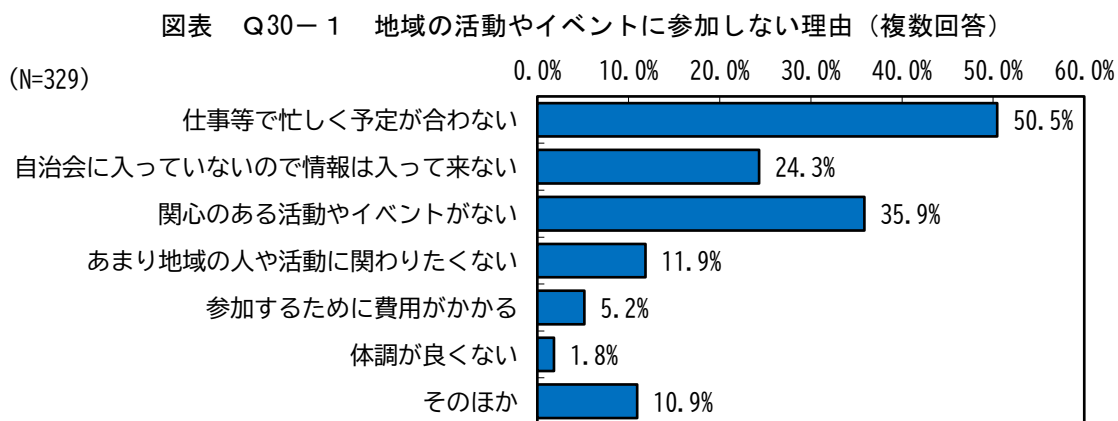
地域の活動や地域でのイベント等への参加」についてみると、「時々参加している」（46.4%）が最も多く、次いで「ほとんど参加していない」（23.0%）、「まったく参加していない」（15.4%）となっています。



（Q30で「ほとんど参加していない」「まったく参加していない」を選択した人）

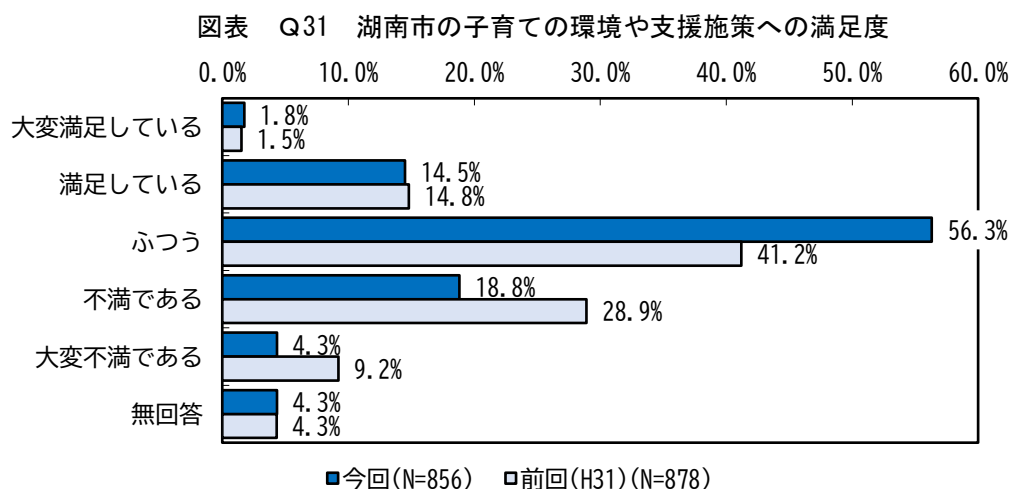
Q30-1 地域の活動やイベントに参加しない理由はなんですか。あてはまるものをすべて選んでください。

地域の活動やイベントに参加しない理由についてみると、「仕事等で忙しく予定が合わない」（50.5%）が最も多く、次いで「関心のある活動やイベントがない」（35.9%）、「自治会に入っていないので情報は入って来ない」（24.3%）となっています。



Q31 湖南省の子育ての環境や支援施策への満足度についてどのように思われますか。あてはまるものをひとつ選んでください。

湖南省の子育ての環境や支援施策への満足度についてみると、「ふつう」(56.3%)が最も多く、次いで「不満である」(18.8%)、「満足している」(14.5%)となっています。

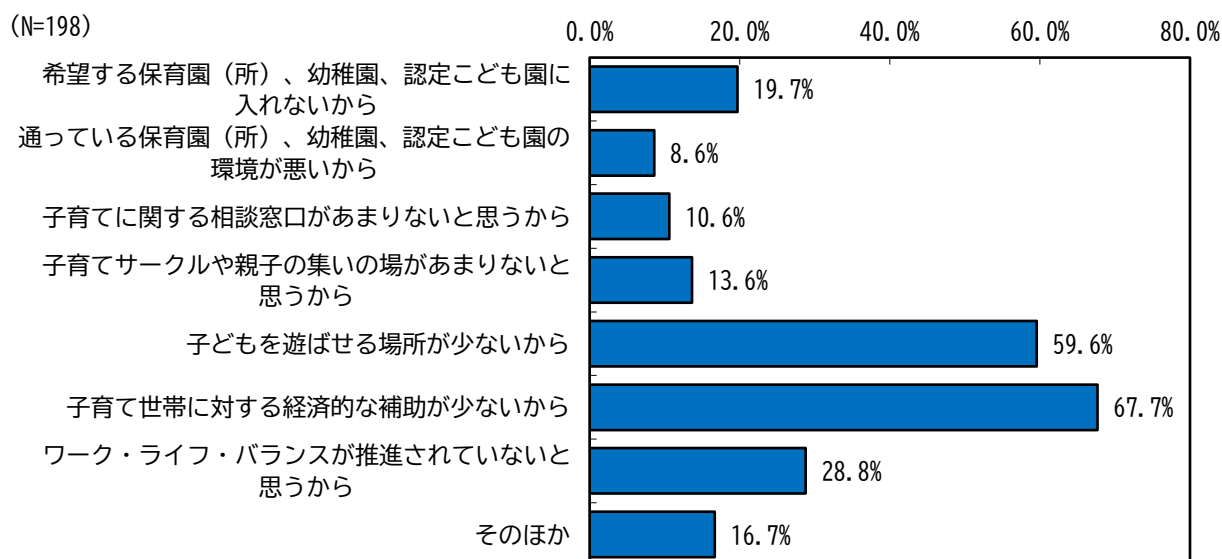


(Q31で「不満である」「大変不満である」を選択した人)

Q31-1 湖南省の子育て環境に不満を感じている理由はなんですか。あてはまるものをすべて選んでください。

湖南省の子育て環境に不満を感じている理由についてみると、「子育て世帯に対する経済的な補助が少ないから」(67.7%)が最も多く、次いで「子どもを遊ばせる場所が少ないから」(59.6%)、「ワーク・ライフ・バランスが推進されていないと思うから」(28.8%)となっています。

図表 Q31-1 湖南省の子育て環境に不満を感じている理由（複数回答）



Q32 子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、お聞かせください。

209 人からの回答があり、合計 434 件の意見がありました。分類別にみると以下の通りです。

項 目	内 容	件数
仕事と育児の両立に関する意見	仕事と育児の両立支援について	12
	保育園・幼稚園・こども園の提供体制、その他預かり保育の充実について	60
	小学校入学以降の学童保育等での預かり、教育や支援について	50
	小計	122
経済的支援や各種手当に関する意見	経済的支援、各種手当の拡充について	53
	小計	53
相談支援に関する意見	子育てに関する相談支援・イベント・窓口対応について	38
	情報の発信・提供について	13
	発達支援や障がい児への対応について	5
	小計	56
医療提供体制に関する意見	医療機関の充実、定期健診や予防接種等について	24
	病児保育について	13
	小計	37
遊び場や公共施設に関する意見	遊び場の充実・整備、その他公共施設について	80
	交通環境の整備、アクセスの拡充について	15
	小計	95
地域交流等に関する意見	地域交流や見守り活動について	7
	小計	7
子育て施策に関する意見	子育てに関する人材育成や処遇改善、施策全般について	46
	小計	46
その他の意見	アンケートやその他の意見について	18
	小計	18
合計		434

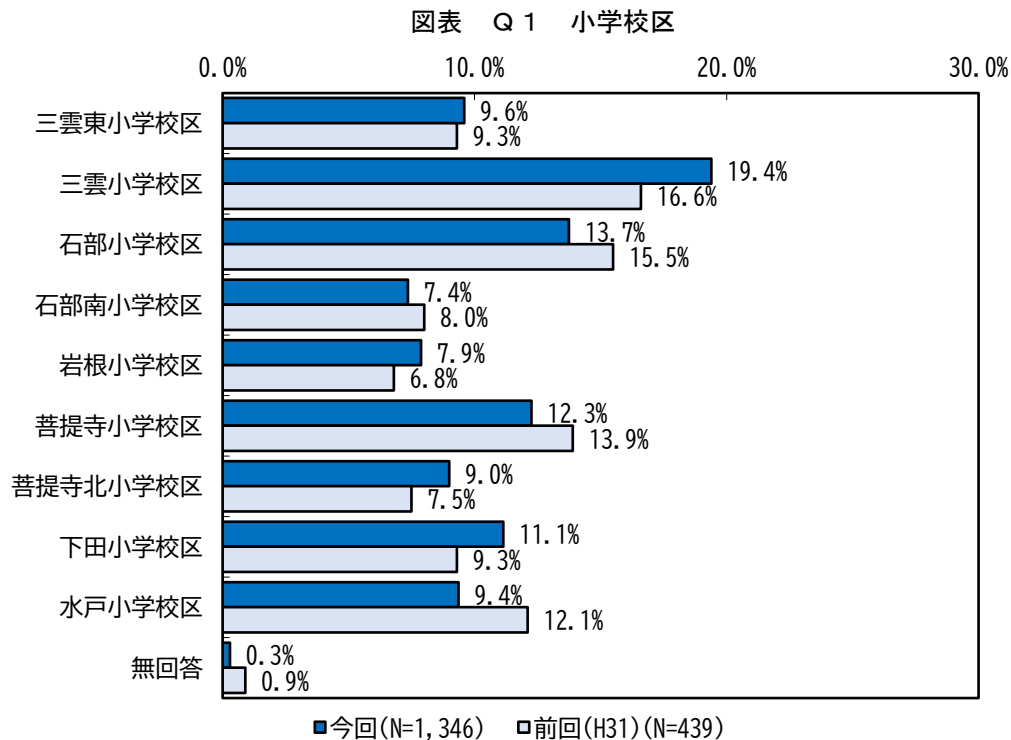
※「特になし」などの記述については意見数に計上していません。

2 小学生保護者

(1) 家族構成などについて

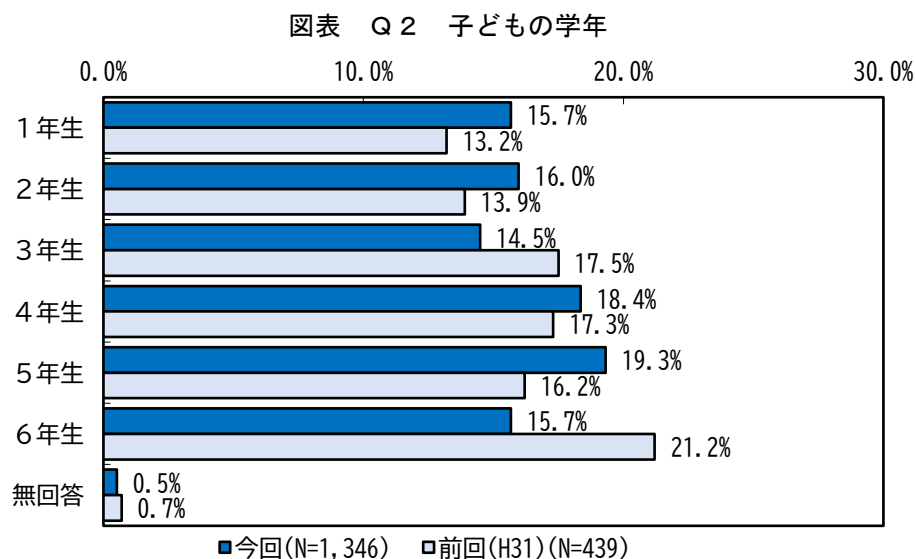
Q 1 お住まいの小学校区はどちらですか。

小学校区についてみると、「三雲小学校区」(19.4%)が最も多く、次いで「石部小学校区」(13.7%)、「菩提寺小学校区」(12.3%)となっています。



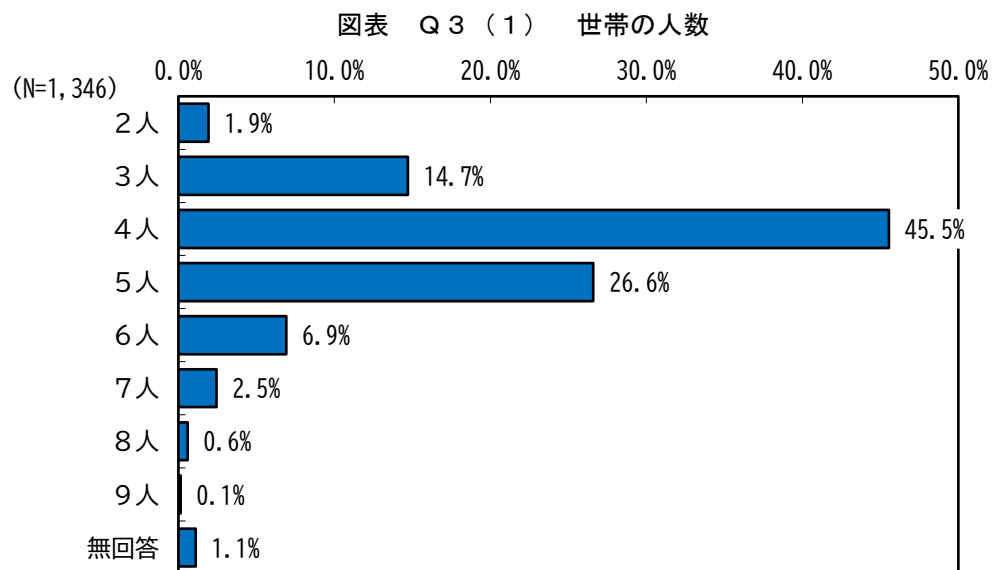
Q 2 宛名のお子さんの生年月と学年をご記入ください。

子どもの学年についてみると、「5年生」(19.3%)が最も多く、次いで「4年生」(18.4%)、「2年生」(16.0%)となっています。

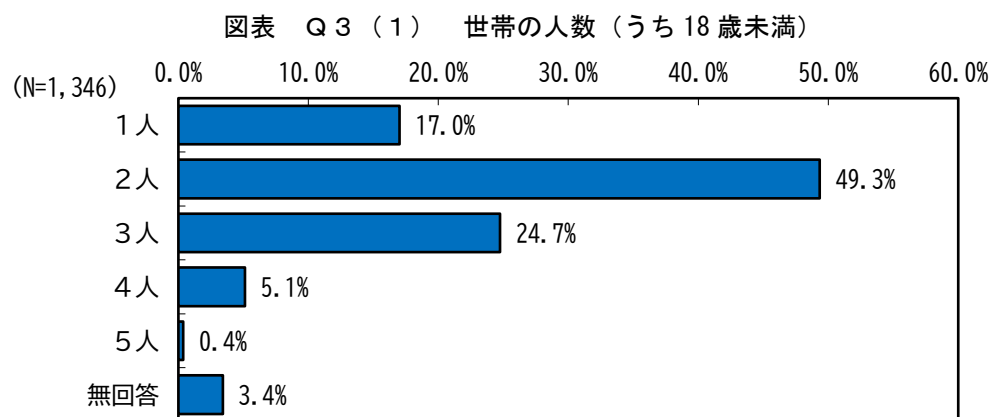


Q 3 世帯の人数と末のお子さん（お子さんがひとりの場合はそのお子さん）の年齢をご記入ください。

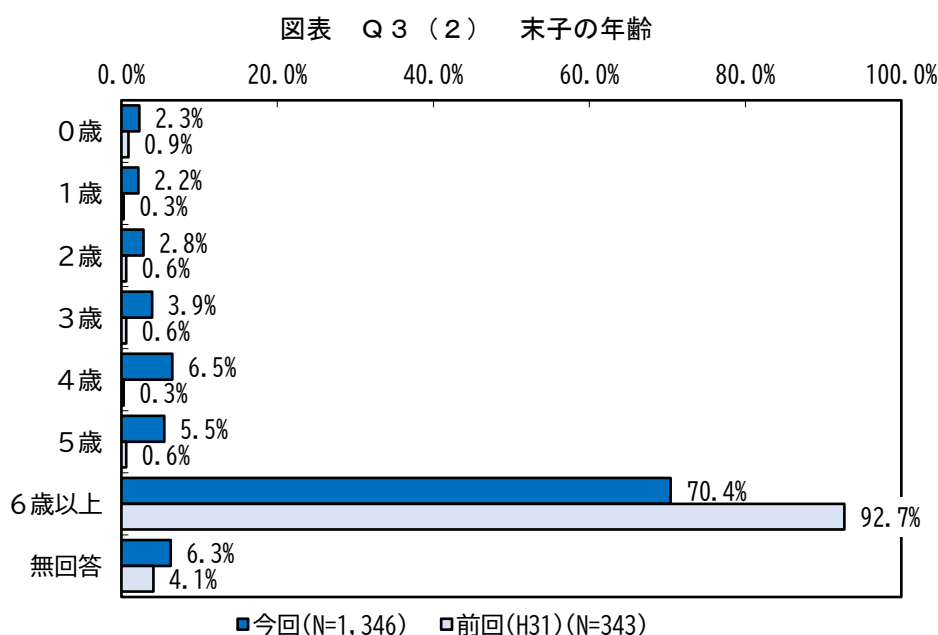
世帯の人数についてみると、「4人」（45.5%）が最も多く、次いで「5人」（26.6%）、「3人」（14.7%）となっています。



世帯のうち 18 歳未満の子どもの人数についてみると、「2人」（49.3%）が最も多く、次いで「3人」（24.7%）、「1人」（17.0%）となっています。

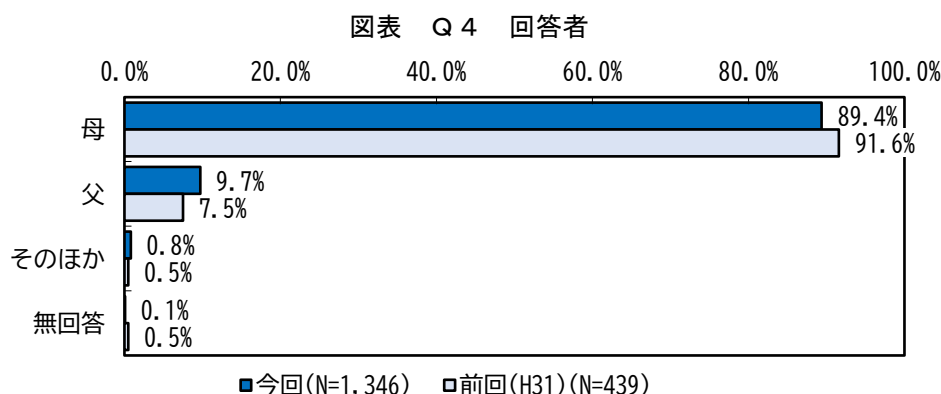


末子の年齢についてみると、「6歳以上」(70.4%)が最も多く、次いで「4歳」(6.5%)、「5歳」(5.5%)となっています。



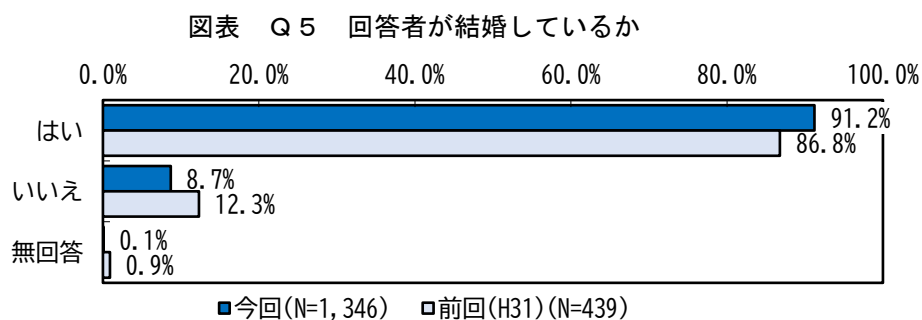
Q4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか（お子さんからみた続柄）。

回答者についてみると、「母」が89.4%、「父」が9.7%となっています。



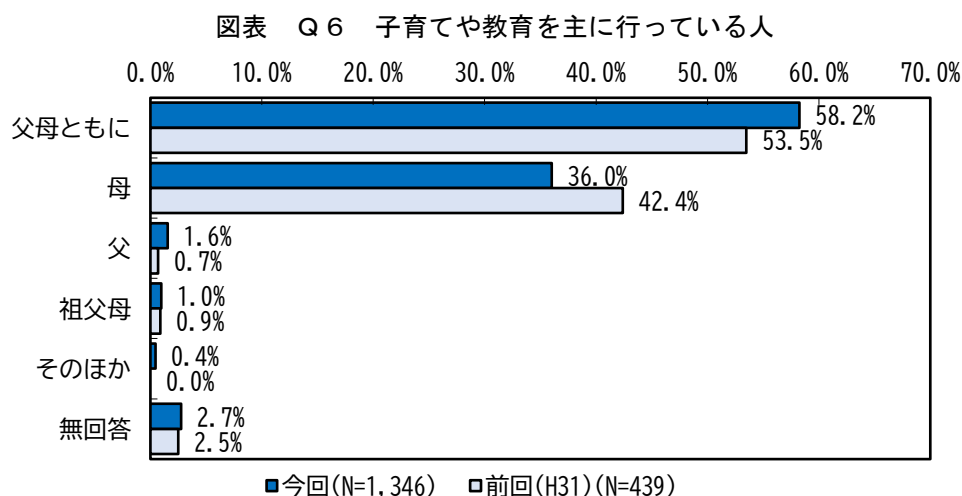
Q5 ご回答いただいている方はご結婚されていますか（事実婚のパートナーも含みます）。

回答者が結婚しているかについてみると、「はい」が91.2%、「いいえ」が8.7%となっています。



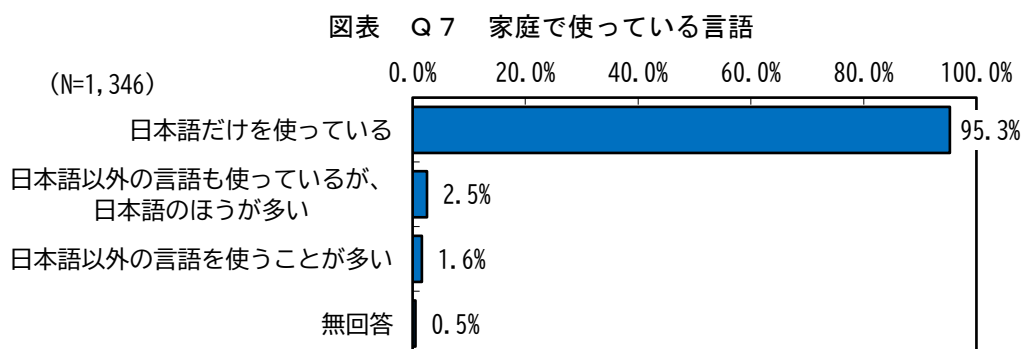
Q 6 お子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。

子育てや教育を主に行っている人についてみると、「父母ともに」(58.2%)が最も多く、次いで「母」(36.0%)、「父」(1.6%)となっています。



Q 7 ご家庭ではどれくらい日本語を使っていますか。

家庭で使っている言語についてみると、「日本語だけを使っている」(95.3%)が多く、次いで「日本語以外の言語も使っているが、日本語のほうが多い」(2.5%)、「日本語以外の言語を使うことが多い」(1.6%)となっています。

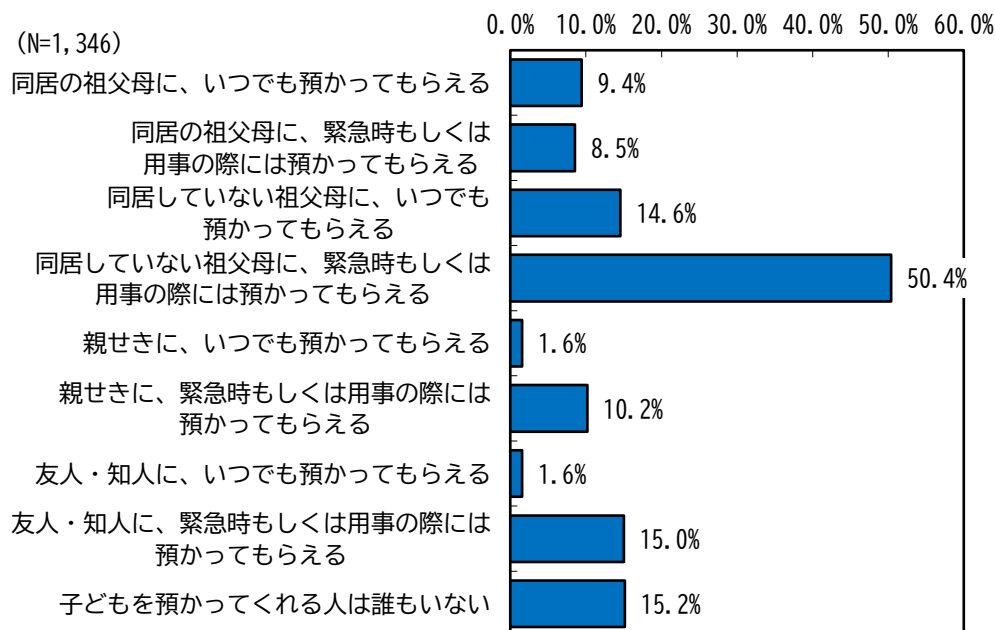


(2) 子育てをめぐる環境について

Q 8 日頃、お子さんを預かってもらえる祖父母や親せき、知人はいますか。あてはまるものをすべて選んでください。

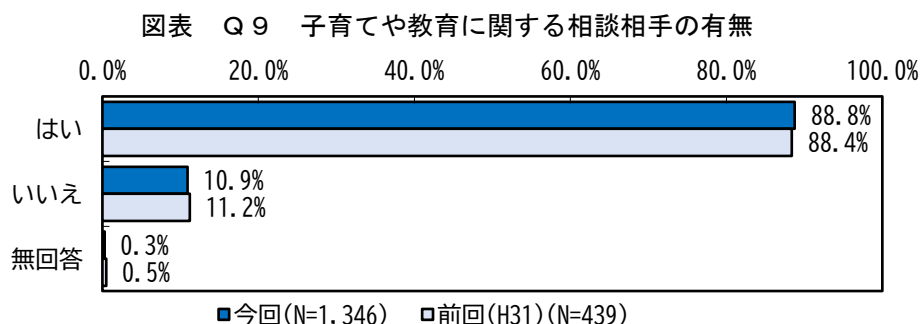
子どもを預かってもらえる人がいるかについてみると、「同居していない祖父母に、緊急時もしくは用事の際には預かってもらえる」(50.4%) が最も多く、次いで「子どもを預かってくれる人は誰もいない」(15.2%)、「友人・知人に、緊急時もしくは用事の際には預かってもらえる」(15.0%) となっています。

図表 Q 8 子どもを預かってもらえる人がいるか（複数回答）



Q 9 お子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所がありますか。

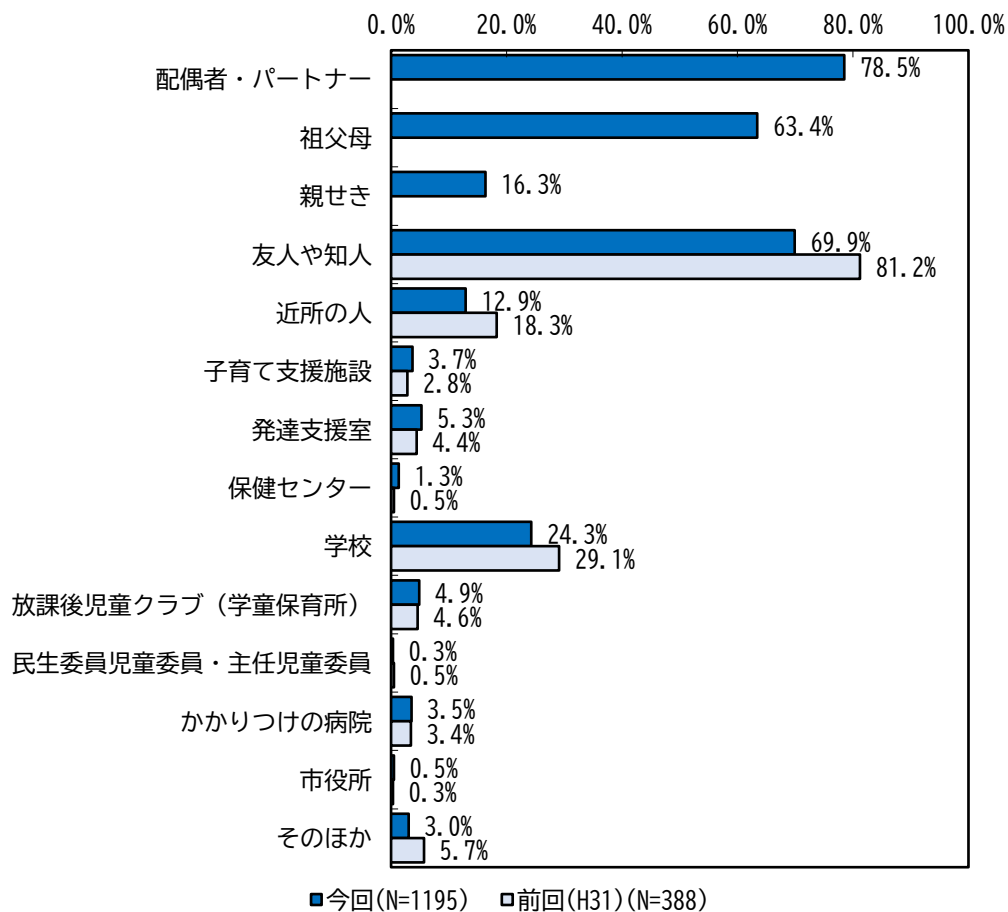
子育てや教育に関する相談相手の有無についてみると、「はい」が88.8%、「いいえ」が10.9% となっています。



Q9-1 どのような人（場所）に相談していますか。あてはまるものをすべて選んでください。

相談相手についてみると、「配偶者・パートナー」(78.5%)が最も多く、次いで「友人や知人」(69.9%)、「祖父母」(63.4%)となっています。

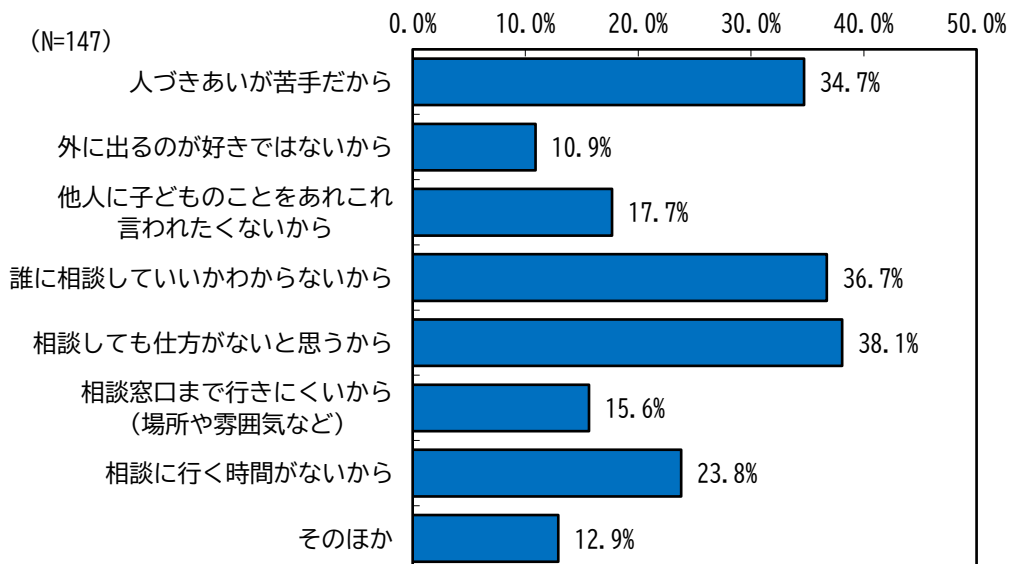
図表 Q9-1 相談相手（複数回答）



Q9-2 相談できる人や場所がないのはなぜですか。あてはまるものをすべて選んでください。

相談できる人や場所がない理由についてみると、「相談しても仕方がないと思うから」(38.1%)が最も多く、次いで「誰に相談していいかわからないから」(36.7%)、「人づきあいが苦手だから」(34.7%)となっています。

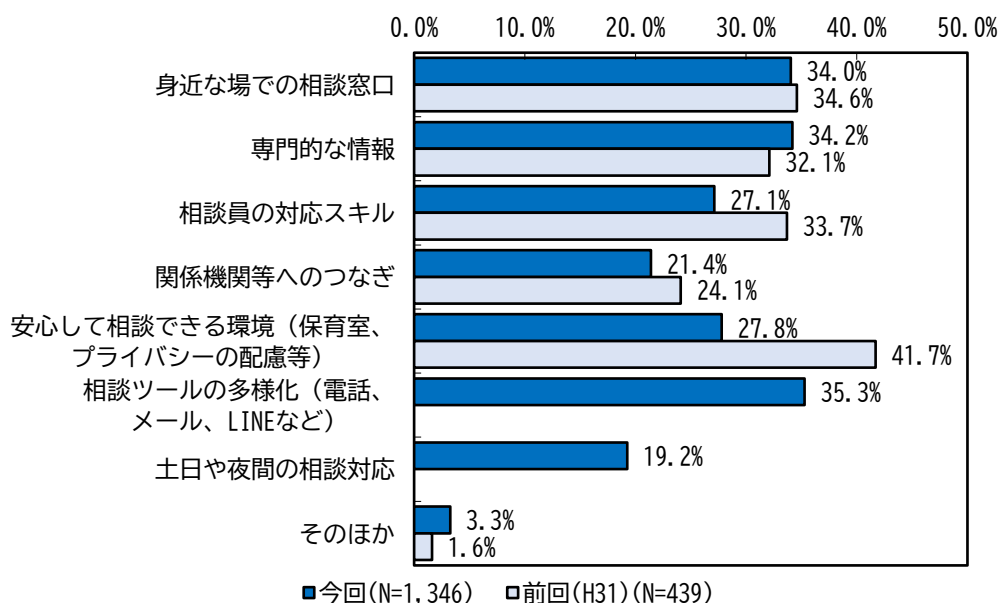
図表 Q9-2 相談できる人や場所がない理由（複数回答）



Q10 子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

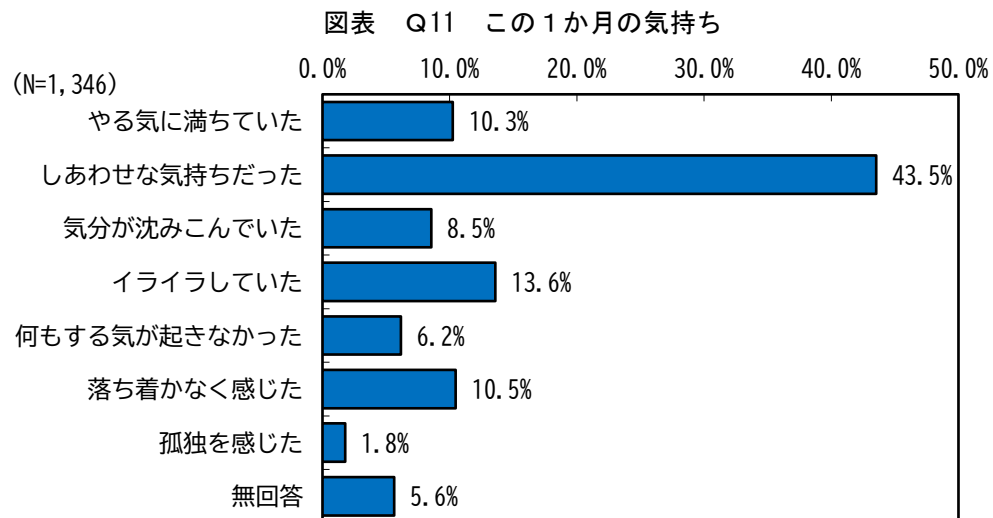
子育てに関する相談で充実してほしいことについてみると、「相談ツールの多様化（電話、メール、LINE など）」(35.3%)が最も多く、次いで「専門的な情報」(34.2%)、「身近な場での相談窓口」(34.0%)となっています。

図表 Q10 子育てに関する相談で充実してほしいこと（複数回答）



**Q11 子育てに限らずお考えください。この1か月あなたの気持ちはどのようなでしたか。
最も多く感じた気持ちをひとつ選んでください。**

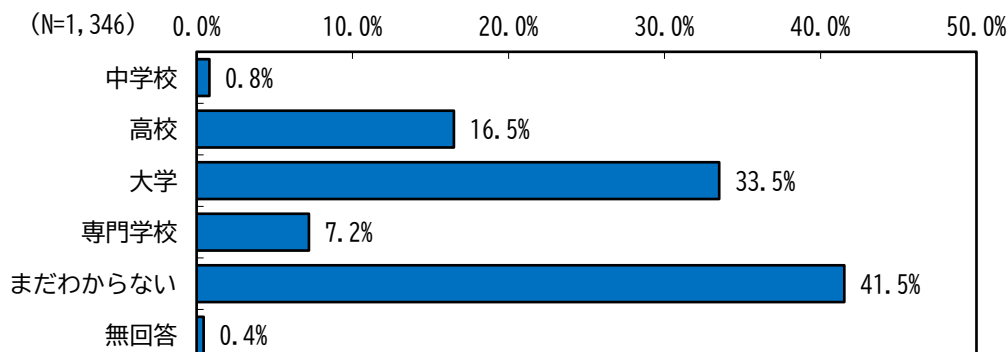
この1か月の気持ちについてみると、「しあわせな気持ちだった」(43.5%)が最も多く、次いで「イライラしていた」(13.6%)、「落ち着かなく感じた」(10.5%)となっています。



Q12 現実的に見てお子さんの最終学歴はどの学校になると思いますか。

子どもの最終学歴の予想についてみると、「まだわからない」(41.5%) が最も多く、次いで「大学」(33.5%)、「高校」(16.5%) となっています。

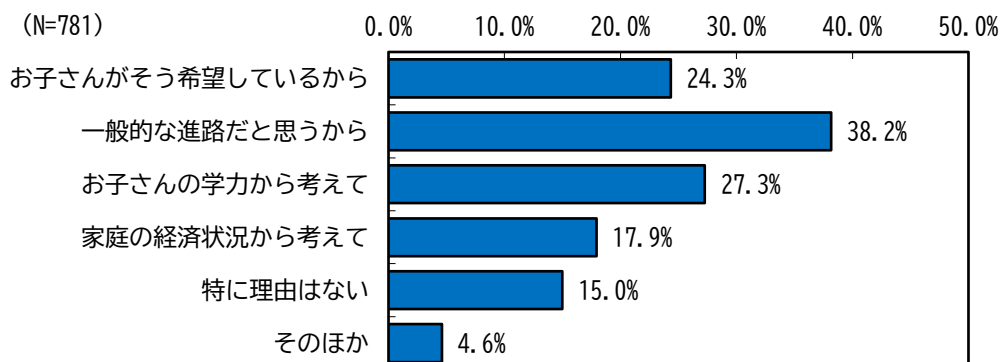
図表 Q12 子どもの最終学歴の予想



Q12-1 そう思う理由はなんですか。あてはまるものをすべてお選びください。

子どもの最終学歴を予想する理由についてみると、「一般的な進路だと思うから」(38.2%) が最も多く、次いで「お子さんの学力から考えて」(27.3%)、「お子さんがそう希望しているから」(24.3%) となっています。

図表 Q12-1 子どもの最終学歴を予想する理由（複数回答）



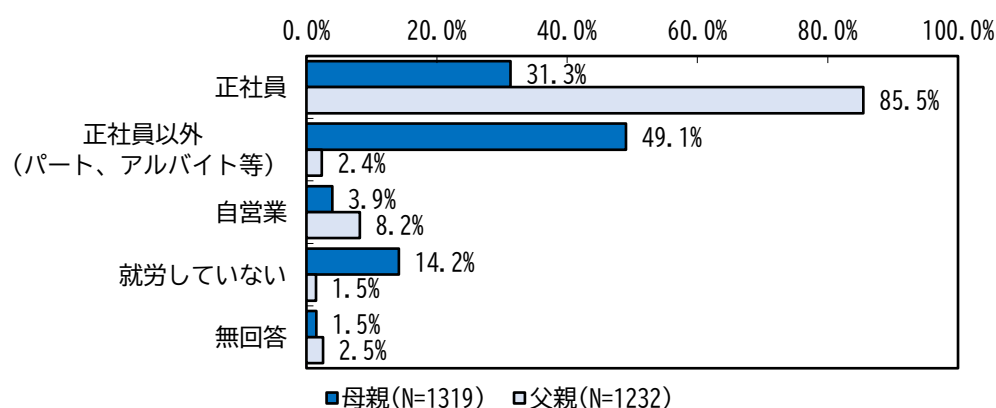
(3) 家庭の経済状況について

Q13 保護者の方の現在の就労状況は、次のどれにあてはまりますか。回答者ご本人と、配偶者（パートナー）の状況についてお答えください。産前産後休暇、育児休業、介護休業に入っている方は、休業に入る前の状況でお答えください。
※ひとり親家庭の方は、ご本人分のみお答えください。

母親の就労状況をみると、「正社員以外（パート、アルバイト等）」（49.1%）が最も多く、次いで「正社員」（31.3%）、「就労していない」（14.2%）となっています。

父親の就労状況についてみると、「正社員」（85.5%）が最も多く、次いで「自営業」（8.2%）、「正社員以外（パート、アルバイト等）」（2.4%）となっています。

図表 Q13 就労状況



Q13で「正社員」「正社員以外（パート、アルバイト等）」「自営業」を選択した人

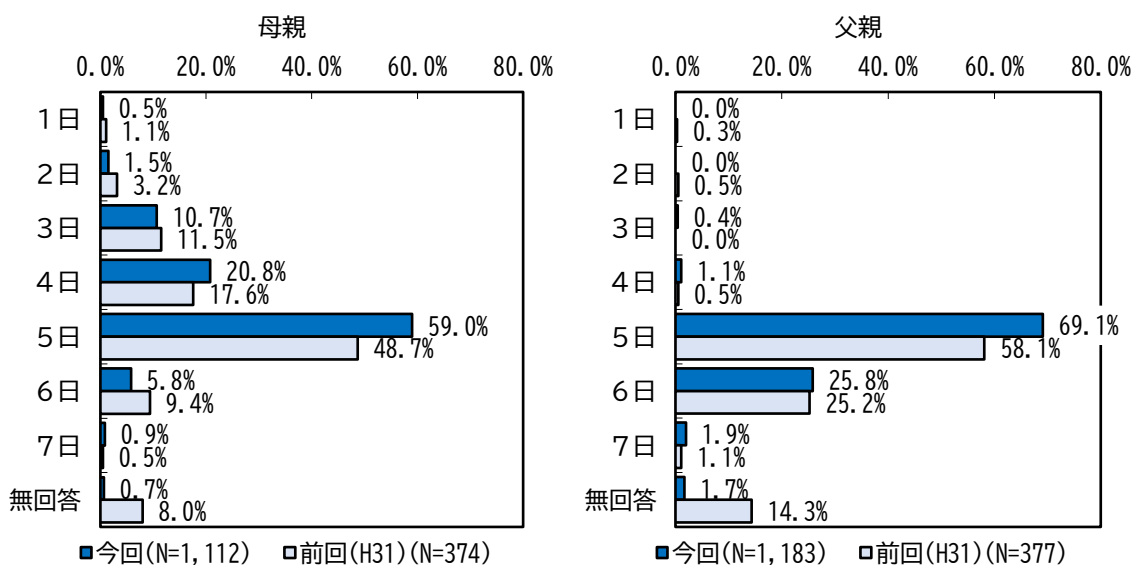
Q13－1 普段の勤務時間はどのくらいですか。もっとも多いパターンでお答えください。休業中の方は休業前の状況をお答えください。

1) 週あたりの勤務日数

母親の週あたりの勤務日数についてみると、「5日」（59.0％）が最も多く、次いで「4日」（20.8％）、「3日」（10.7％）となっています。

父親の週あたりの勤務日数についてみると、「5日」（69.1％）が最も多く、次いで「6日」（25.8％）、「7日」（1.9％）となっています。

図表 Q13－1（1） 週あたりの勤務日数

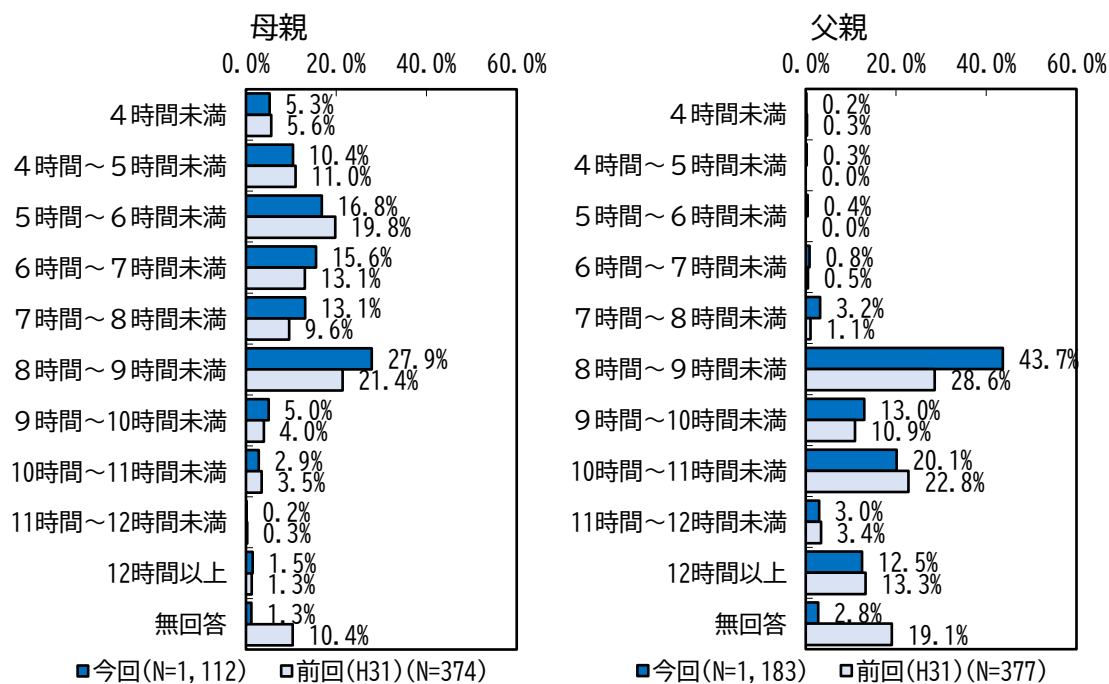


2) 1日あたりの勤務時間

母親の1日あたりの勤務時間についてみると、「8時間～9時間未満」(27.9%)が最も多く、次いで「5時間～6時間未満」(16.8%)、「6時間～7時間未満」(15.6%)となっています。

父親の1日あたりの勤務時間についてみると、「8時間～9時間未満」(43.7%)が最も多く、次いで「10時間～11時間未満」(20.1%)、「9時間～10時間未満」(13.0%)となっています。

図表 Q13-1(2) 1日あたりの勤務時間



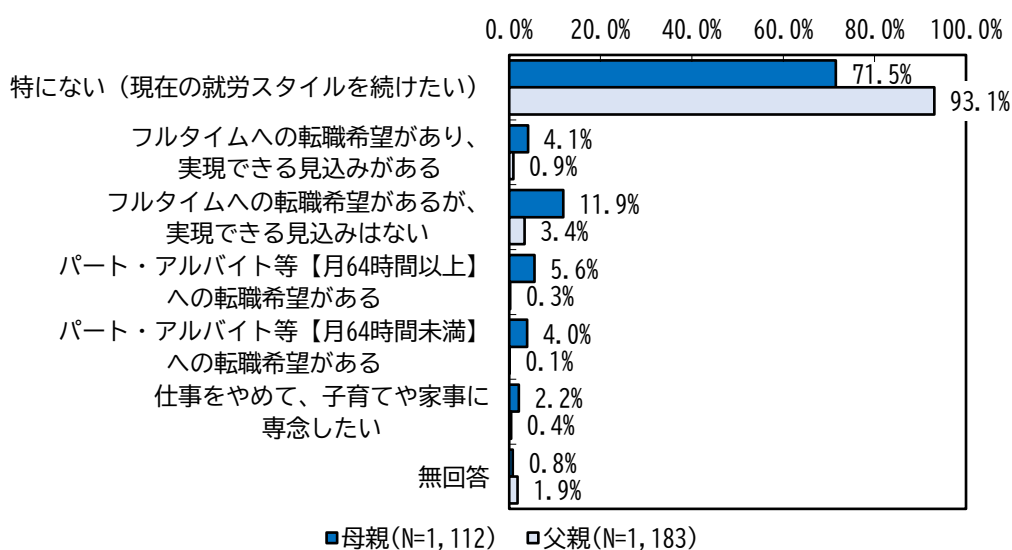
Q13で「正社員」「正社員以外（パート、アルバイト等）」「自営業」を選択した人

Q13-2 今後、転職や退職の希望はありますか。

母親の転職や退職の希望についてみると、「特にない（現在の就労スタイルを続けたい）」（71.5%）が最も多く、次いで「フルタイムへの転職希望があるが、実現できる見込みはない」（11.9%）、「パート・アルバイト等【月64時間以上】への転職希望がある」（5.6%）となっています。

父親の転職や退職の希望についてみると、「特にない（現在の就労スタイルを続けたい）」（93.1%）が最も多く、次いで「フルタイムへの転職希望があるが、実現できる見込みはない」（3.4%）、「フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある」（0.9%）となっています。

図表 Q13-2 転職や退職の希望



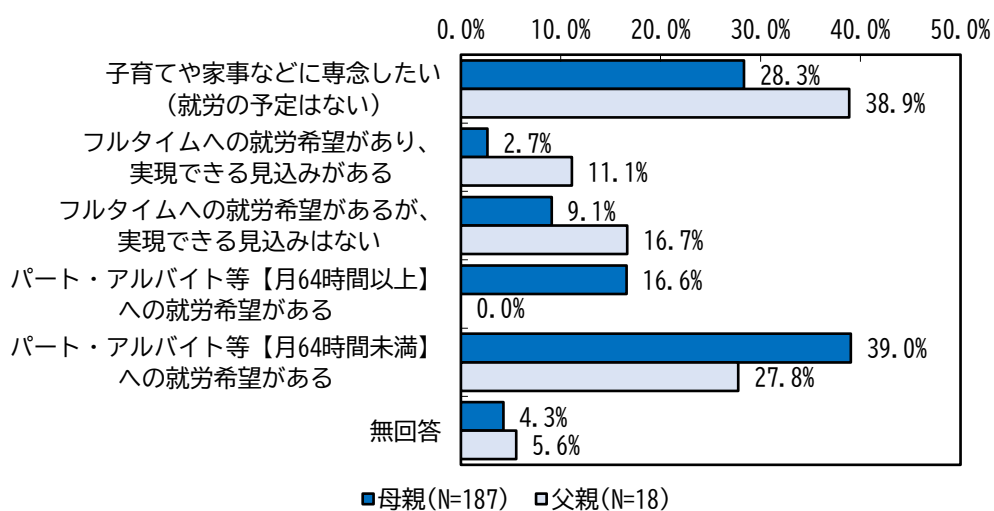
Q13 で「就労していない」を選択した人

Q13-3 今後、就労したいという希望はありますか。

就労していない母親の今後の就労希望についてみると、「パート・アルバイト等【月 64 時間未満】への就労希望がある」(39.0%) が最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(28.3%)、「パート・アルバイト等【月 64 時間以上】への就労希望がある」(16.6%) となっています。

就労していない父親の今後の就労希望についてみると、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(38.9%) が最も多く、次いで「パート・アルバイト等【月 64 時間未満】への就労希望がある」(27.8%)、「フルタイムへの就労希望があるが、実現できる見込みはない」(16.7%) となっています。

図表 Q13-3 就労していない方の今後の就労希望



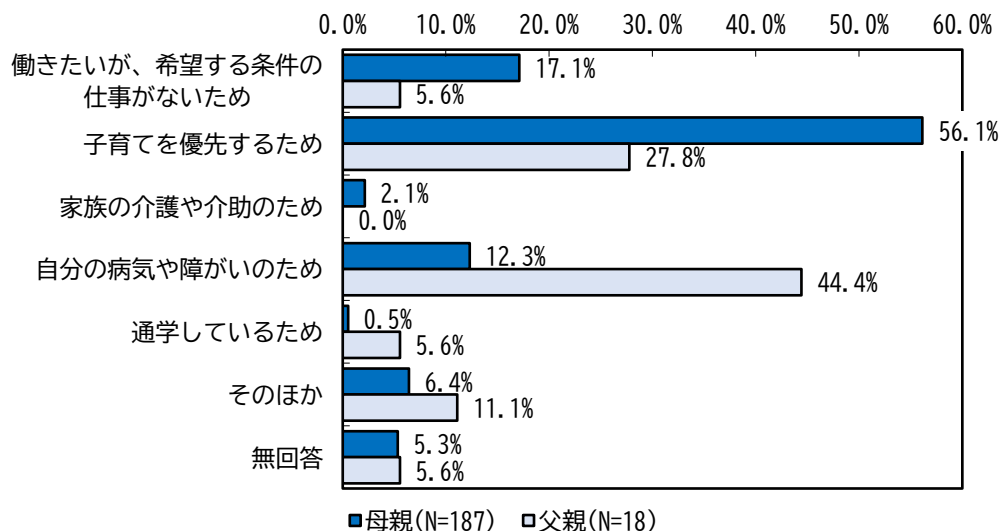
Q13 で「就労していない」を選択した人

Q13-4 働いていない最も主な理由をひとつ選んでください。

母親の働いていない理由についてみると、「子育てを優先するため」(56.1%)が最も多く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」(17.1%)、「自分の病気や障がいのため」(12.3%)となっています。

父親の働いていない理由についてみると、「自分の病気や障がいのため」(44.4%)が最も多く、次いで「子育てを優先するため」(27.8%)、「そのほか」(11.1%)となっています。

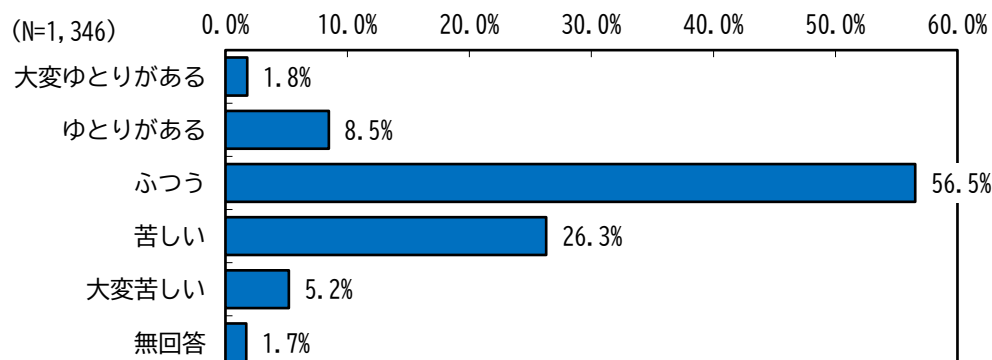
図表 Q13-4 働いていない理由



Q14 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。あてはまるものをひとつ選んでください。

現在の暮らしの状況についてみると、「ふつう」(56.5%)が最も多く、次いで「苦しい」(26.3%)、「ゆとりがある」(8.5%)となっています。

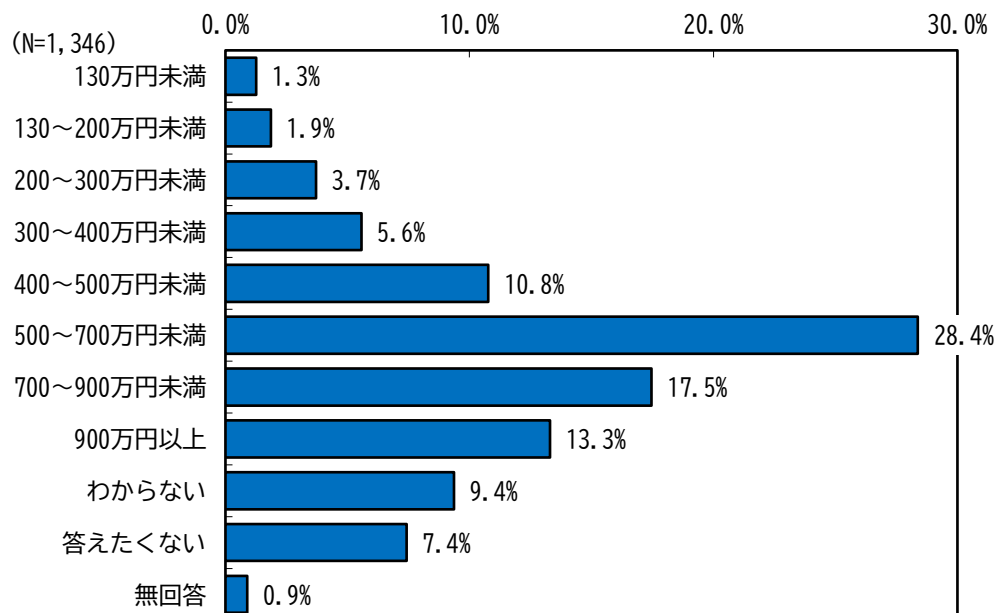
図表 Q14 現在の暮らしの状況



Q15 世帯全員の年間収入（税金などを引かれる前の金額）は合計でいくらですか。同居し、生計を同一にしている家族全員の収入について、あてはまるものをひとつ選んでください。（収入には、給与のほか、公的年金、児童手当等の諸手当、家賃収入、仕送りなども含みます）

世帯収入についてみると、「500～700万円未満」（28.4%）が最も多く、次いで「700～900万円未満」（17.5%）、「900万円以上」（13.3%）となっています。

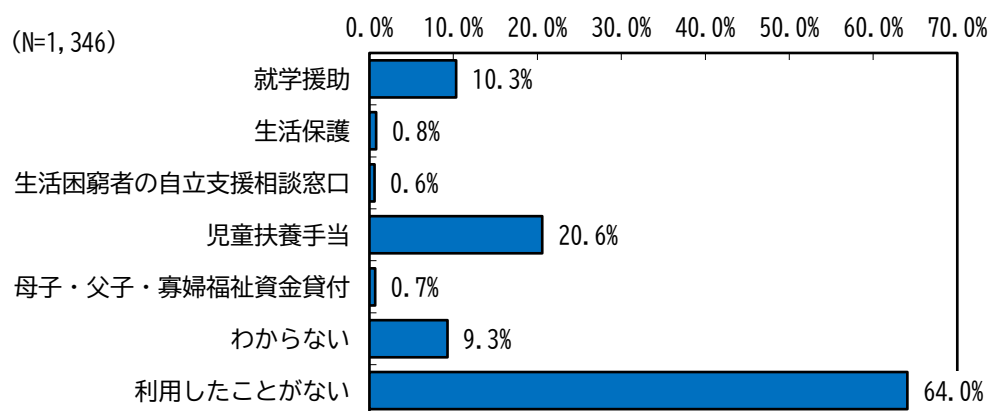
図表 Q15 世帯収入



Q16 あなたの家庭では、以下の支援制度をこれまで利用したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

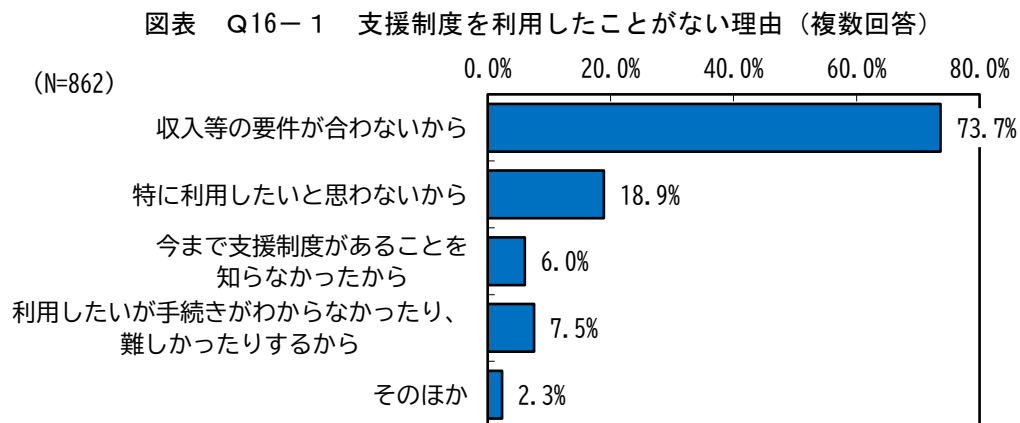
利用したことのある支援制度についてみると、「利用したことがない」（64.0%）が最も多く、次いで「児童扶養手当」（20.6%）、「就学援助」（10.3%）となっています。

図表 Q16 利用したことのある支援制度（複数回答）



Q16－1 利用したことがない理由はなんですか。あてはまるものをすべて選んでください。

支援制度を利用したことがない理由についてみると、「収入等の要件が合わないから」(73.7%)が最も多く、次いで「特に利用したいと思わないから」(18.9%)、「利用したいが手続きがわからなかったり、難しかったりするから」(7.5%)となっています。

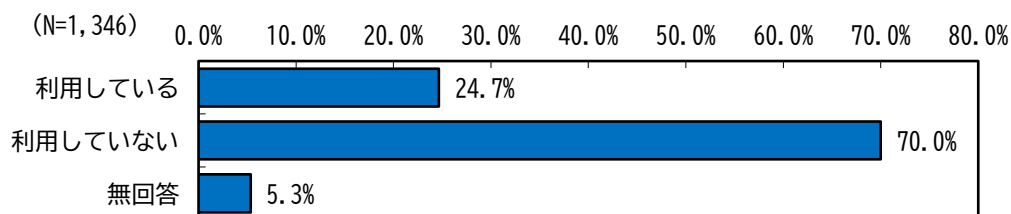


（４）放課後や長期休暇中の過ごし方について

Q17 平日の放課後に、学童保育所等の預かり事業を利用していますか。

平日の学童保育所等の預かり事業の利用についてみると、「利用している」が24.7%、「利用していない」が70.0%となっています。

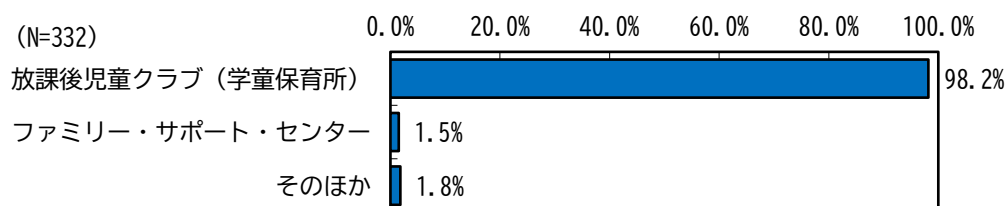
図表 Q17 平日の学童保育所等の預かり事業の利用



Q17-1 利用している方（Q17で①に○）におたずねします。どのようなサービスを利用していますか。

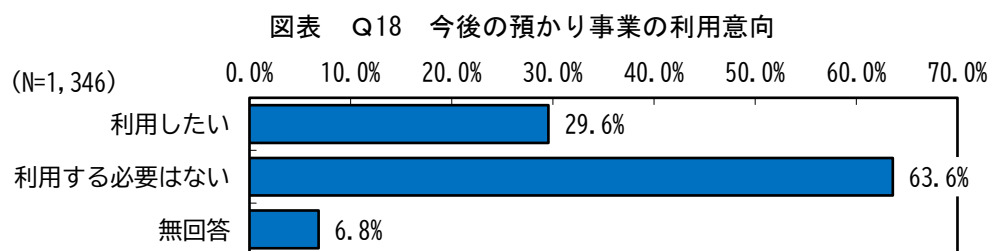
平日に利用している事業についてみると、「放課後児童クラブ（学童保育所）」が98.2%、「ファミリー・サポート・センター」が1.5%となっています。

図表 Q17-1 平日に利用している事業（複数回答）



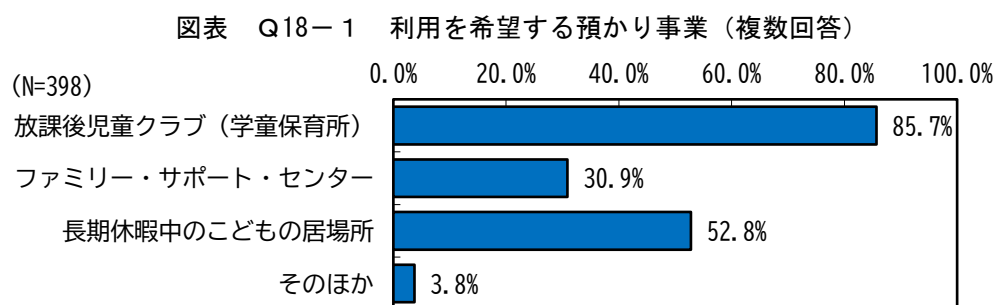
Q18 今後、放課後に、学童保育所等の預かり事業を利用（継続）したいと思いますか。

今後の預かり事業の利用意向についてみると、「利用したい」が29.6%、「利用する必要はない」が63.6%となっています。



Q18-1 利用したいと回答した方（Q18で①に○）におたずねします。利用を希望する期間についてお答えください。

利用を希望する預かり事業についてみると、「放課後児童クラブ（学童保育所）」（85.7%）が最も多く、次いで「長期休暇中のこどもの居場所」（52.8%）、「ファミリー・サポート・センター」（30.9%）となっています。



放課後児童クラブ（学童保育所）の利用を何年生まで希望するかについてみると、「6年生」（63.6%）が最も多く、次いで「4年生」（17.6%）、「3年生」（8.8%）となっています。

ファミリー・サポート・センターの利用を何年生まで希望するかについてみると、「6年生」（54.5%）が最も多く、次いで「3年生」（13.0%）、「4年生」（12.2%）となっています。

長期休暇中のこどもの居場所の利用を何年生まで希望するかについてみると、「6年生」（70.0%）が最も多く、次いで「4年生」（13.3%）、「3年生」（6.7%）となっています。

図表 Q18-1 預かり事業の利用を何年生まで希望するか

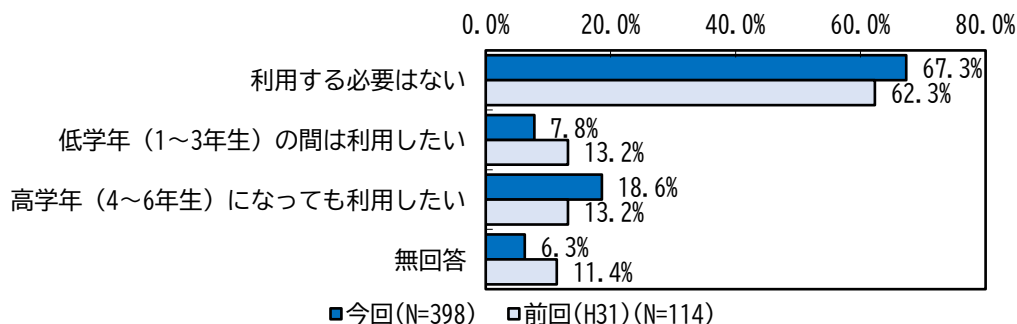
	回答者数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	無回答
放課後児童クラブ（学童保育所）	341	0.9%	1.8%	8.8%	17.6%	7.3%	63.6%	0.0%
ファミリー・サポート・センター	123	8.9%	4.9%	13.0%	12.2%	6.5%	54.5%	0.0%
長期休暇中のこどもの居場所	210	3.3%	1.4%	6.7%	13.3%	5.2%	70.0%	0.0%
その他の事業	15	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%

Q19 放課後児童クラブ（学童保育所）を利用したい方（Q18で「利用したい」を選択した人）におたずねします。お子さんについて、土曜日と日曜・祝日、長期休暇中に利用希望はありますか。あてはまる番号ひとつに○印をつけて、利用したい時間帯を記入してください。時間は24時間制でご記入ください（例：08時、18時 等）

1) 土曜日

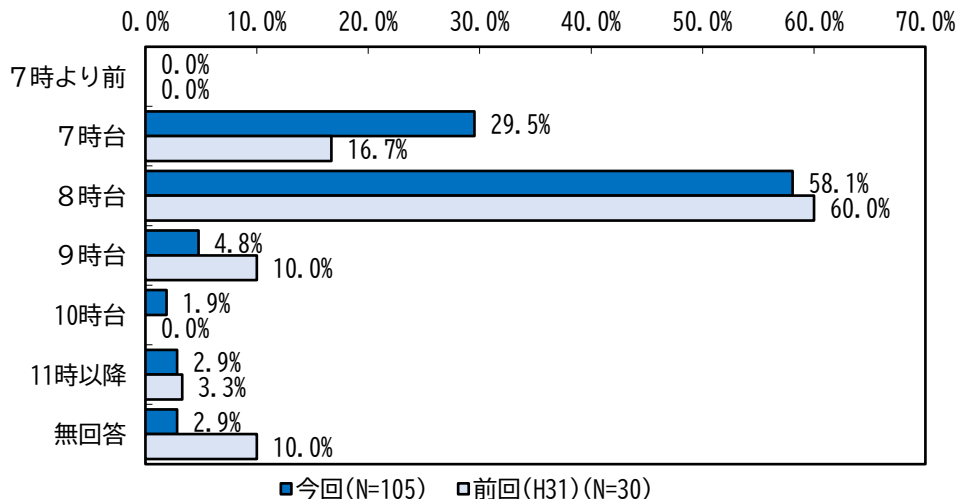
土曜日の放課後児童クラブ（学童保育所）の利用希望についてみると、「利用する必要はない」（67.3%）が多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（18.6%）、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（7.8%）となっています。

図表 Q19（1） 土曜日の放課後児童クラブ（学童保育所）の利用希望

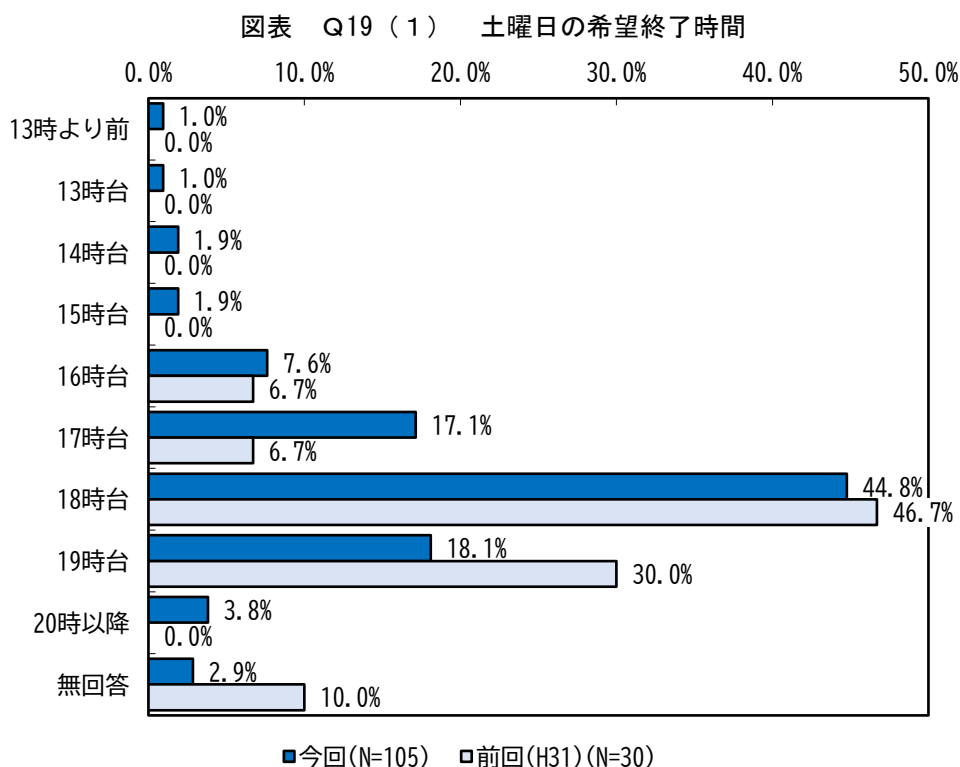


土曜日の希望開始時間についてみると、「8時台」（58.1%）が最も多く、次いで「7時台」（29.5%）、「9時台」（4.8%）となっています。

図表 Q19（1） 土曜日の希望開始時間

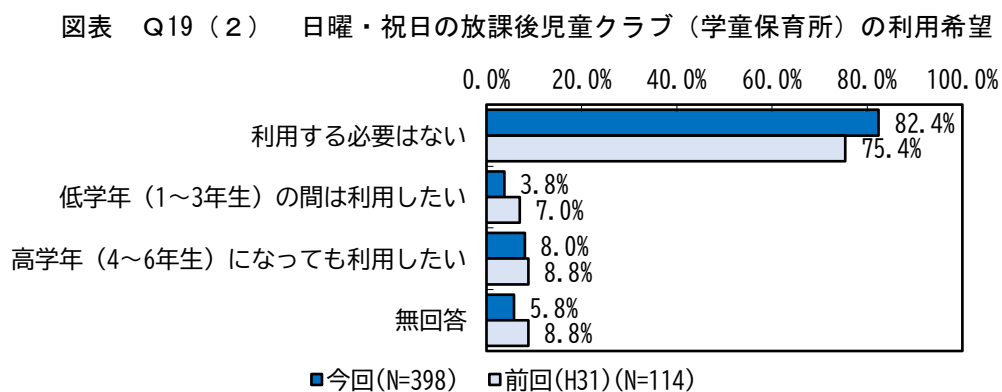


土曜日の希望終了時間についてみると、「18 時台」（44.8％）が最も多く、次いで「19 時台」（18.1％）、「17 時台」（17.1％）となっています。



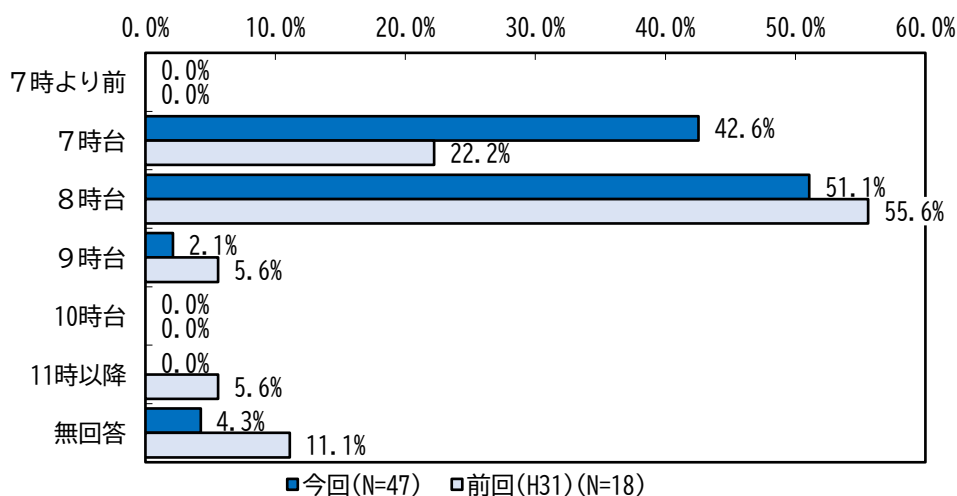
2）日曜・祝日

日曜・祝日の放課後児童クラブ（学童保育所）の利用希望についてみると、「利用する必要はない」（82.4％）が多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（8.0％）、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（3.8％）となっています。



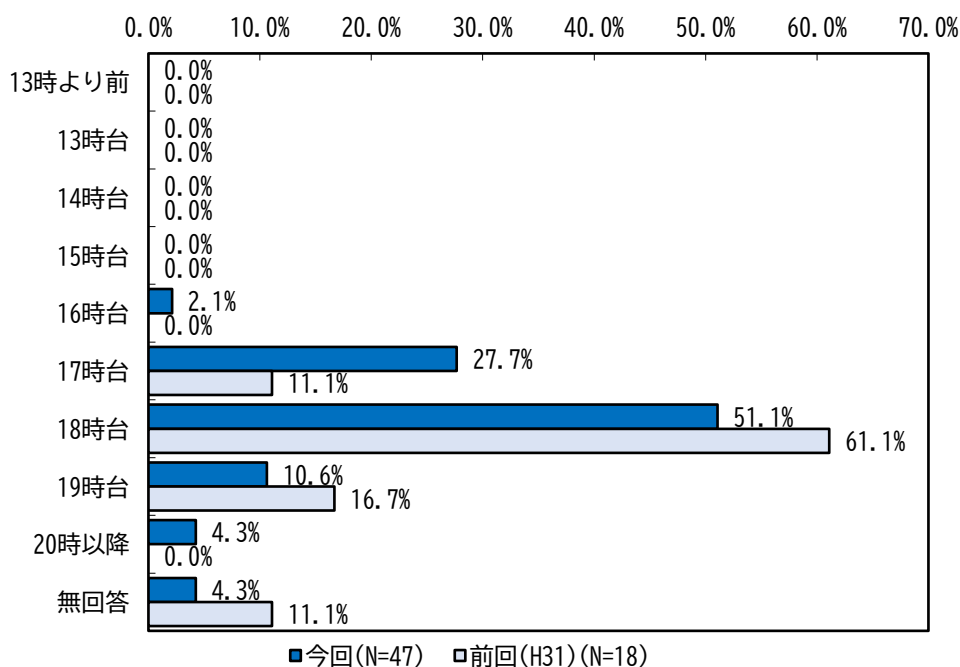
日曜・祝日の希望開始時間についてみると、「8時台」(51.1%)が最も多く、次いで「7時台」(42.6%)、「9時台」(2.1%)となっています。

図表 Q19(2) 日曜・祝日の希望開始時間



日曜・祝日の希望終了時間についてみると、「18時台」(51.1%)が最も多く、次いで「17時台」(27.7%)、「19時台」(10.6%)となっています。

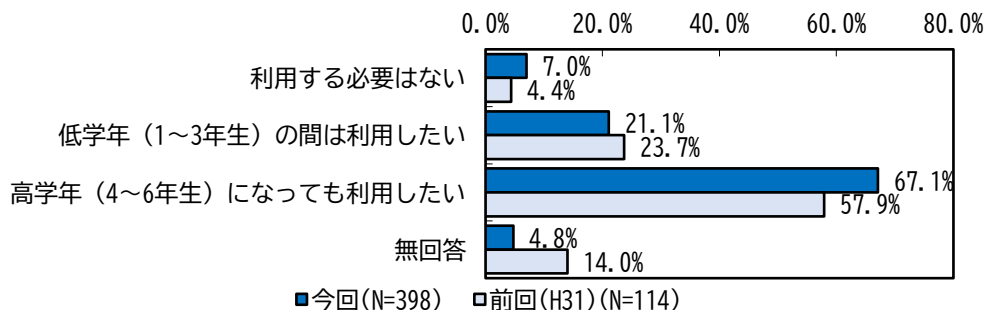
図表 Q19(2) 日曜・祝日の希望終了時間



3) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中

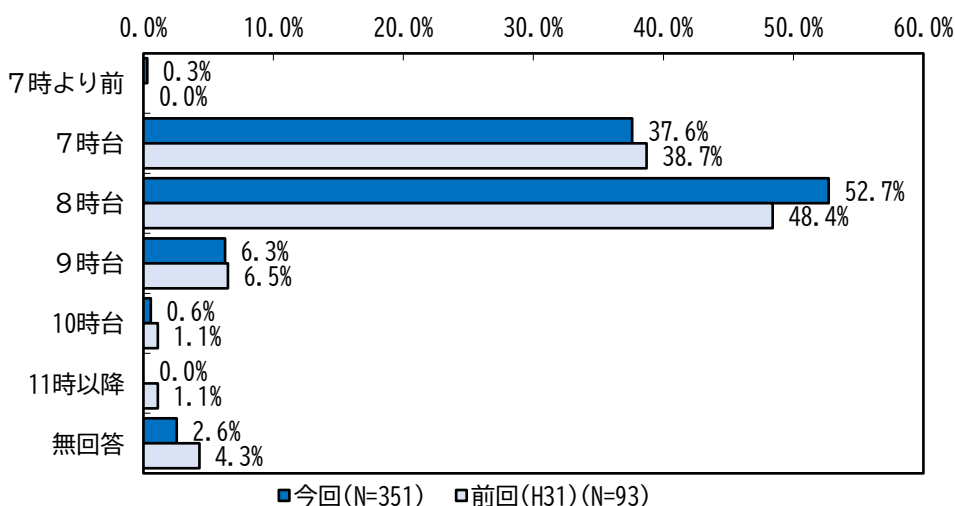
長期休暇中の放課後児童クラブ（学童保育所）の利用希望についてみると、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（67.1%）が多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（21.1%）、「利用する必要はない」（7.0%）となっています。

図表 Q19（3） 長期休暇中の放課後児童クラブ（学童保育所）の利用希望



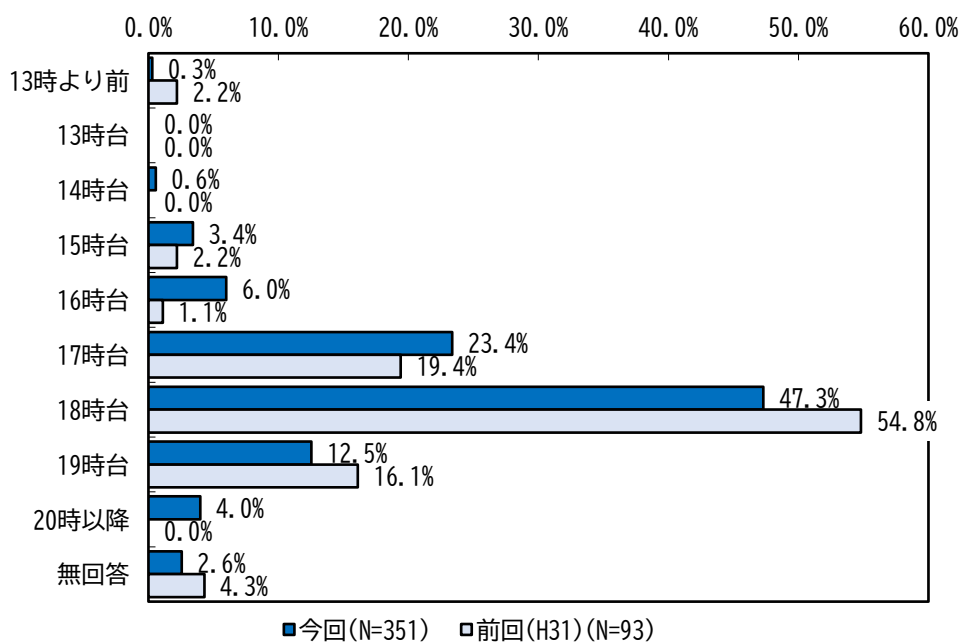
長期休暇中の希望開始時間についてみると、「8時台」（52.7%）が最も多く、次いで「7時台」（37.6%）、「9時台」（6.3%）となっています。

図表 Q19（3） 長期休暇中の希望開始時間



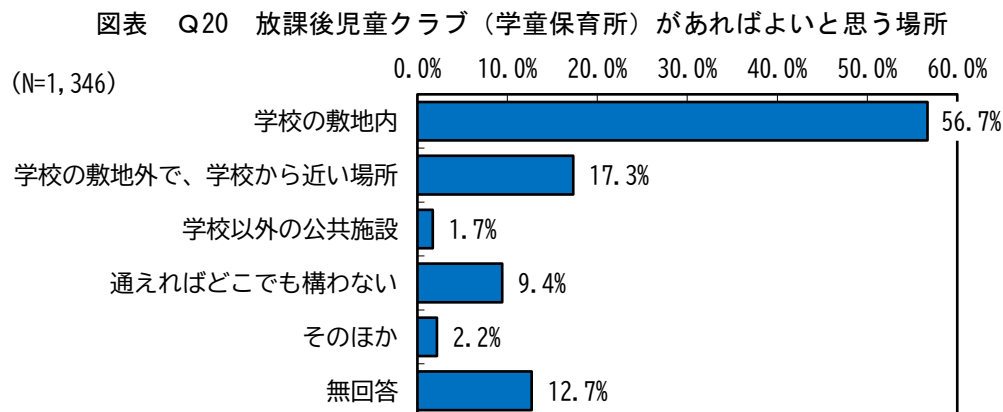
長期休暇中の希望終了時間についてみると、「18 時台」（47.3%）が最も多く、次いで「17 時台」（23.4%）、「19 時台」（12.5%）となっています。

図表 Q19（3） 長期休暇中の希望終了時間



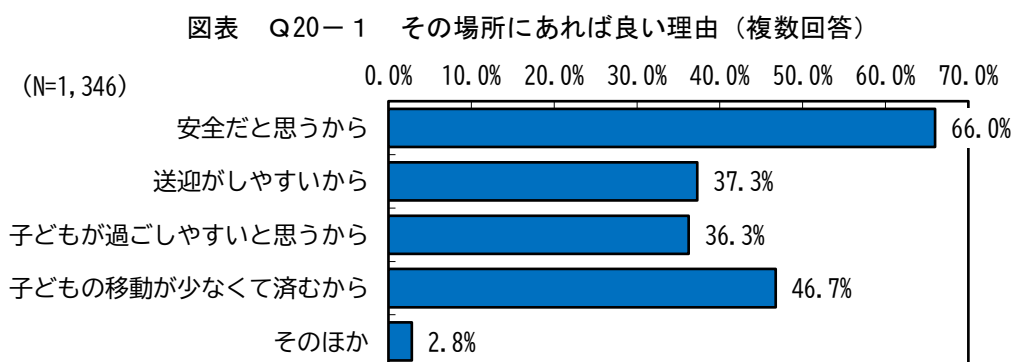
Q20 どのような場所に放課後児童クラブ（学童保育所）があればよいと思いますか。あてはまるものをひとつ選んでください。

放課後児童クラブ（学童保育所）があればよいと思う場所についてみると、「学校の敷地内」（56.7%）が最も多く、次いで「学校の敷地外で、学校から近い場所」（17.3%）、「通えればどこでも構わない」（9.4%）となっています。



Q20-1 なぜその場所にあると良いと思うのか、理由を選んでください。あてはまるものをすべて選んでください。

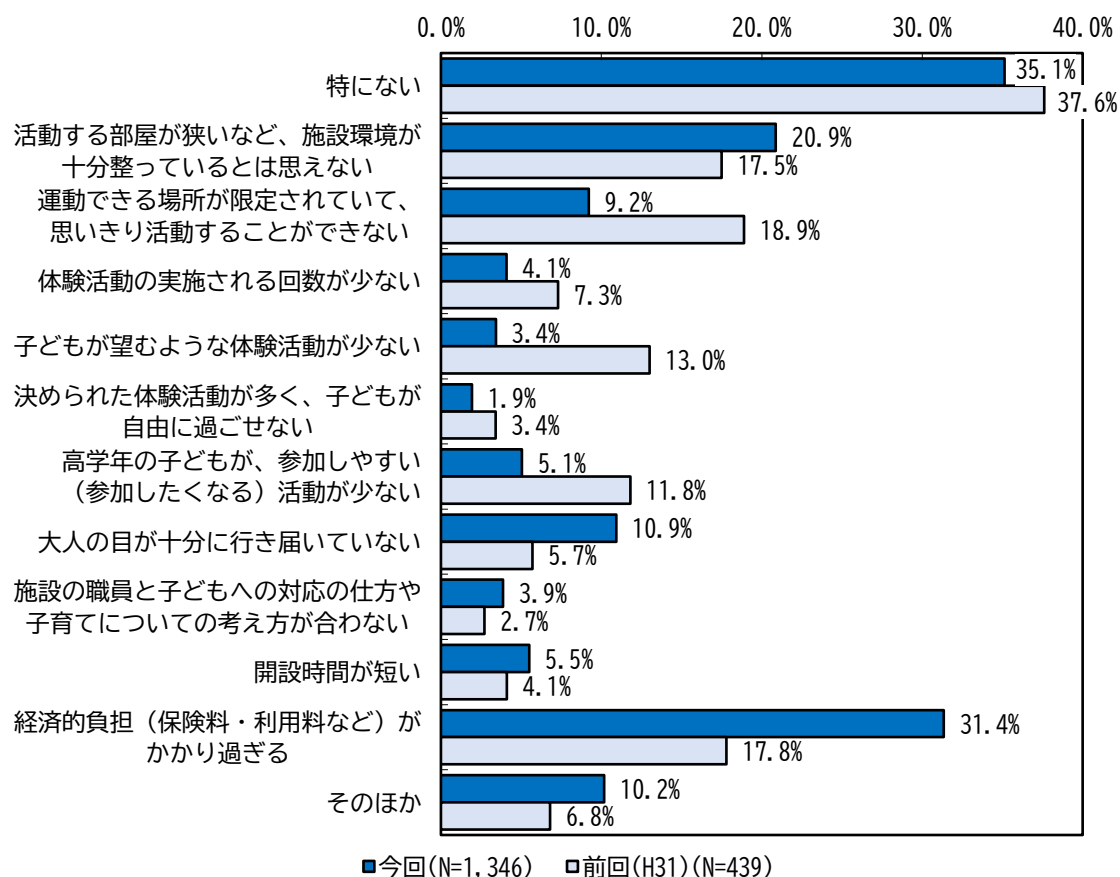
その場所にあれば良い理由についてみると、「安全だと思うから」（66.0%）が最も多く、次いで「子どもの移動が少なくて済むから」（46.7%）、「送迎がしやすいから」（37.3%）となっています。



Q21 放課後児童クラブ（学童保育所）について問題だと思うことは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

放課後児童クラブ（学童保育所）について問題だと思うことについてみると、「特にない」（35.1%）が最も多く、次いで「経済的負担（保険料・利用料など）がかかり過ぎる」（31.4%）、
「活動する部屋が狭いなど、施設環境が十分整っているとは思えない」（20.9%）となっています。

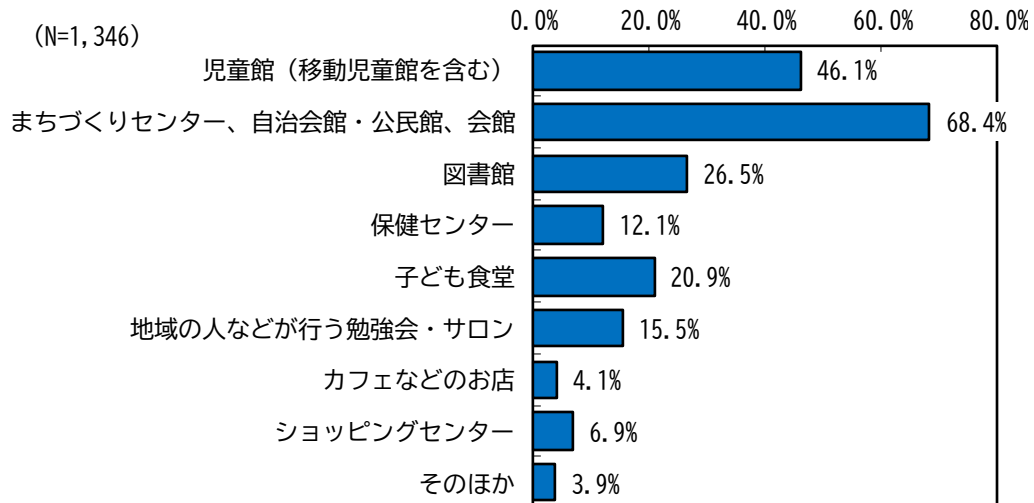
図表 Q21 放課後児童クラブ（学童保育所）について問題だと思うこと（複数回答）



Q22 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中、大人の見守りがあって子どもが自由に過ごせる場所（こどもの居場所）を新たに設置するなら、どのような場所にあるといいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

長期休暇期間中のこどもの居場所を新たに設置すべき場所」についてみると、「まちづくりセンター、自治会館・公民館、会館」（68.4%）が最も多く、次いで「児童館（移動児童館を含む）」（46.1%）、「図書館」（26.5%）となっています。

図表 Q22 長期休暇期間中のこどもの居場所を新たに設置すべき場所（複数回答）

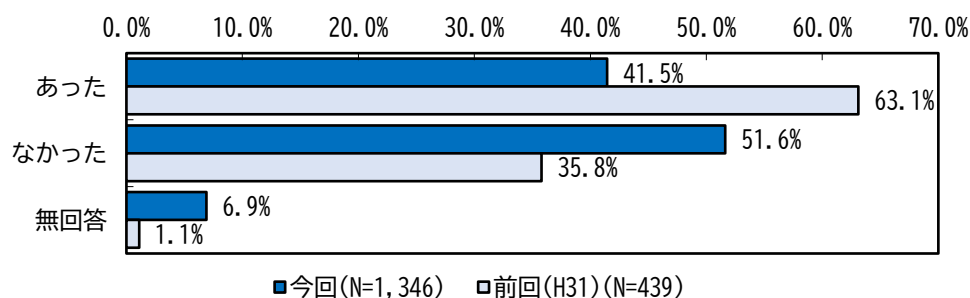


(5) お子さんの病気の際の対応について

Q23 この１年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

この１年間に子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったことについてみると、「あった」が41.5%、「なかった」が51.6%となっています。

図表 Q23 この１年間に子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、１年生以外は「なかった」が多くなっています。

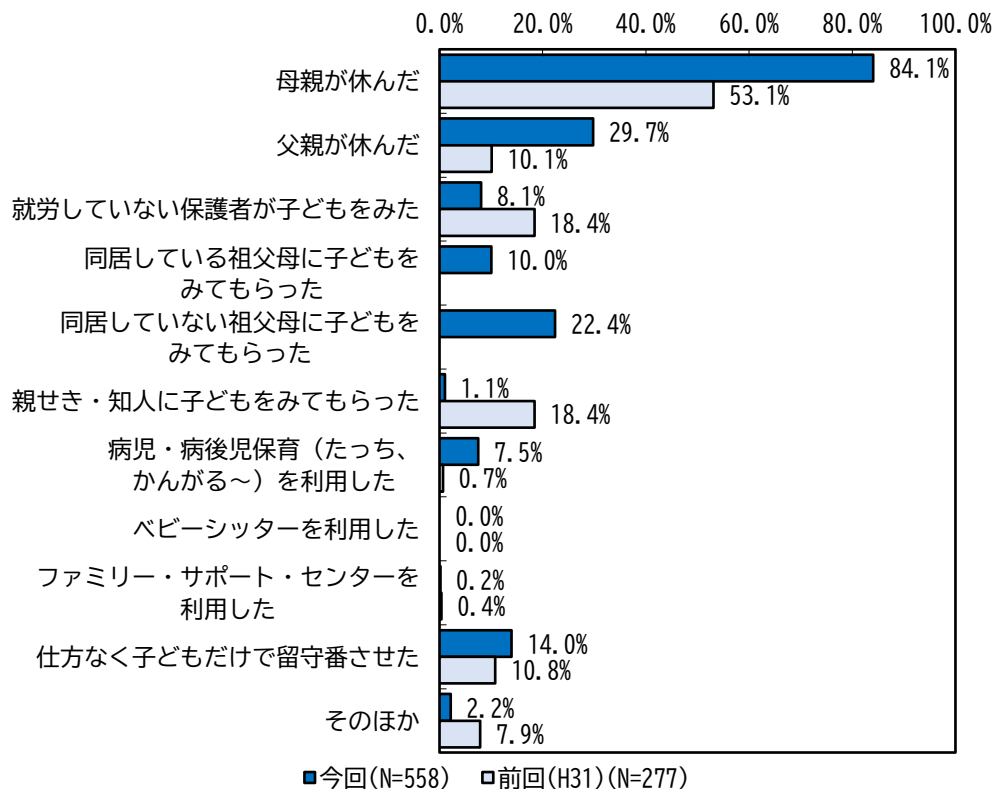
図表 Q23 子の年齢別 この１年間に子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと

	回答者数	あった	なかった	無回答
1年生	211	48.3%	40.3%	11.4%
2年生	215	43.7%	49.3%	7.0%
3年生	195	45.1%	50.3%	4.6%
4年生	247	40.9%	51.8%	7.3%
5年生	260	36.2%	57.3%	6.5%
6年生	211	36.5%	59.7%	3.8%

Q23－1 病気やケガで利用できなかった方におたずねします。その際、どのように対処されましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

通常の事業が利用できなかった際の対処についてみると、「母親が休んだ」(84.1%) が最も多く、次いで「父親が休んだ」(29.7%)、「同居していない祖父母に子どもをみてもらった」(22.4%) となっています。

図表 Q23－1 通常の事業が利用できなかった際の対処（複数回答）



※「同居している祖父母に子どもをみてもらった」「同居していない祖父母に子どもをみてもらった」は今回のみ

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、すべての年齢で「母親が休んだ」が最も多く、約8割から約9割を占めています。

図表 子の年齢別 Q23-1 通常の事業が利用できなかった際の対処（複数回答）

	回答者数	母親が休んだ	父親が休んだ	就労していない保護者が子どもをみた	同居している祖父母に子どもをみてもらった	同居していない祖父母に子どもをみてもらった	親せき・知人に子どもをみてもらった	病児・病後児保育へたち、かんがるゝを利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番させた	その他
1年生	102	90.2%	32.4%	4.9%	5.9%	24.5%	1.0%	16.7%	0.0%	1.0%	3.9%	1.0%
2年生	94	86.2%	34.0%	10.6%	7.4%	29.8%	0.0%	10.6%	0.0%	0.0%	11.7%	0.0%
3年生	88	81.8%	27.3%	6.8%	10.2%	19.3%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	10.2%	5.7%
4年生	101	86.1%	26.7%	7.9%	13.9%	20.8%	4.0%	4.0%	0.0%	0.0%	14.9%	3.0%
5年生	94	77.7%	28.7%	6.4%	8.5%	21.3%	0.0%	6.4%	0.0%	0.0%	17.0%	1.1%
6年生	77	80.5%	28.6%	13.0%	15.6%	18.2%	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%	29.9%	2.6%

【親の就労状況別】

母の就労状況別にみると、「正社員」、「正社員以外（パート、アルバイト等）」、「自営業」は「母親が休んだ」が最も多く、約9割を占めています。

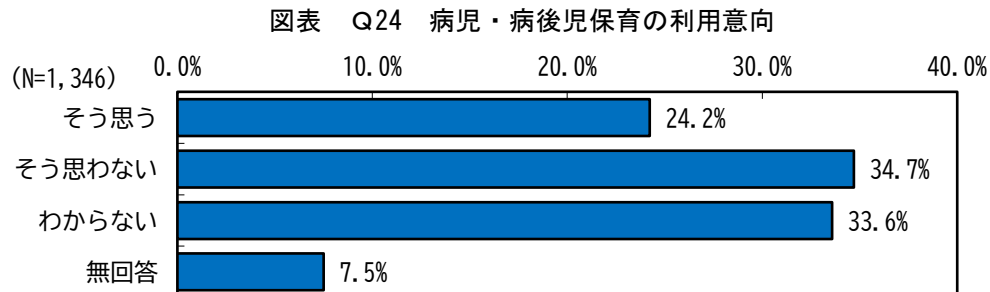
「就労していない」では「就労していない保護者が子どもをみた」が最も多くなっています。

図表 母の就労状況別 Q23-1 通常の事業が利用できなかった際の対処（複数回答）

	回答者数	母親が休んだ	父親が休んだ	就労していない保護者が子どもをみた	同居している祖父母に子どもをみてもらった	同居していない祖父母に子どもをみてもらった	親せき・知人に子どもをみてもらった	病児・病後児保育へたち、かんがるゝを利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番させた	その他
正社員	222	88.3%	41.9%	2.7%	13.5%	32.9%	1.4%	13.1%	0.0%	0.5%	17.6%	1.4%
正社員以外（パート、アルバイト等）	256	91.4%	23.0%	2.0%	5.9%	16.0%	0.8%	4.3%	0.0%	0.0%	12.1%	2.7%
自営業	19	89.5%	5.3%	5.3%	15.8%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%
就労していない	42	28.6%	9.5%	71.4%	7.1%	4.8%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%

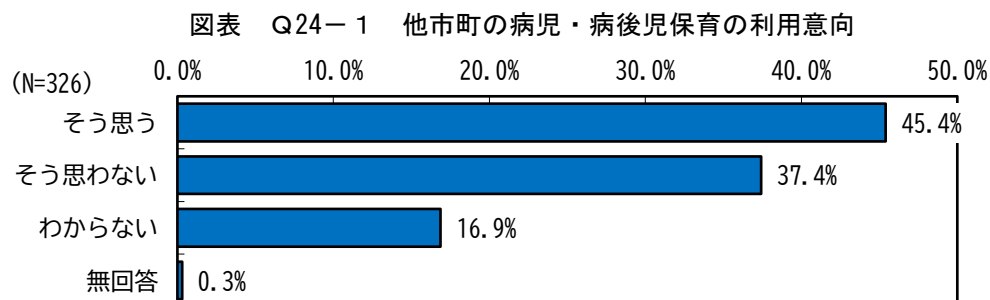
Q24 今後、お子さんが病気やケガで通常の事業を利用できない時には、病児・病後児保育を利用したいと思いますか。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

病児・病後児保育の利用意向についてみると、「そう思わない」(34.7%)が多く、次いで「わからない」(33.6%)、「そう思う」(24.2%)となっています。



Q24-1 可能であれば湖南市だけでなく、他市町の病児・病後児保育も利用したいと思いますか。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

他市町の病児・病後児保育の利用意向についてみると、「そう思う」(45.4%)が多く、次いで「そう思わない」(37.4%)、「わからない」(16.9%)となっています。

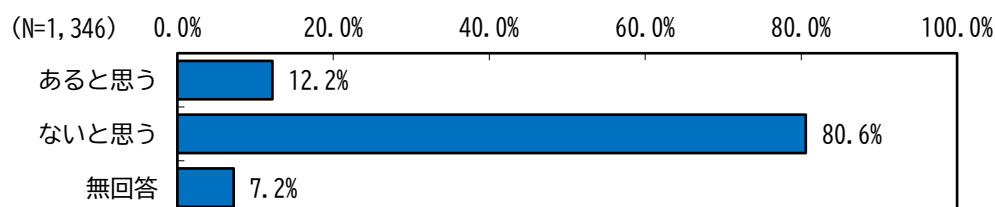


(6) 宿泊を伴う一時預かりなどについて

Q25 お子さんについて、保護者の事情（育児疲れ、育児不安、病気、冠婚葬祭など）により、短期入所生活支援事業（ショートステイ）を利用する必要があると思いますか。

短期入所生活支援事業（ショートステイ）を利用する必要」についてみると、「あると思う」が12.2%、「ないと思う」が80.5%となっています。

図表 Q25 短期入所生活支援事業（ショートステイ）を利用する必要

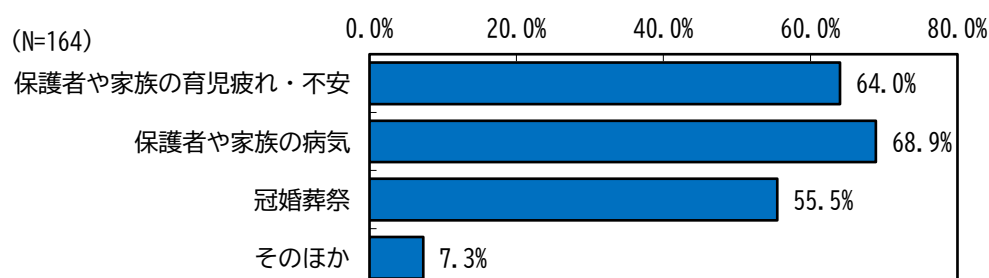


(Q25 で「(利用する必要が) あると思う」を選択した人)

Q25-1 ショートステイの利用目的と希望する年間利用日数(泊数)をお答えください。

ショートステイの利用目的についてみると、「保護者や家族の病気」(68.9%)が最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」(64.0%)、「冠婚葬祭」(55.5%)となっています。

図表 Q25-1 ショートステイの利用目的(複数回答)



ショートステイの利用希望日数(年間)を「保護者や家族の育児疲れ・不安」についてみると、「11~20日」(33.3%)が最も多く、次いで「1日」(21.0%)、「3日」(19.0%)となっています。「保護者や家族の病気」についてみると、「3日」、「6~10日」(いずれも21.2%)が多く、次いで「11~20日」(16.8%)となっています。「冠婚葬祭」についてみると、「2日」(27.5%)が最も多く、次いで「1日」(24.2%)、「3日」(17.6%)となっています。

図表 Q25-1 ショートステイの利用希望日数(年間)

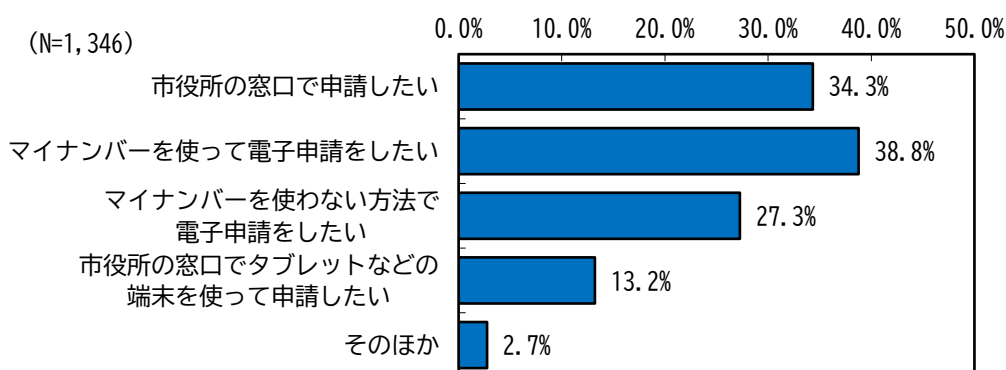
	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6~10日	11~20日	21日以上	無回答
保護者や家族の育児疲れ・不安	105	21.0%	6.7%	19.0%	1.0%	8.6%	3.8%	33.3%	5.7%	1.0%
保護者や家族の病気	113	8.8%	9.7%	21.2%	0.0%	8.0%	21.2%	16.8%	8.8%	5.3%
冠婚葬祭	91	24.2%	27.5%	17.6%	0.0%	8.8%	12.1%	4.4%	1.1%	4.4%
その他	12	25.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	41.7%	0.0%	0.0%	25.0%

(7) 子育て全般について

Q26 児童手当などの諸手当の申請や、入園・入所の制度の申請について、どのような方法で申請したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

手当や制度の申請方法の希望についてみると、「マイナンバーを使って電子申請をしたい」(38.8%)が最も多く、次いで「市役所の窓口で申請したい」(34.3%)、「マイナンバーを使わない方法で電子申請をしたい」(27.3%)となっています。

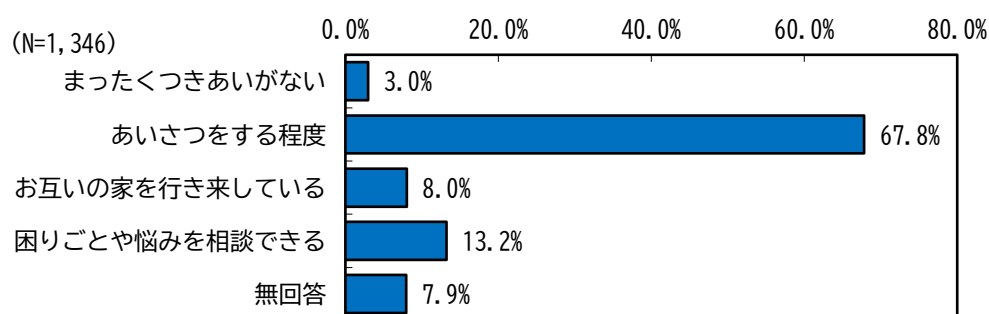
図表 Q26 手当や制度の申請方法の希望（複数回答）



Q27 あなたの家族の近所づきあいほどの程度ですか。あてはまるものをひとつ選んでください。

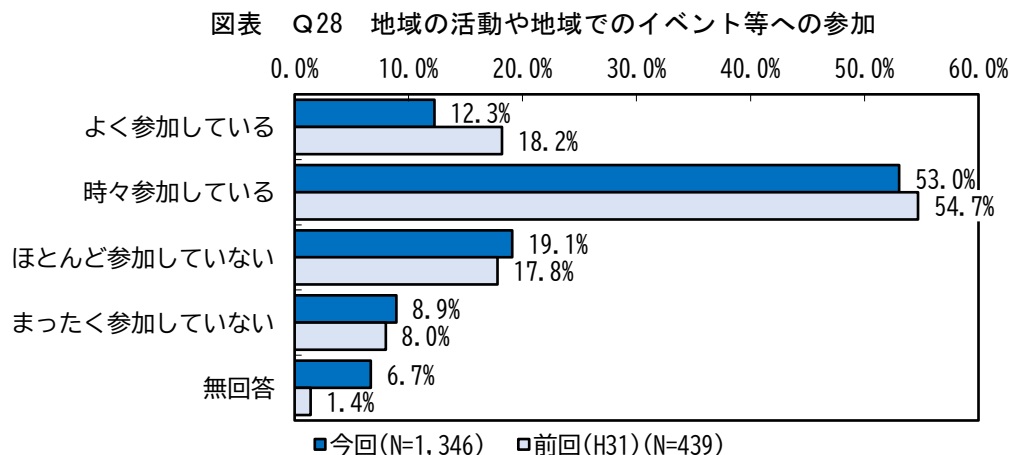
近所づきあいの程度についてみると、「あいさつをする程度」(67.8%)が最も多く、次いで「困りごとや悩みを相談できる」(13.2%)、「お互いの家を行き来している」(8.0%)となっています。

図表 Q27 近所づきあいの程度



Q28 地域の活動や地域でのイベント等に参加していますか。あてはまるものをひとつ選んでください。

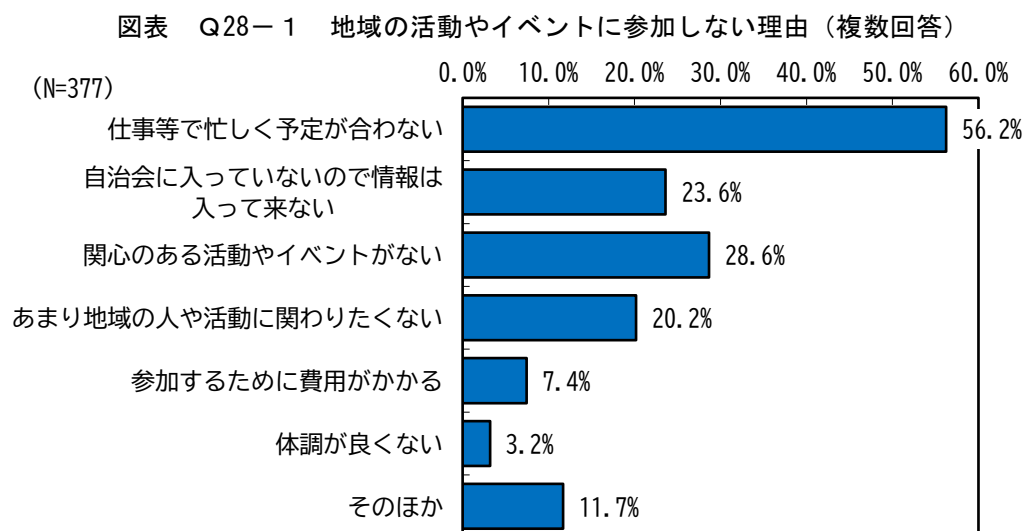
地域の活動や地域でのイベント等への参加についてみると、「時々参加している」(53.0%)が最も多く、次いで「ほとんど参加していない」(19.1%)、「よく参加している」(12.3%)となっています。



(Q28で「ほとんど参加していない」「まったく参加していない」を選択した人)

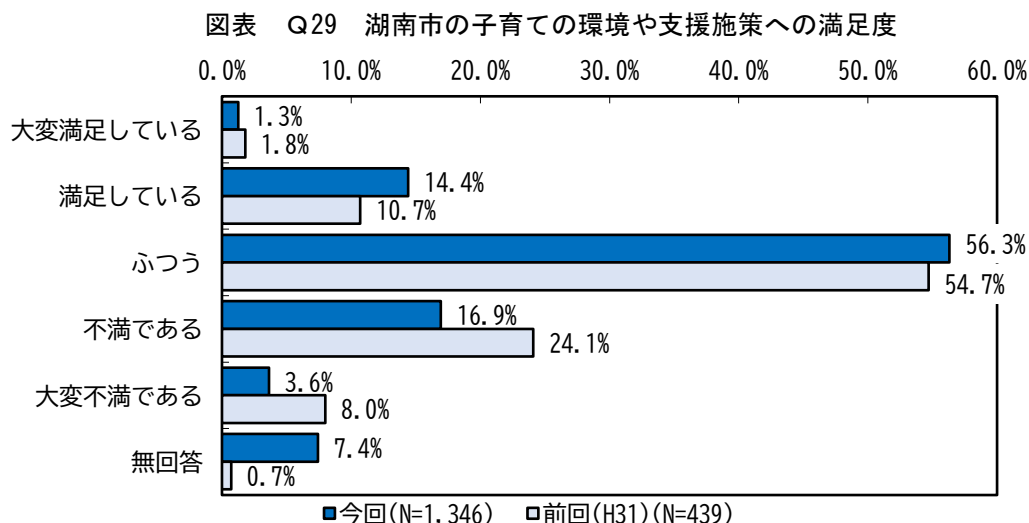
Q28-1 地域の活動やイベントに参加しない理由はなんですか。あてはまるものをすべて選んでください。

地域の活動やイベントに参加しない理由についてみると、「仕事等で忙しく予定が合わない」(56.2%)が最も多く、次いで「関心のある活動やイベントがない」(28.6%)、「自治会に入っていないので情報は入って来ない」(23.6%)となっています。



Q29 湖南省の子育ての環境や支援施策への満足度についてどのように思われますか。あてはまるものをひとつ選んでください。

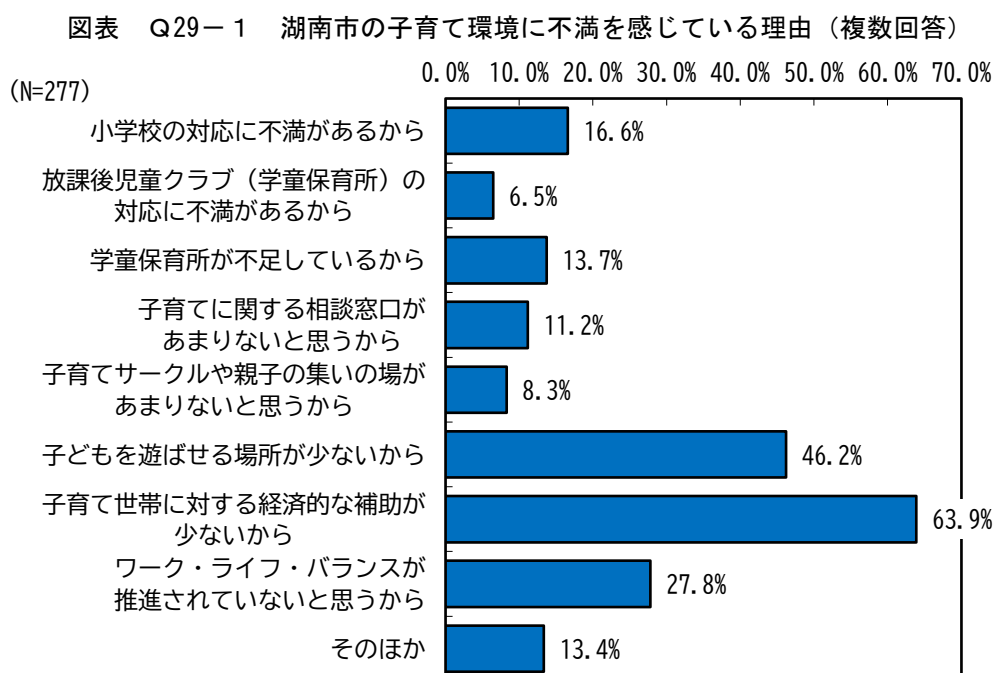
湖南省の子育ての環境や支援施策への満足度についてみると、「ふつう」(56.3%)が最も多く、次いで「不満である」(16.9%)、「満足している」(14.4%)となっています。



(Q29で「不満である」「大変不満である」を選択した人)

Q29-1 湖南省の子育て環境に不満を感じている理由はなんですか。あてはまるものをすべて選んでください。

湖南省の子育て環境に不満を感じている理由についてみると、「子育て世帯に対する経済的な補助が少ないから」(63.9%)が最も多く、次いで「子どもを遊ばせる場所が少ないから」(46.2%)、「ワーク・ライフ・バランスが推進されていないと思うから」(27.8%)となっています。



Q30 子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、お聞かせください。

324 人からの回答があり、合計 436 件の意見がありました。分類別にみると以下の通りです。

項 目	内 容	件数
仕事と育児の両立に関する意見	仕事と育児の両立支援、家庭環境について	22
	学童保育、その他預かり保育の充実について	62
	小計	84
教育に関する意見	学校生活や指導について	29
	学習状況や進路・進学について	13
	習い事、課題活動・イベント等について	13
	小計	55
経済的支援や各種手当に関する意見	経済的支援、各種手当・援助の拡充について	72
	小計	72
相談支援に関する意見	子育てや教育に関する相談支援・窓口対応について	10
	発達支援や障がい児への対応について	9
	情報の発信・提供について	9
	小計	28
医療提供体制に関する意見	医療機関の充実について	20
	小計	20
遊び場・居場所の整備、交通環境に関する意見	遊び場・居場所の整備について	62
	交通環境の整備、アクセスの拡充について	42
	小計	104
地域交流等に関する意見	地域交流や見守り活動について	6
	小計	6
子育て施策に関する意見	教育に関する人材育成や処遇改善、施策全般について	53
	小計	53
その他の意見	アンケートやその他の意見について	14
	小計	14
合計		436

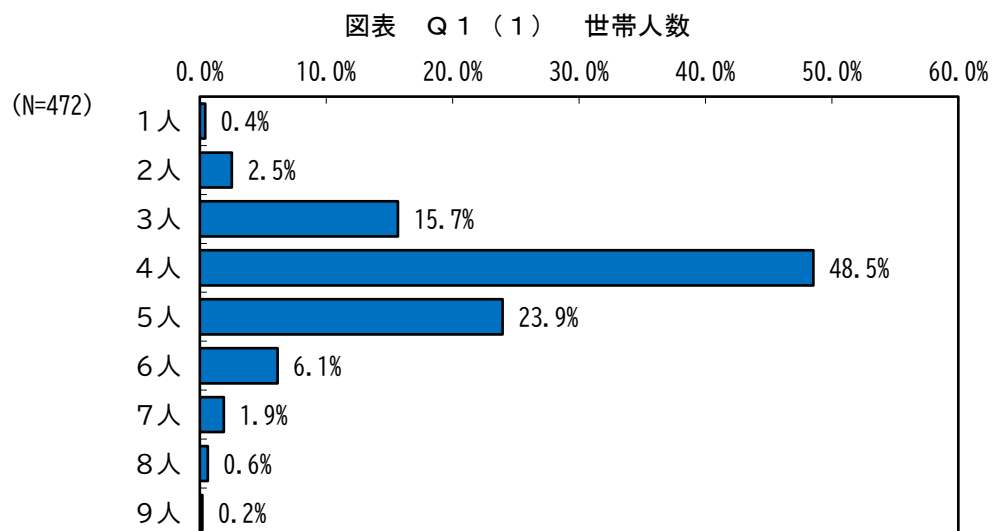
※「特になし」の記述については意見数に計上していません。

3 中学生保護者

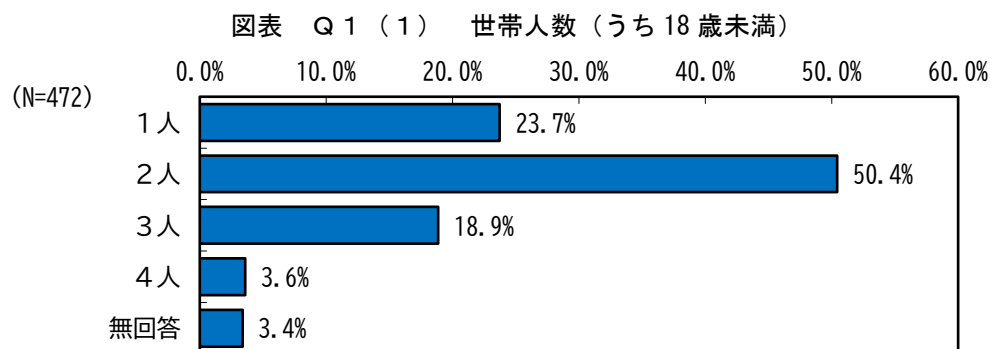
(1) 家族構成などについて

Q 1 世帯の人数と末のお子さん（お子さんがひとりの場合はそのお子さん）の年齢をご記入ください。

世帯人数についてみると、「4人」（48.5%）が最も多く、次いで「5人」（23.9%）、「3人」（15.7%）となっています。

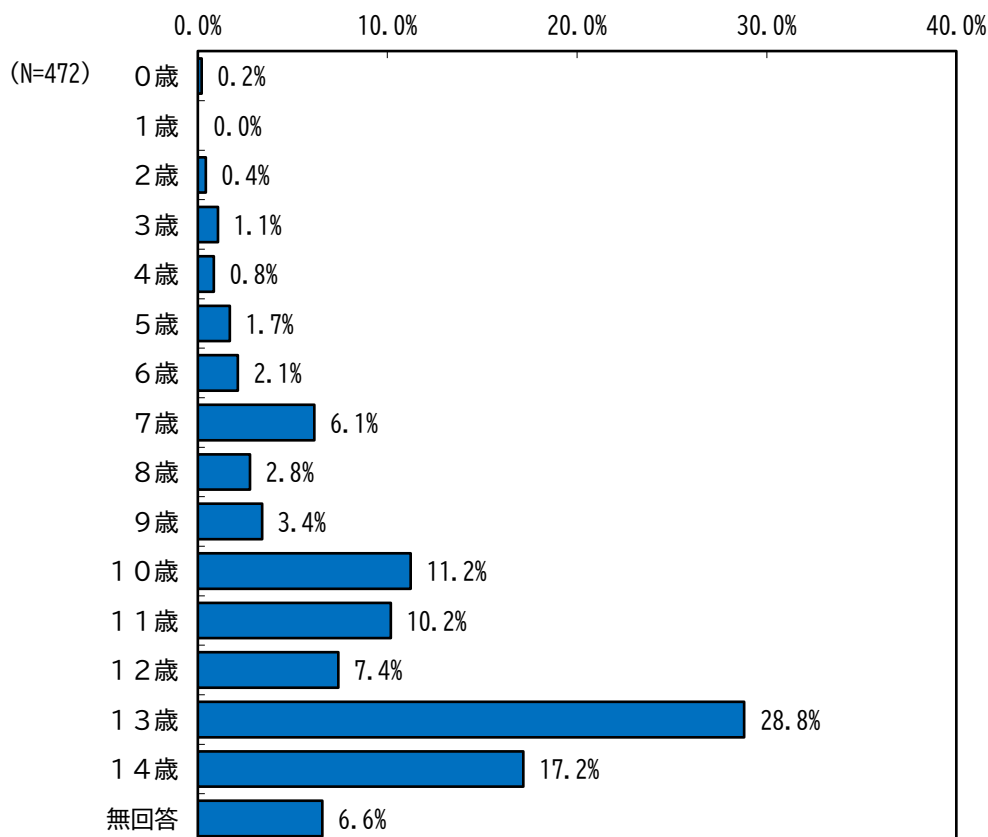


世帯のうち18歳未満の子ども的人数についてみると、「2人」（50.4%）が最も多く、次いで「1人」（23.7%）、「3人」（18.9%）となっています。



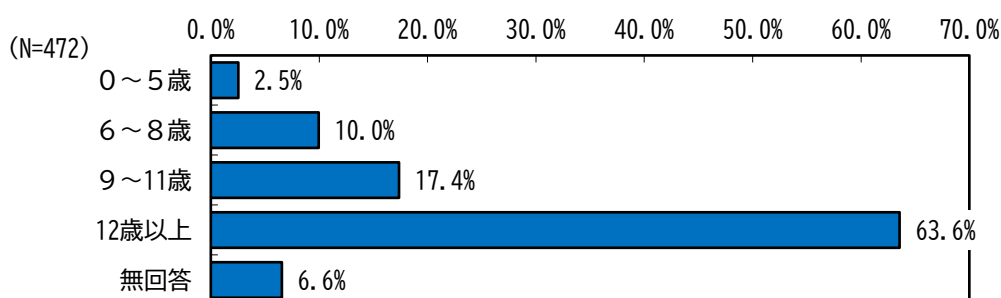
末子の年齢についてみると、「13 歳」(28.8%) が最も多く、次いで「14 歳」(17.2%)、「10 歳」(11.2%) となっています。

図表 Q 1 (2) 末子の年齢



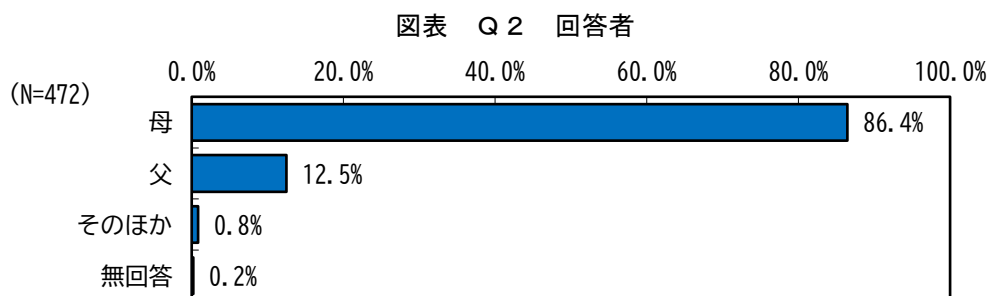
末子の年齢（再割当）についてみると、「12 歳以上」(63.6%) が最も多く、次いで「9～11 歳」(17.4%)、「6～8 歳」(10.0%) となっています。

図表 Q 1 (2) 末子の年齢（再割当）



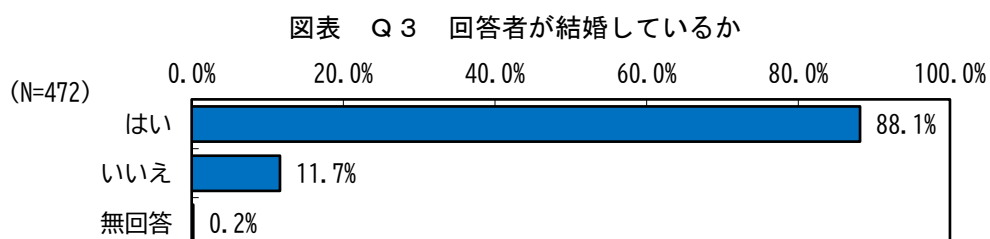
Q 2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか（お子さんからみた続柄）。

回答者についてみると、「母」が86.4%、「父」が12.5%となっています。



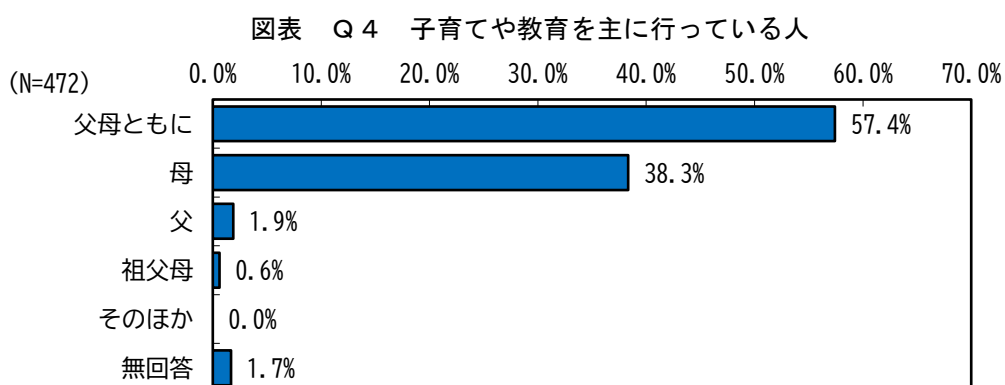
Q 3 ご回答いただいている方はご結婚されていますか（事実婚のパートナーも含みます）。

回答者が結婚しているかについてみると、「はい」が88.1%、「いいえ」が11.7%となっています。



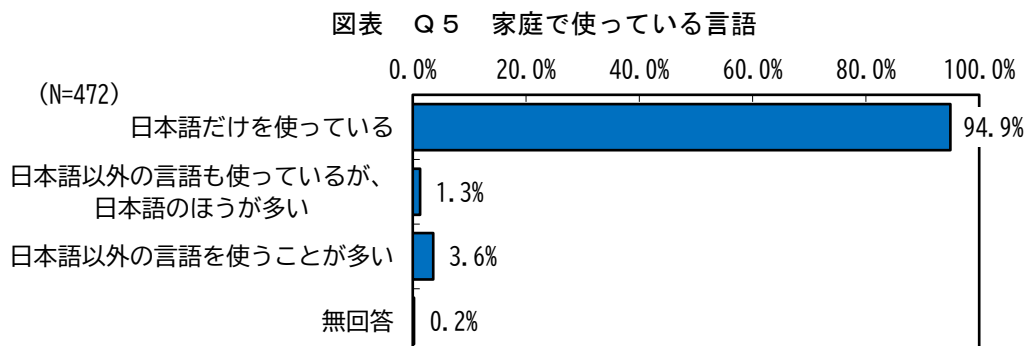
Q 4 お子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。

子育てや教育を主に行っている人についてみると、「父母ともに」(57.4%)が最も多く、次いで「母」(38.3%)、「父」(1.9%)となっています。



Q 5 ご家庭ではどれくらい日本語を使っていますか。

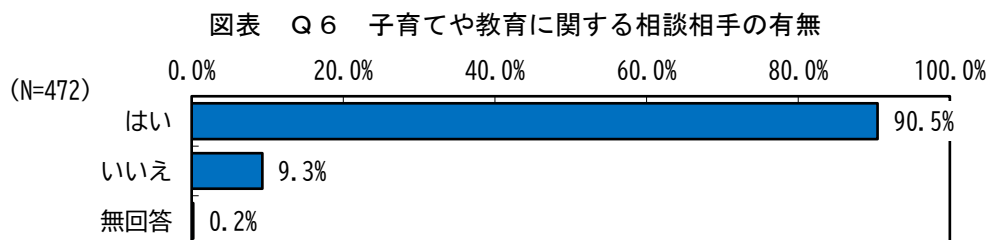
家庭で使っている言語についてみると、「日本語だけを使っている」(94.9%)が多く、次いで「日本語以外の言語を使うことが多い」(3.6%)、「日本語以外の言語も使っているが、日本語のほうが多い」(1.3%)となっています。



(2) 子育てをめぐる環境について

Q 6 お子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所がありますか。

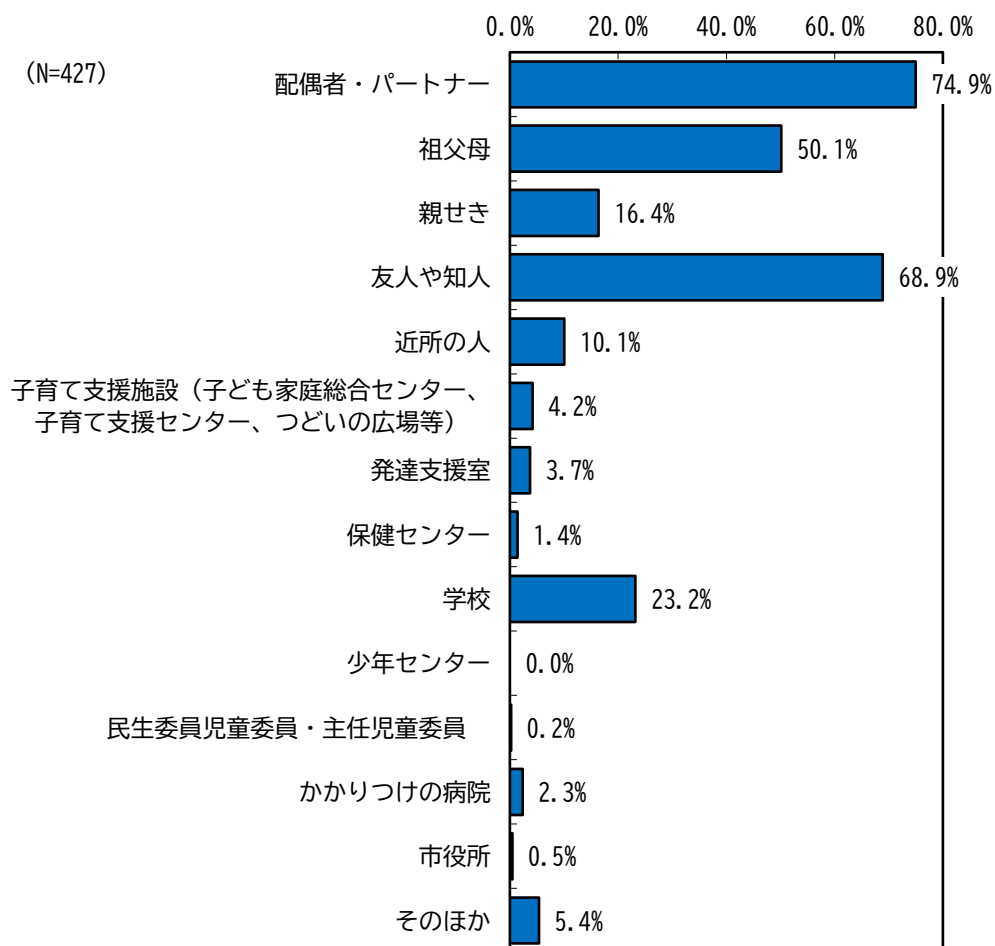
子育てや教育に関する相談相手の有無についてみると、「はい」が90.5%、「いいえ」が9.3%となっています。



Q 6－1 どのような人（場所）に相談していますか。あてはまるものをすべて選んでください。

相談相手についてみると、「配偶者・パートナー」(74.9%) が最も多く、次いで「友人や知人」(68.9%)、「祖父母」(50.1%) となっています。

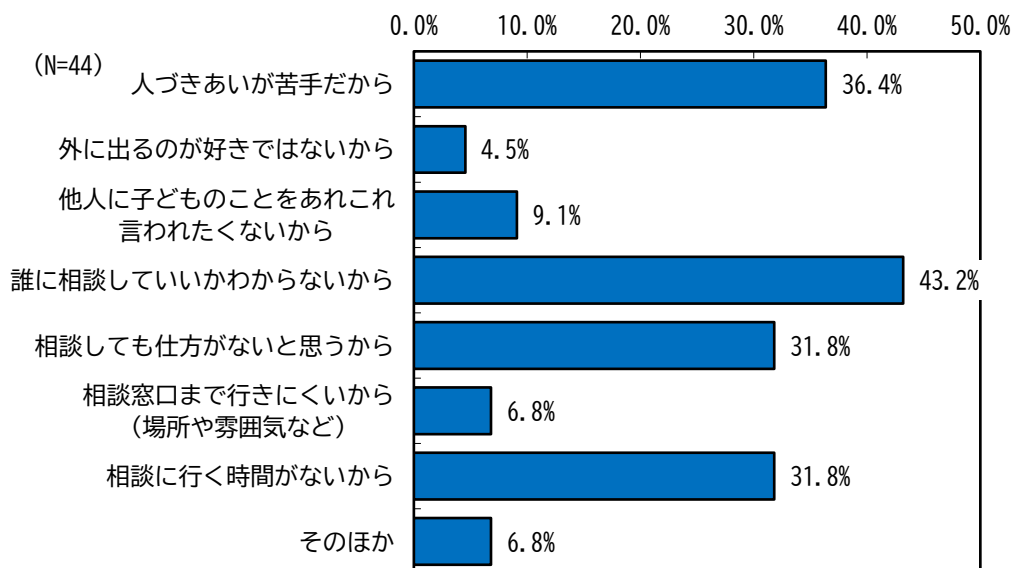
図表 6－1 相談相手（複数回答）



Q 6－2 相談できる人や場所がないのはなぜですか。あてはまるものをすべて選んでください。

相談できる人や場所がない理由についてみると、「誰に相談していいかわからないから」(43.2%) が最も多く、次いで「人づきあいが苦手だから」(36.4%)、「相談しても仕方がないと思うから」、「相談に行く時間がないから」(いずれも 31.8%) となっています。

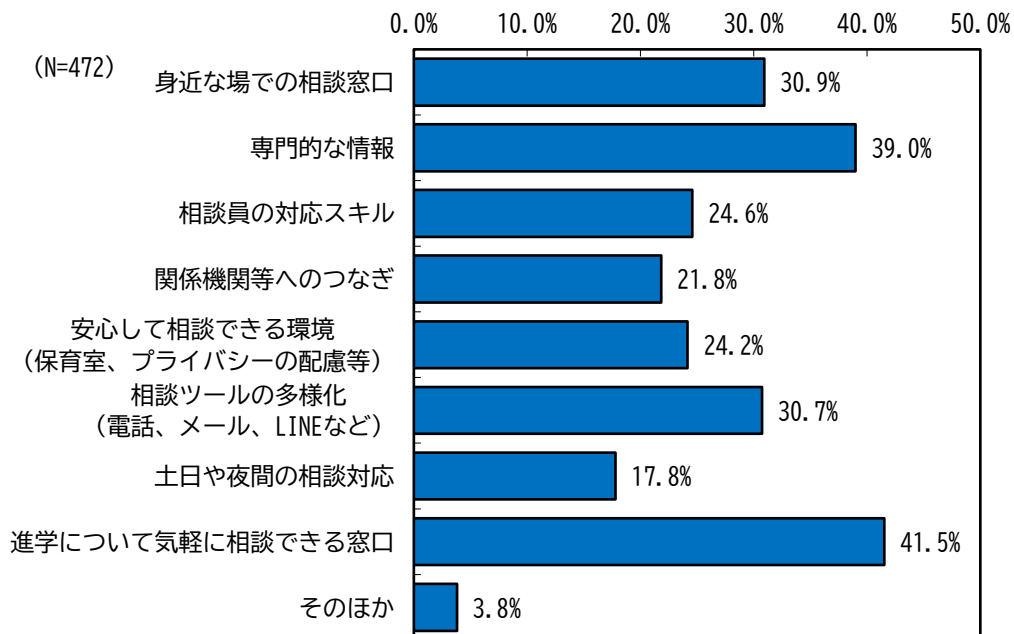
図表 Q 6－2 相談できる人や場所がない理由（複数回答）



Q 7 子育て・教育に関する相談で充実してほしいことは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

子育て・教育に関する相談で充実してほしいことについてみると、「進学について気軽に相談できる窓口」(41.5%) が最も多く、次いで「専門的な情報」(39.0%)、「身近な場での相談窓口」(30.9%) となっています。

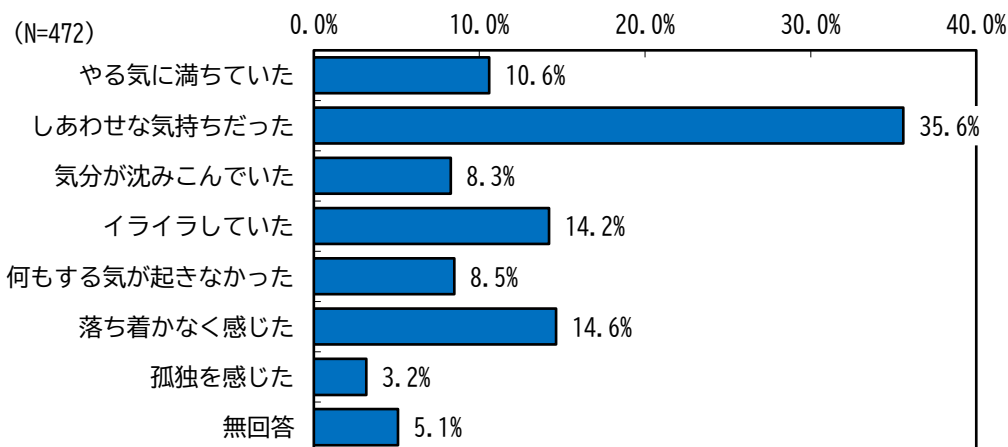
図表 Q 7 子育て・教育に関する相談で充実してほしいこと（複数回答）



Q 8 子育てに限らずお考えください。この1か月あなたの気持ちはどのようなでしたか。最も多く感じた気持ちをひとつ選んでください。

この1か月の気持ちについてみると、「しあわせな気持ちだった」(35.6%)が最も多く、次いで「落ち着かなく感じた」(14.6%)、「イライラしていた」(14.2%)となっています。

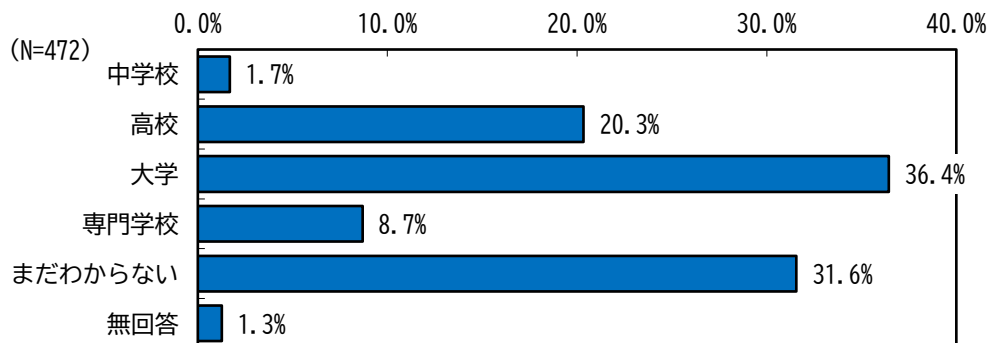
図表 Q 8 この1か月の気持ち



Q 9 現実的に見てお子さんの最終学歴はどの学校になると思いますか。

子どもの最終学歴の予想についてみると、「大学」(36.4%)が最も多く、次いで「まだわからない」(31.6%)、「高校」(20.3%)となっています。

図表 Q 9 子どもの最終学歴の予想



【世帯収入別】

世帯収入別に子どもの最終学歴の予想についてみると、300 万円未満では「まだわからない」、
「300～500 万円未満」では「高校」、500 万円以上では「大学」となっています。

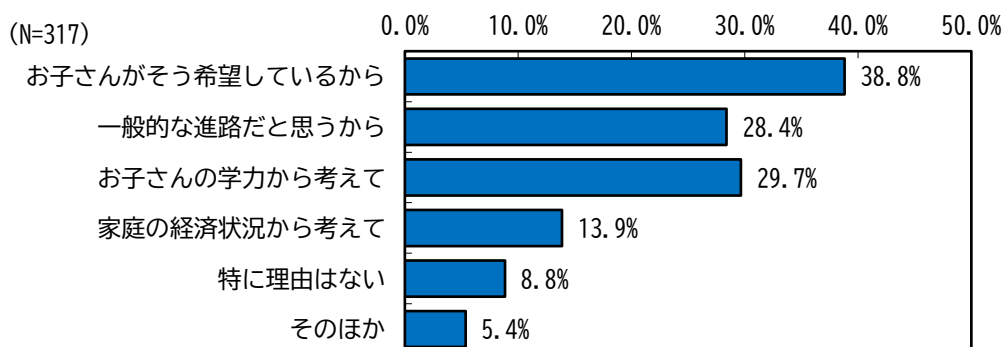
図表 世帯収入別 子どもの最終学歴の予想

	中学校	高校	大学	専門学校	まだわからない	無回答	合計
130万円未満	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	5 62.5%	1 12.5%	8 100.0%
130～300万円未満	1 3.1%	9 28.1%	6 18.8%	4 12.5%	12 37.5%	0 0.0%	32 100.0%
300～500万円未満	4 4.5%	27 30.7%	25 28.4%	10 11.4%	21 23.9%	1 1.1%	88 100.0%
500～900万円未満	0 0.0%	34 17.8%	80 41.9%	17 8.9%	60 31.4%	0 0.0%	191 100.0%
900万円以上	0 0.0%	10 15.2%	35 53.0%	5 7.6%	13 19.7%	3 4.5%	66 100.0%
わからない・ 答えたくない	3 3.6%	14 16.7%	25 29.8%	4 4.8%	38 45.2%	0 0.0%	84 100.0%
無回答	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%
合計	8 1.7%	96 20.3%	172 36.4%	41 8.7%	149 31.6%	6 1.3%	472 100.0%

Q9-1 そう思う理由はなんですか。あてはまるものをすべてお選びください。

子どもの最終学歴を予想する理由についてみると、「お子さんがそう希望しているから」
(38.8%) が最も多く、次いで「お子さんの学力から考えて」(29.7%)、「一般的な進路だと思っ
から」(28.4%) となっています。

図表 Q9-1 子どもの最終学歴を予想する理由（複数回答）

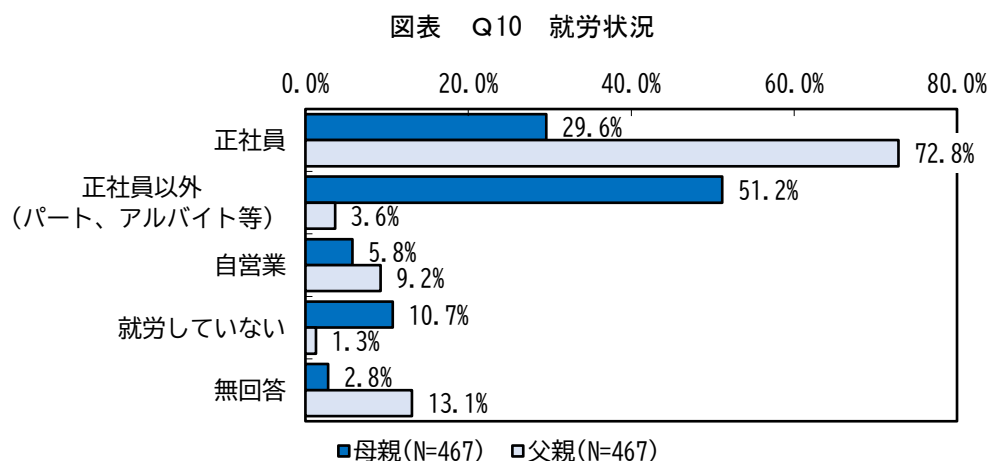


(3) 家庭の経済状況について

Q10 保護者の方の現在の就労状況は、次のどれにあてはまりますか。回答者ご本人と、配偶者（パートナー）の状況についてお答えください。産前産後休暇、育児休業、介護休業に入っている方は、休業に入る前の状況でお答えください。
※ひとり親家庭の方は、ご本人分のみお答えください。

母親の就労状況についてみると、「正社員以外（パート、アルバイト等）」（51.2%）が最も多く、次いで「正社員」（29.6%）、「就労していない」（10.7%）となっています。

父親の就労状況についてみると、「正社員」（72.8%）が最も多く、次いで「自営業」（9.2%）、「正社員以外（パート、アルバイト等）」（3.6%）となっています。



(Q10で「正社員」「正社員以外」「自営業」を選択した人)

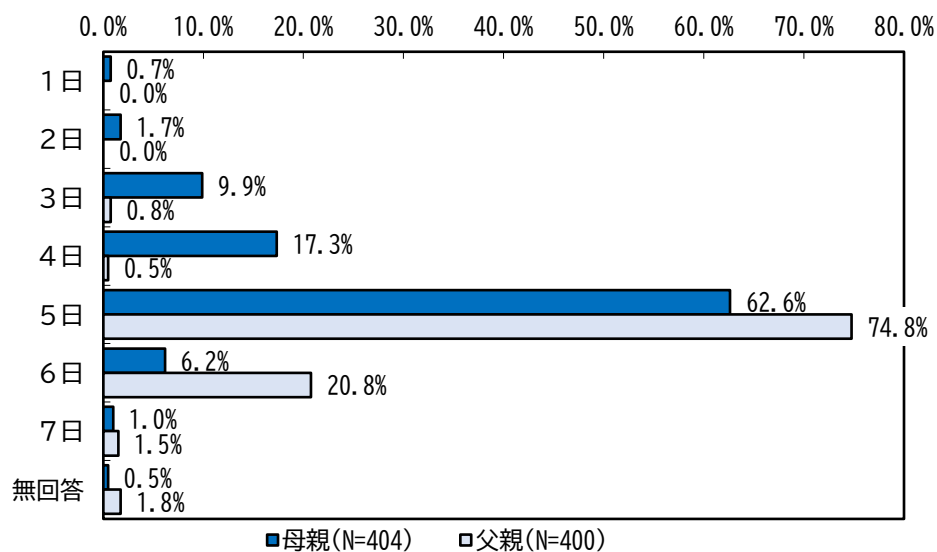
Q10-1 就労している方(Q10で1～3に○)におたずねします。普段の勤務時間はどのくらいですか。もっとも多いパターンでお答えください。休業中の方は休業前の状況をお答えください。

1) 週あたりの勤務日数

母親の週あたりの勤務日数についてみると、「5日」(62.6%)が最も多く、次いで「4日」(17.3%)、「3日」(9.9%)となっています。

父親の週あたりの勤務日数についてみると、「5日」(74.8%)が最も多く、次いで「6日」(20.8%)、「7日」(1.5%)となっています。

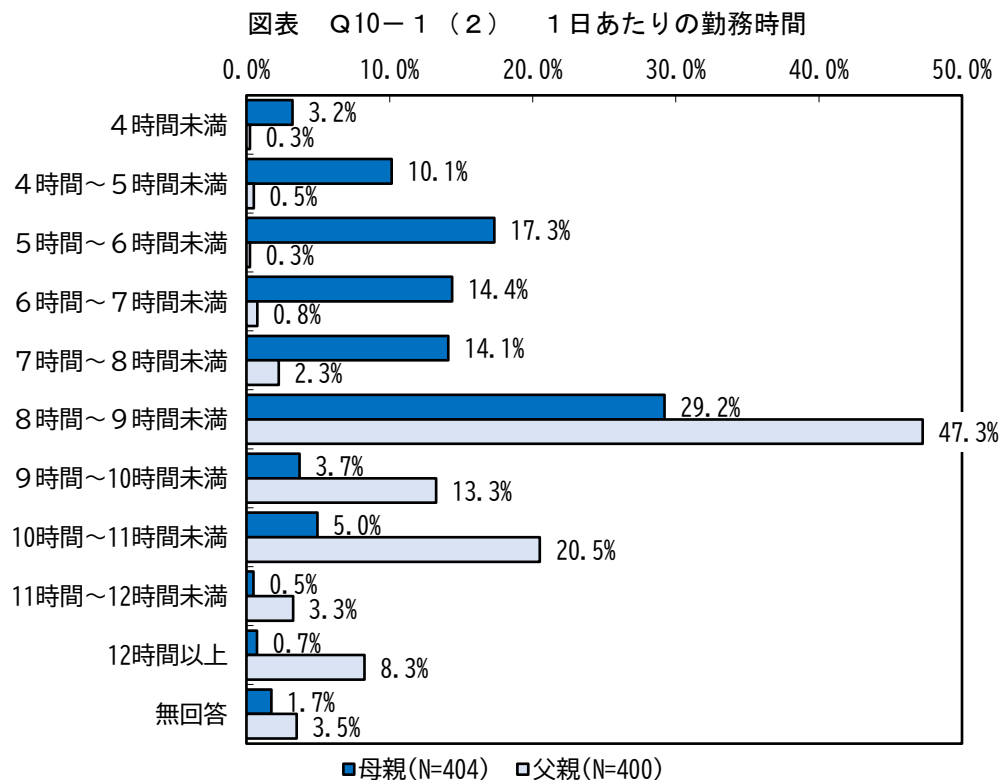
図表 Q10-1 週あたりの勤務日数



2) 1日あたりの勤務時間

母親の1日あたりの勤務時間についてみると、「8時間～9時間未満」(29.2%)が最も多く、次いで「5時間～6時間未満」(17.3%)、「6時間～7時間未満」(14.4%)となっています。

父親の1日あたりの勤務時間についてみると、「8時間～9時間未満」(47.3%)が最も多く、次いで「10時間～11時間未満」(20.5%)、「9時間～10時間未満」(13.3%)となっています。



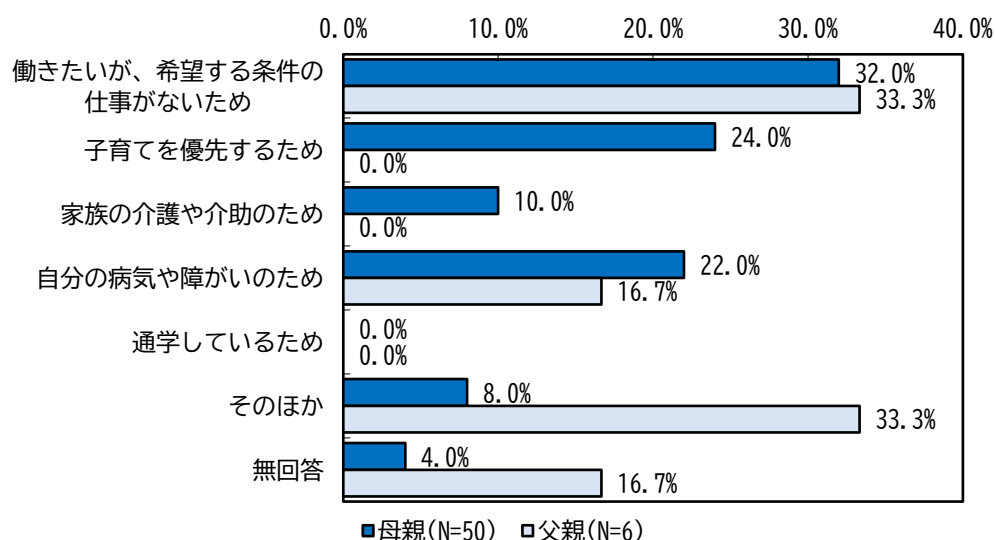
(Q12で「就労していない」を選択した人)

Q10-2 就労していない方(Q10で4に○)におたずねします。働いていない最も主な理由をひとつ選んでください。

母親の働いていない理由についてみると、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」(32.0%)が最も多く、次いで「子育てを優先するため」(24.0%)、「自分の病気や障がいのため」(22.2%)となっています。

父親については回答数が6人のためグラフのみ示しています。

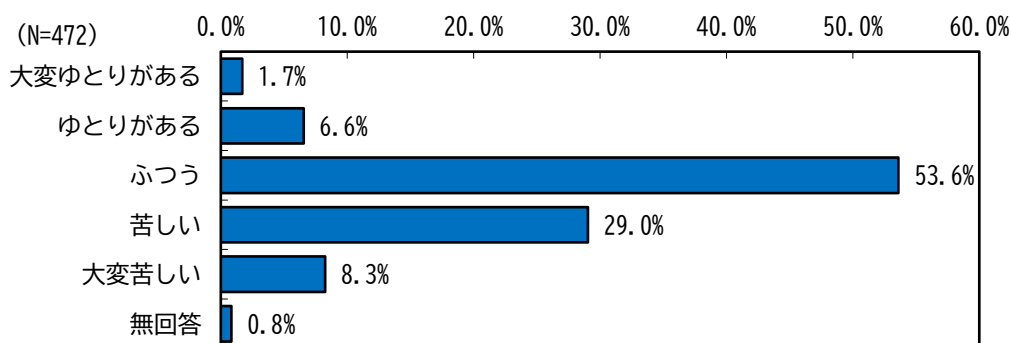
図表 Q10-2 働いていない理由



Q11 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。あてはまるものをひとつ選んでください。

現在の暮らしの状況についてみると、「ふつう」(53.6%)が最も多く、次いで「苦しい」(29.0%)、「大変苦しい」(8.3%)となっています。

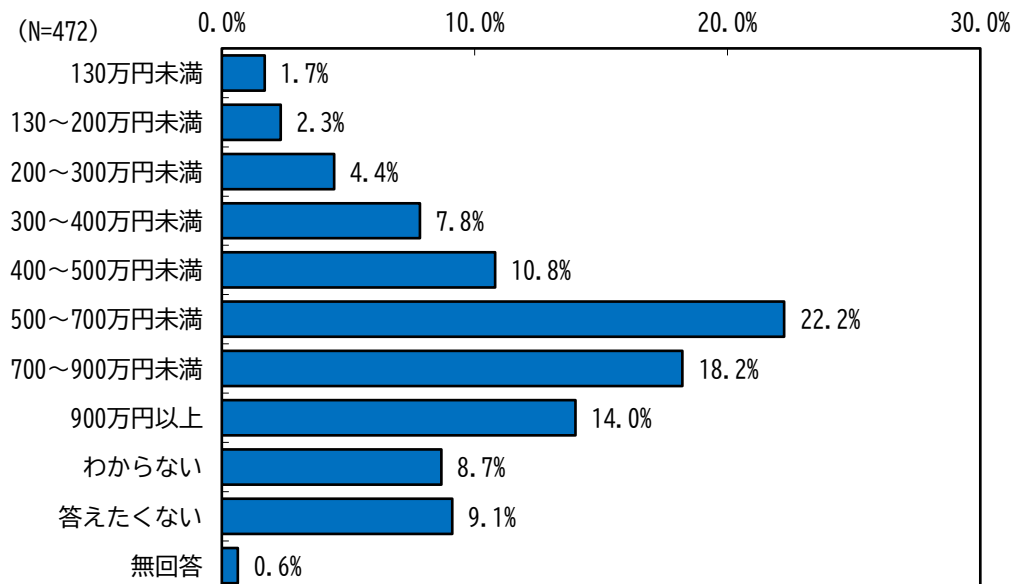
図表 Q11 現在の暮らしの状況



Q12 世帯全員の年間収入（税金などを引かれる前の金額）は合計でいくらですか。同居し、生計を同一にしている家族全員の収入について、あてはまるものをひとつ選んでください。（収入には、給与のほか、公的年金、児童手当等の諸手当、家賃収入、仕送りなども含みます）

世帯収入についてみると、「500～700万円未満」（22.2%）が最も多く、次いで「700～900万円未満」（18.2%）、「900万円以上」（14.0%）となっています。

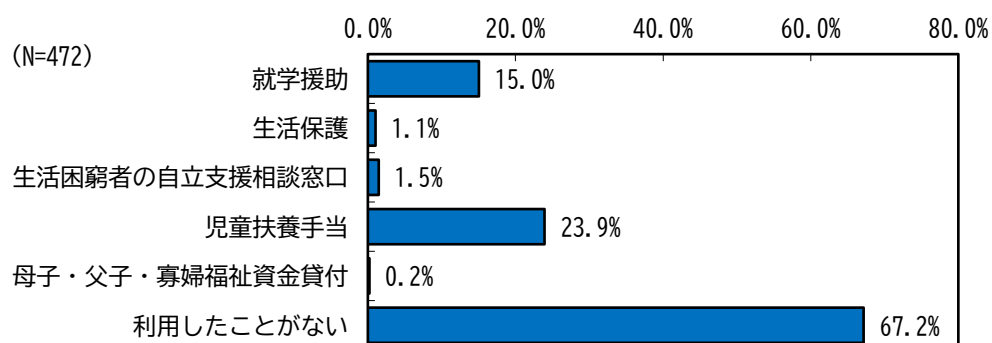
図表 Q12 世帯収入



Q13 あなたの家庭では、以下の支援制度をこれまで利用したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

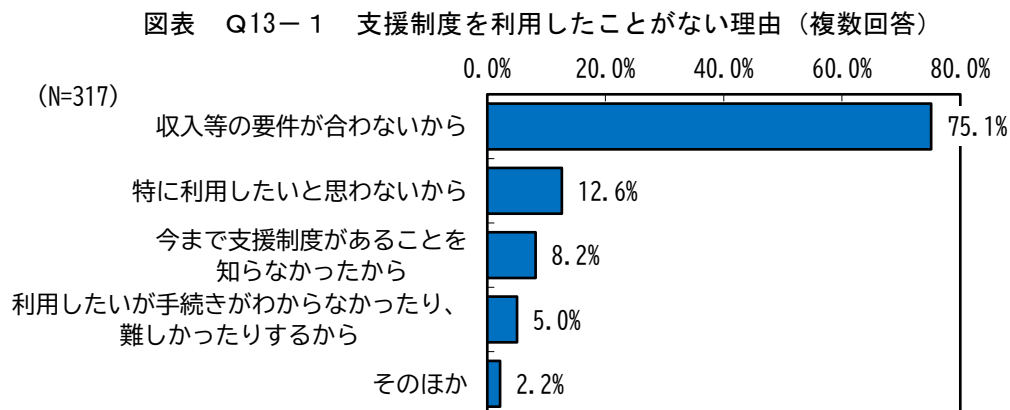
利用したことのある支援制度についてみると、「利用したことがない」（67.2%）が最も多く、次いで「児童扶養手当」（23.9%）、「就学援助」（15.0%）となっています。

図表 Q13 利用したことのある支援制度（複数回答）



Q13－1 利用したことがない理由はなんですか。あてはまるものをすべて選んでください。

支援制度を利用したことがない理由についてみると、「収入等の要件が合わないから」(75.1%)が最も多く、次いで「特に利用したいと思わないから」(12.6%)、「今まで支援制度があることを知らなかったから」(8.2%)となっています。

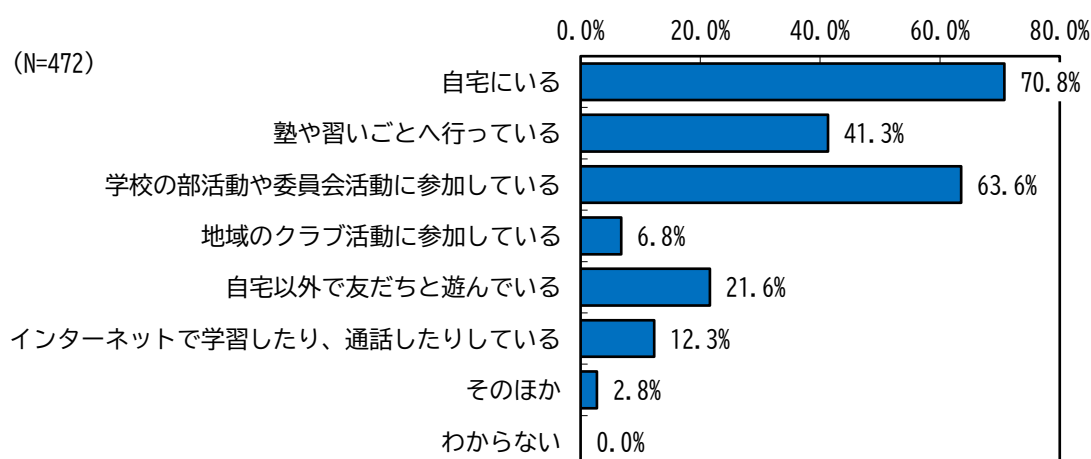


(4) 放課後や長期休暇中の過ごし方について

Q14 お子さんは放課後、主にどのように過ごしておられますか。あてはまるものをすべてお選びください。

放課後の過ごし方についてみると、「自宅にいる」(70.8%)が最も多く、次いで「学校の部活動や委員会活動に参加している」(63.6%)、「塾や習いごとへ行っている」(41.3%)となっています。

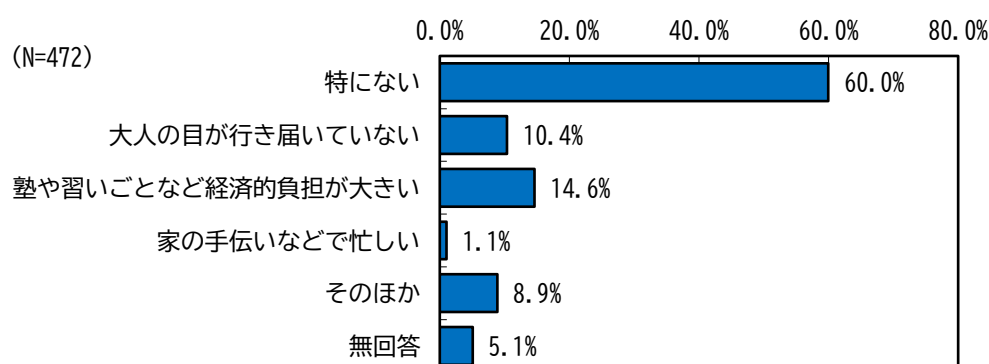
図表 Q14 放課後の過ごし方(複数回答)



Q15 お子さんの放課後の過ごし方について問題だと思うことはなんですか。

子どもの放課後の過ごし方について問題だと思うことについてみると、「特にない」(60.0%)が最も多く、次いで「塾や習いごとなど経済的負担が大きい」(14.6%)、「大人の目が行き届いていない」(10.4%)となっています。

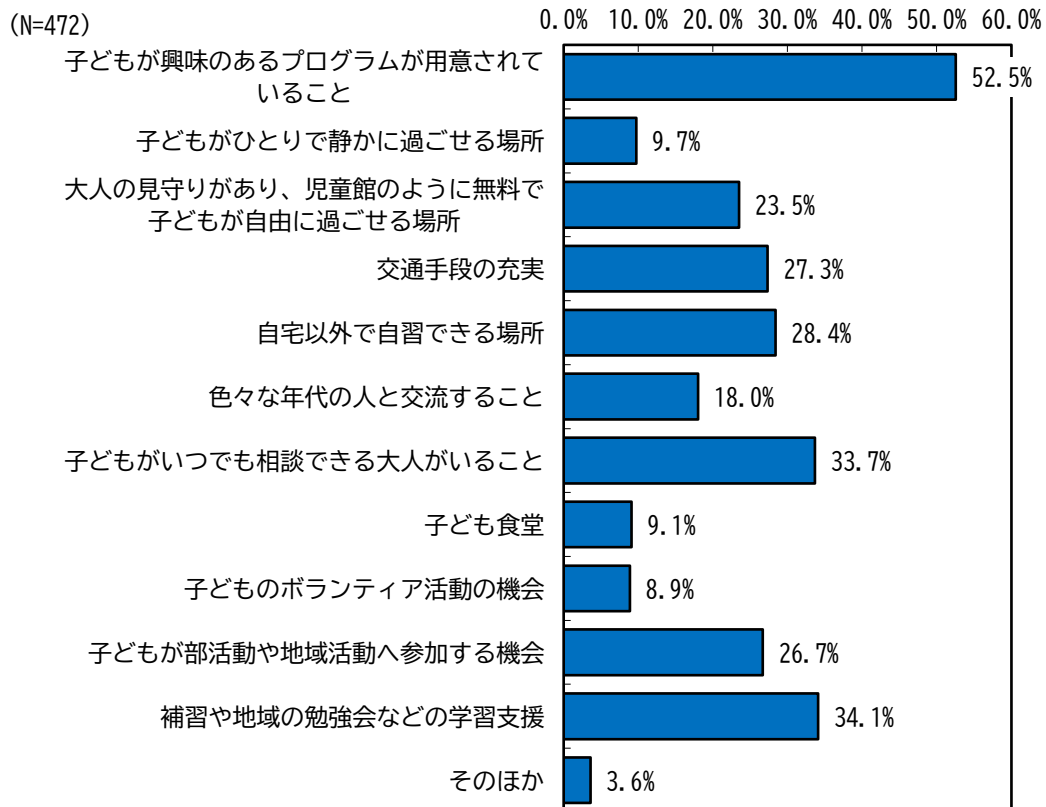
図表 Q15 子どもの放課後の過ごし方について問題だと思うこと



Q16 お子さんが放課後の生活を有意義に過ごすために、どのようなことが必要であると思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

子どもが放課後の生活を有意義に過ごすために必要なことについてみると、「子どもが興味のあるプログラムが用意されていること」(52.5%) が最も多く、次いで「補習や地域の勉強会などの学習支援」(34.1%)、「子どもがいつでも相談できる大人がいること」(33.7%) となっています。

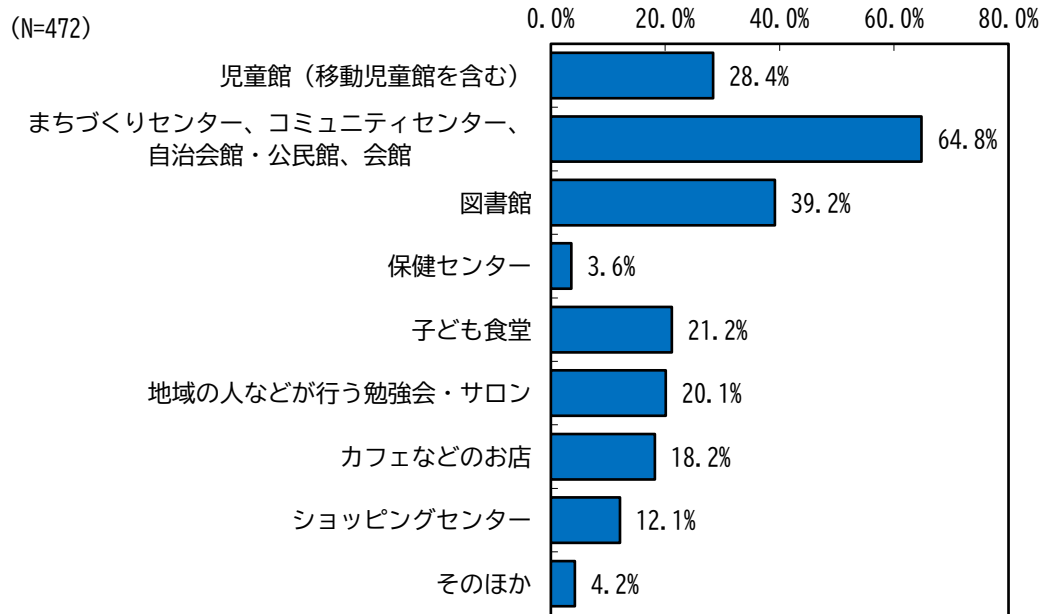
図表 Q16 子どもが放課後の生活を有意義に過ごすために必要なこと（複数回答）



Q17 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中、大人の見守りがあって子どもが自由に過ごせる場所（こどもの居場所）を新たに設置するなら、どのような場所にあるといいと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

長期休暇期間中のこどもの居場所を設置するのに望ましい場所についてみると、「まちづくりセンター、コミュニティセンター、自治会館・公民館、会館」（64.8%）が最も多く、次いで「図書館」（39.2%）、「児童館（移動児童館を含む）」（28.4%）となっています。

図表 Q17 長期休暇期間中のこどもの居場所を設置するのに望ましい場所（複数回答）

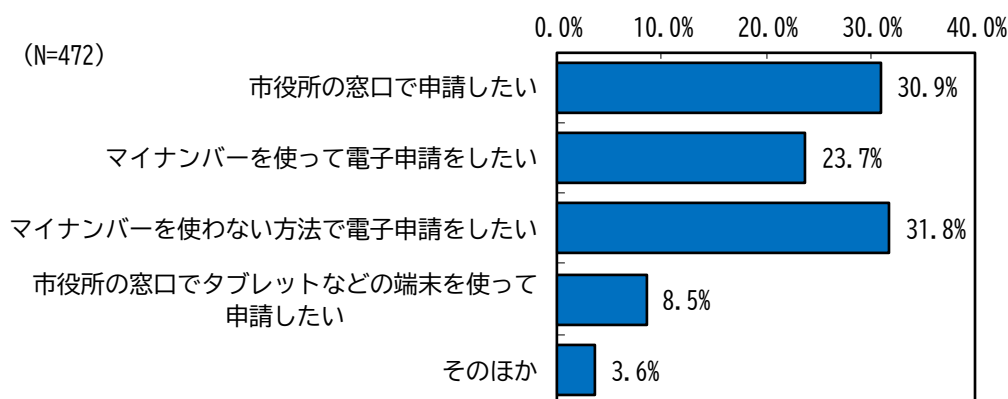


(5) 子育て全般について

Q18 児童手当などの諸手当の申請や、入園・入所の制度の申請について、どのような方法で申請したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

各種申請の希望する方法についてみると、「マイナンバーを使わない方法で電子申請をしたい」(31.8%) が最も多く、次いで「市役所の窓口で申請したい」(30.9%)、「マイナンバーを使って電子申請をしたい」(23.7%) となっています。

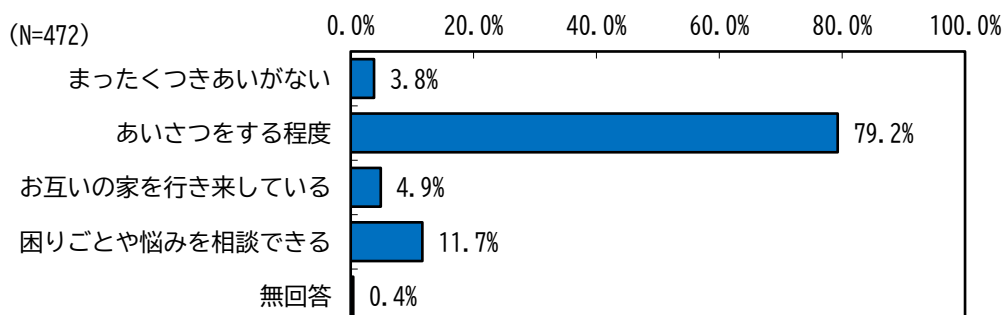
図表 Q18 各種申請の希望する方法（複数回答）



Q19 あなたの家族の近所づきあいは何の程度ですか。あてはまるものをひとつ選んでください。

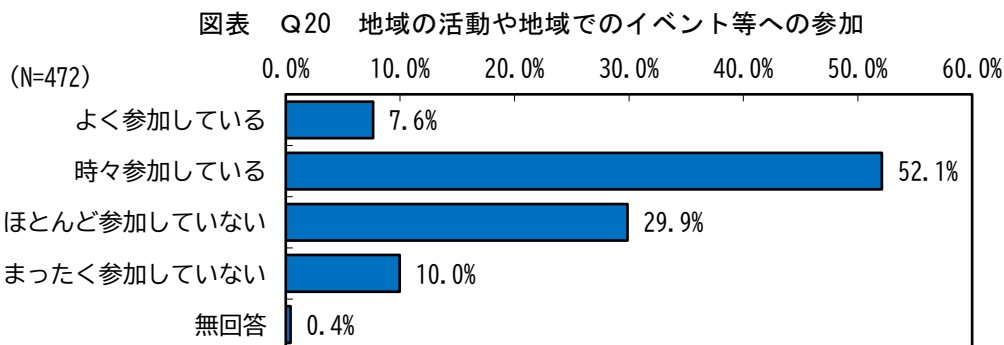
近所づきあいの程度についてみると、「あいさつをする程度」(79.2%) が最も多く、次いで「困りごとや悩みを相談できる」(11.7%)、「お互いの家を行き来している」(4.9%) となっています。

図表 Q19 近所づきあいの程度



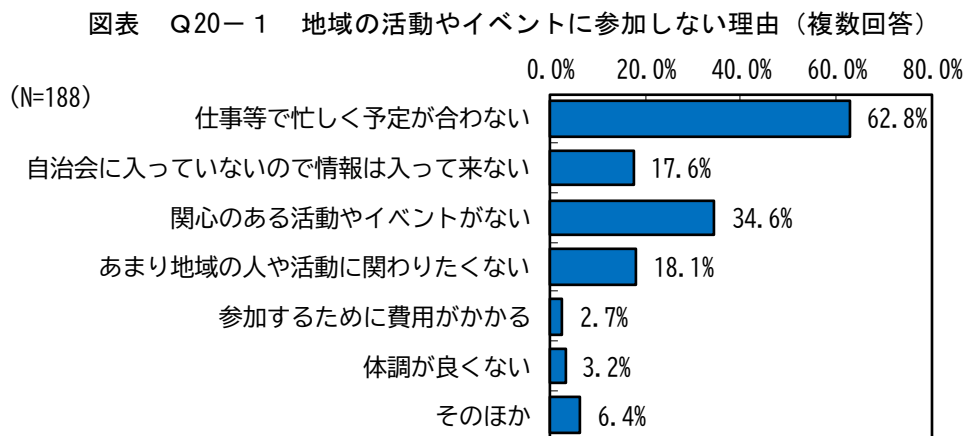
Q20 地域の活動や地域でのイベント等に参加していますか。あてはまるものをひとつ選んでください。

地域の活動や地域でのイベント等への参加についてみると、「時々参加している」(52.1%)が最も多く、次いで「ほとんど参加していない」(29.9%)、「まったく参加していない」(10.0%)となっています。



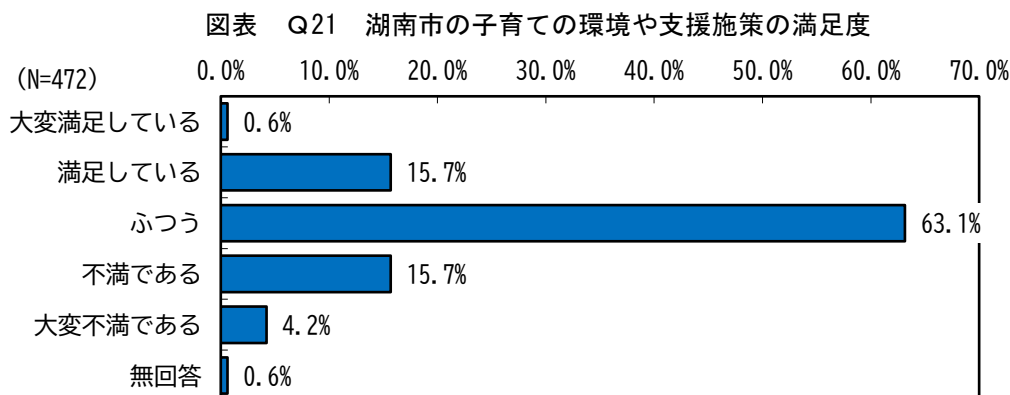
Q20-1 地域活動等へ参加をしていない方（Q20で③④に○）におたずねします。地域の活動やイベントに参加しない理由はなんですか。あてはまるものをすべて選んでください。

地域の活動やイベントに参加しない理由についてみると、「仕事等で忙しく予定が合わない」(62.8%)が最も多く、次いで「関心のある活動やイベントがない」(34.6%)、「あまり地域の人や活動に関わりたくない」(18.1%)となっています。



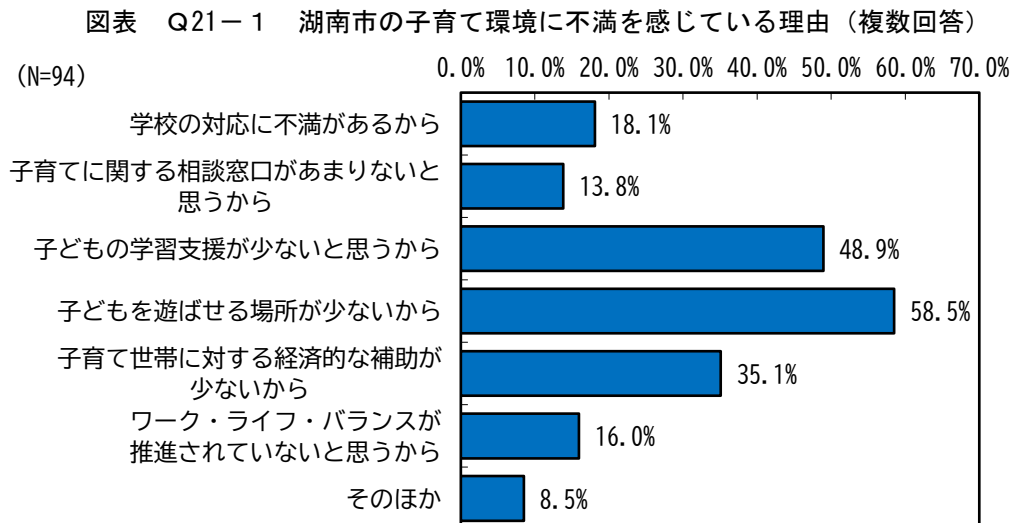
Q21 湖南省の子育ての環境や支援施策への満足度についてどのように思われますか。あてはまるものをひとつ選んでください。

湖南省の子育ての環境や支援施策の満足度についてみると、「ふつう」(63.1%)が最も多く、次いで「満足している」、「不満である」(いずれも15.7%)となっています。



Q21-1 湖南省の子育て環境に不満を感じている方(Q21で④⑤に○)におたずねします。その理由はなんですか。あてはまるものをすべて選んでください。

湖南省の子育て環境に不満を感じている理由についてみると、「子どもを遊ばせる場所が少ないから」(58.5%)が最も多く、次いで「子どもの学習支援が少ないと思うから」(48.9%)、「子育て世帯に対する経済的な補助が少ないから」(35.1%)となっています。



Q22 子育てや教育の環境や支援に関してご意見がございましたら、お聞かせください。

115 人からの回答があり、合計 153 件の意見がありました。分類別にみると以下の通りです。

項 目	内 容	件数
教育に関する意見	学校生活（部活動も含む）について	27
	学習状況や進路・進学について	25
	小計	52
経済的支援や各種手当に関する意見	経済的支援、各種手当・援助の拡充について	29
	小計	29
相談支援に関する意見	子育てや教育に関する相談支援・窓口対応について	9
	発達支援や障がい児への対応について	4
	小計	13
医療提供体制に関する意見	医療機関の充実について	5
	小計	5
遊び場・居場所の整備、交通環境に関する意見	遊び場・居場所の整備、イベント等について	21
	交通環境の整備、アクセスの拡充について	14
	小計	35
子育て施策に関する意見	教育に関する人材育成や処遇改善、施策全般について	9
	小計	9
その他の意見	アンケートやその他の意見について	10
	小計	10
合計		153

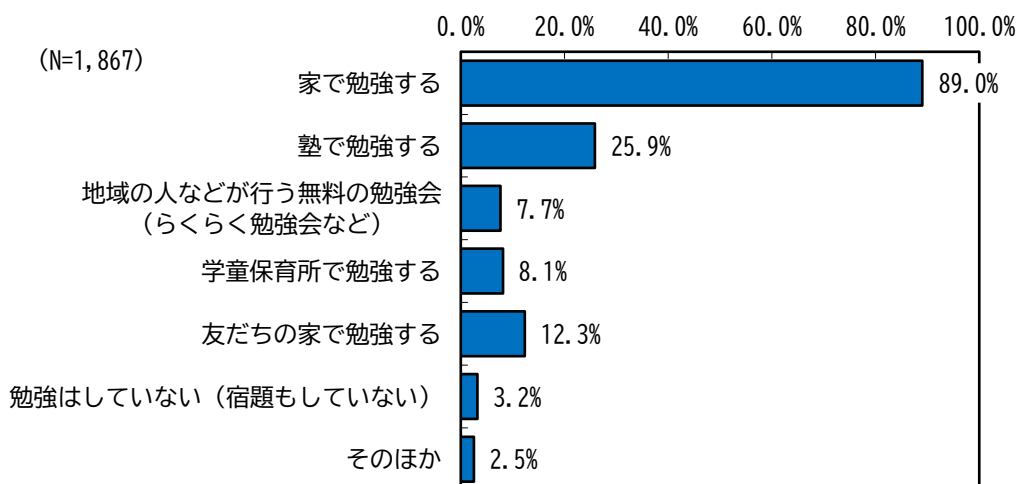
※「特になし」の記述については意見数に計上していません。

4 こどもの生活実態調査（小学4年生・5年生、中学1年生・2年生）

Q 1 あなたはふだん、学校の授業以外で、どこで勉強していますか。あてはまるものをすべて選んでください。勉強には学校の宿題も含みます。

学校の授業以外で勉強しているところについてみると、「家で勉強する」(89.0%)が最も多く、次いで「塾で勉強する」(25.9%)、「友だちの家で勉強する」(12.3%)となっています。

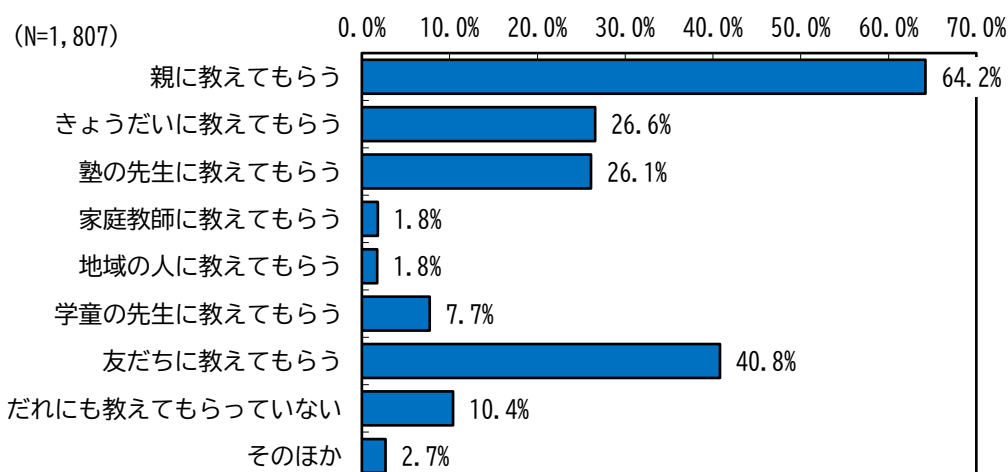
図表 Q 1 学校の授業以外で勉強しているところ（複数回答）



Q 2 あなたはふだん、学校の授業以外で、だれに勉強を教えてください。あてはまるものをすべて選んでください。勉強には学校の宿題も含みます。

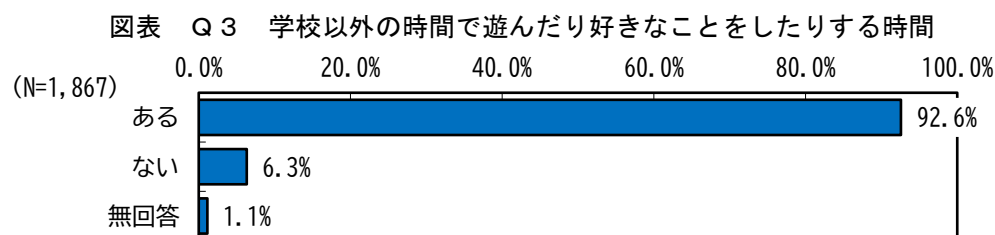
学校の授業以外で勉強を教えてください人についてみると、「親に教えてください」(64.2%)が最も多く、次いで「友だちに教えてください」(40.8%)、「きょうだいに教えてください」(26.6%)となっています。

図表 Q 2 学校の授業以外で勉強を教えてください人（複数回答）



Q 3 学校以外の時間で、あなたには遊んだり、好きなことをしたりする時間がじゅうぶんにありますか。

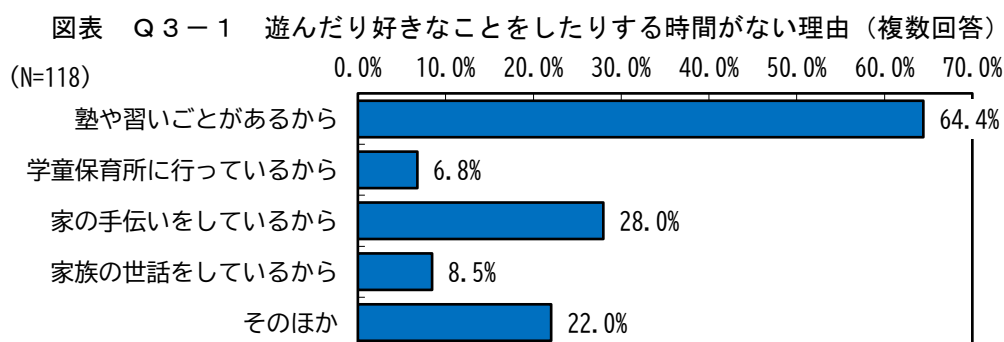
学校以外の時間で遊んだり好きなことをしたりする時間についてみると、「ある」が 92.6%、「ない」が 6.3%となっています。



Q 3 で「学校以外の時間で遊んだり、好きなことをしたりする時間がない」を選択した人

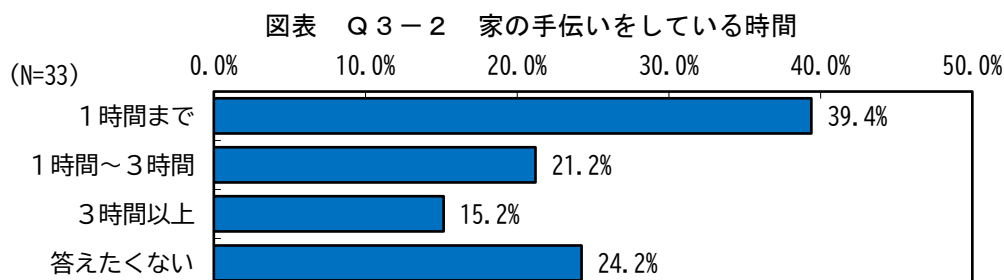
Q 3-1 それはなぜですか。あてはまる理由をすべて選んでください。

遊んだり好きなことをしたりする時間がない理由についてみると、「塾や習いごとがあるから」(64.4%)が最も多く、次いで「家の手伝いをしているから」(28.0%)、「そのほか」(22.0%)となっています。



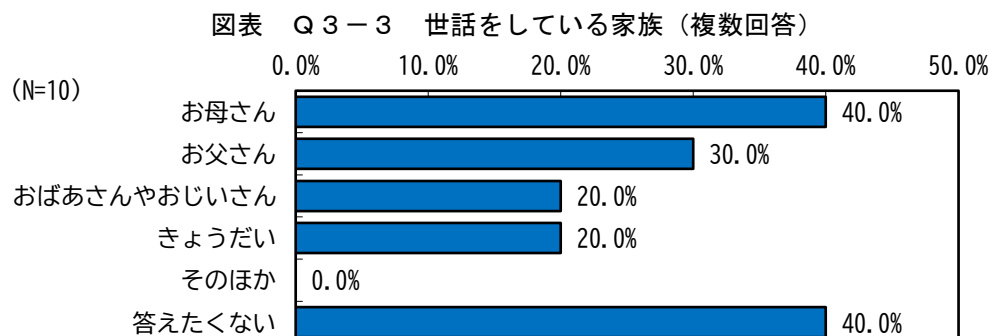
Q 3-2 （Q 3-1 で「③ 家の手伝いをしているから」を選んだ人のみ）あなたは、学校がある日、1日で何時間くらいお手伝いをしていますか。日によってちがう時は、この1週間でいちばん長かった日の時間を選んでください。

家の手伝いをしている時間についてみると、「1時間まで」(39.4%)が最も多く、次いで「答えたくない」(24.2%)、「1時間～3時間」(21.2%)となっています。



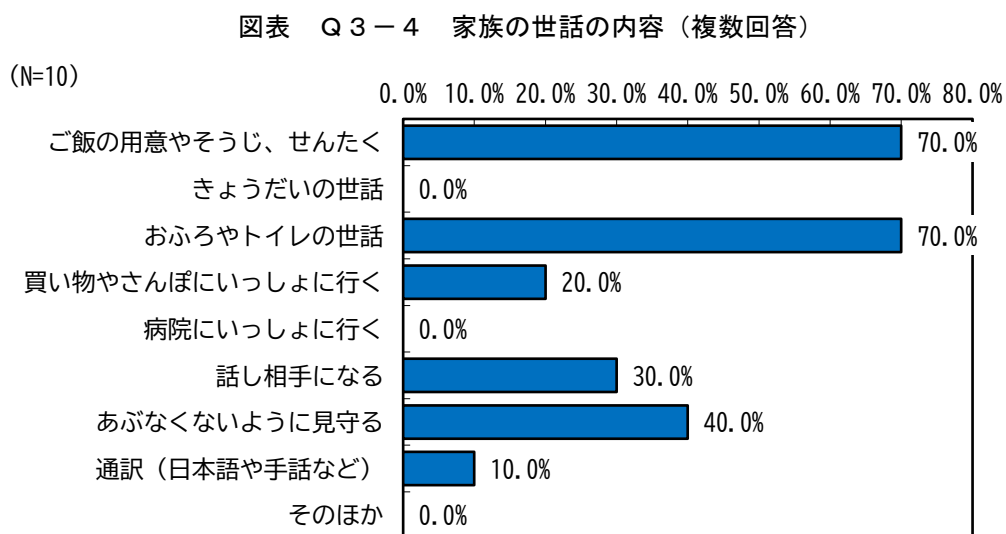
Q 3-3 (Q 3-1で「家族の世話をしているから」を選んだ人のみ) あなたがお世話をしている人はだれですか。あてはまる人をすべて選んでください。

世話をしている家族についてみると、「お母さん」、「答えたくない」(いずれも 40.0%)が多く、次いで「お父さん」(30.0%)となっています。



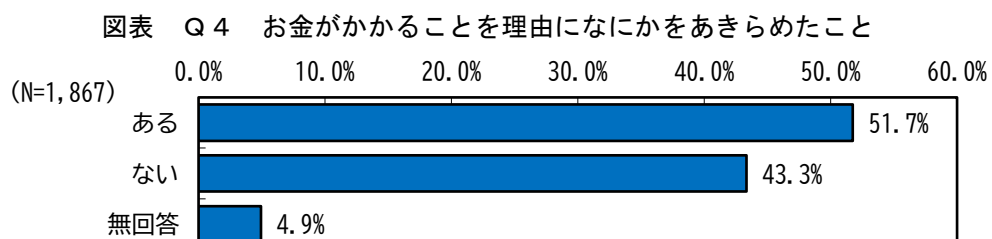
Q 3-4 (Q 3-1で「家族の世話をしているから」を選んだ人のみ) あなたはどんなお世話をしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

家族の世話の内容についてみると、「ご飯の用意やそうじ、せんたく」、「おふろやトイレの世話」(いずれも 70.0%)が多く、次いで「あぶなくないように見守る」(40.0%)となっています。



Q 4 あなたは、お金がかかることを理由になにかをあきらめたことがありますか。

お金がかかることを理由になにかをあきらめたことについてみると、「ある」が 51.7%、「ない」が 43.3%となっています。



【お金がかかることを理由になにかをあきらめた経験 × 家の手伝いをしている時間(Q3-2)】

お金がかかることを理由になにかをあきらめた経験の有無別に、家の手伝いをしている時間、経験がある人は、経験のない人に比べて、「1時間～3時間」と「答えたくない」が多くなっています。

図表 お金がかかることを理由になにかをあきらめた経験 × 家の手伝いをしている時間

	1時間まで	1時間～3時間	3時間以上	答えたくない	合計
ある	7 31.8%	6 27.3%	3 13.6%	6 27.3%	22 100.0%
ない	6 54.5%	1 9.1%	2 18.2%	2 18.2%	11 100.0%
無回答	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---
合計	13 39.4%	7 21.2%	5 15.2%	8 24.2%	33 100.0%

【お金がかかることを理由になにかをあきらめた経験 × 希望する進路 (Q5)】

お金がかかることを理由になにかをあきらめた経験の有無別に、希望する進路をみると、経験がある人もない人も上位3位までは同じ回答となっています。

図 お金がかかることを理由になにかをあきらめた経験 × 希望する進路

	中学校まで	高校まで	大学まで	専門学校まで	まだわからない	無回答	合計
ある	12 1.2%	224 23.2%	301 31.2%	116 12.0%	313 32.4%	0 0.0%	966 100.0%
ない	11 1.4%	167 20.6%	276 34.1%	74 9.1%	281 34.7%	0 0.0%	809 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	92 100.0%	92 100.0%
合計	23 1.2%	391 20.9%	577 30.9%	190 10.2%	594 31.8%	92 4.9%	1,867 100.0%

【お金がかかることを理由になにかをあきらめた経験 × 進路を希望する理由(複数回答)(Q5-1)】

お金がかかることを理由になにかをあきらめた経験の有無別に、進路を希望する理由についてみると、経験がある人は、経験のない人に比べて、「早く働きたいから」と「自分の成績から考えて」が上位に入っています。

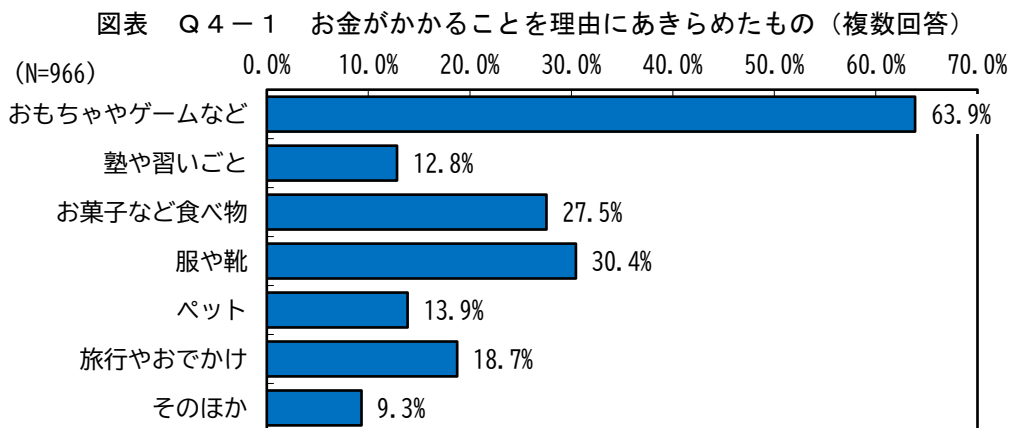
図 お金がかかることを理由になにかをあきらめた経験 × 進路を希望する理由(複数回答)

	早く働きたいから	勉強をしたくないから	学校が嫌いだから	進学するより他にやりたいことがあるから	進学するために必要なお金がないから	自分の成績から考えて	親にそう言われているから	きょうだいもそうしているから	友だちもみんな行くから	就職するために必要だから	専門的に勉強したいから	特に理由はない	その他	有効回答数
ある	154 23.6%	62 9.5%	33 5.1%	60 9.2%	36 5.5%	119 18.2%	101 15.5%	54 8.3%	55 8.4%	270 41.3%	114 17.5%	81 12.4%	38 5.8%	653 100.0%
ない	87 16.5%	35 6.6%	14 2.7%	35 6.6%	14 2.7%	73 13.8%	90 17.0%	36 6.8%	30 5.7%	193 36.6%	98 18.6%	95 18.0%	19 3.6%	528 100.0%
無回答	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---	0 ---
合計	241 20.4%	97 8.2%	47 4.0%	95 8.0%	50 4.2%	192 16.3%	191 16.2%	90 7.6%	85 7.2%	463 39.2%	212 18.0%	176 14.9%	57 4.8%	1,181 100.0%

(Q 4で「ある」を選択した人)

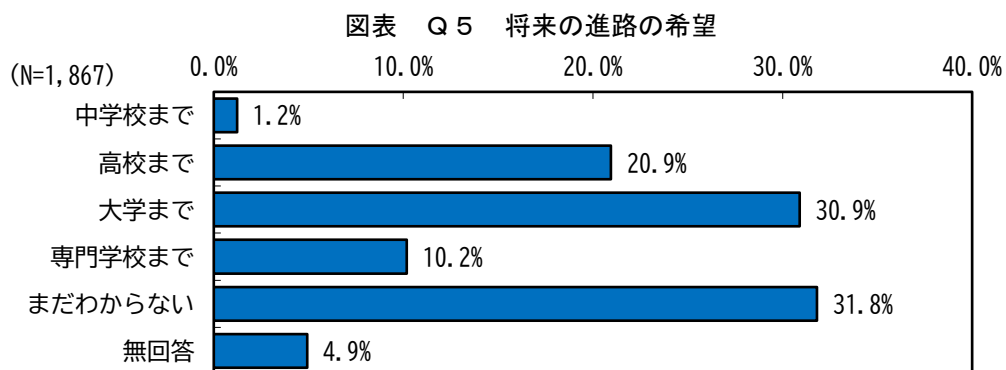
Q 4－1 あきらめたのは、どういう内容ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

お金がかかることを理由にあきらめたものについてみると、「おもちゃやゲームなど」(63.9%)が最も多く、次いで「服や靴」(30.4%)、「お菓子など食べ物」(27.5%)となっています。



Q 5 あなたは、将来どの学校まで行きたいですか。あてはまるものをひとつ選んでください。

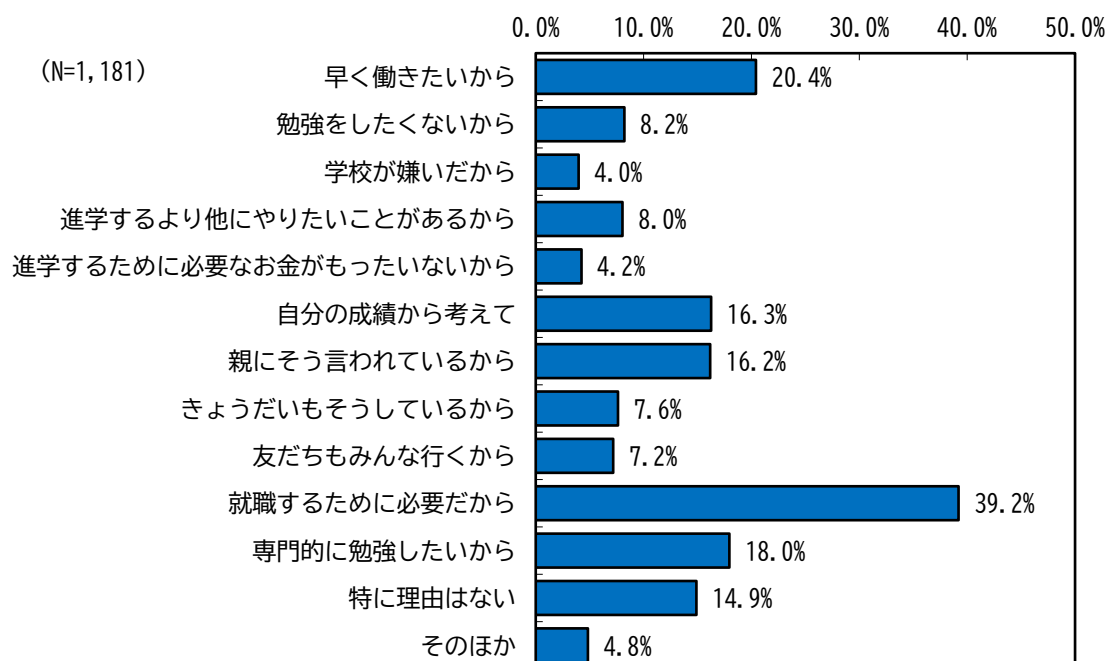
将来の進路の希望についてみると、「まだわからない」(31.8%)が最も多く、次いで「大学まで」(30.9%)、「高校まで」(20.9%)となっています。



Q 5－1 それはなぜですか。あてはまる理由をすべて選んでください。

進路を希望する理由についてみると、「就職するために必要だから」(39.2%)が最も多く、次いで「早く働きたいから」(20.4%)、「専門的に勉強したいから」(18.0%)となっています。

図表 Q 5－1 進路を希望する理由（複数回答）



Q 6 あなたは週にどのくらい食事をしていますか。

朝食

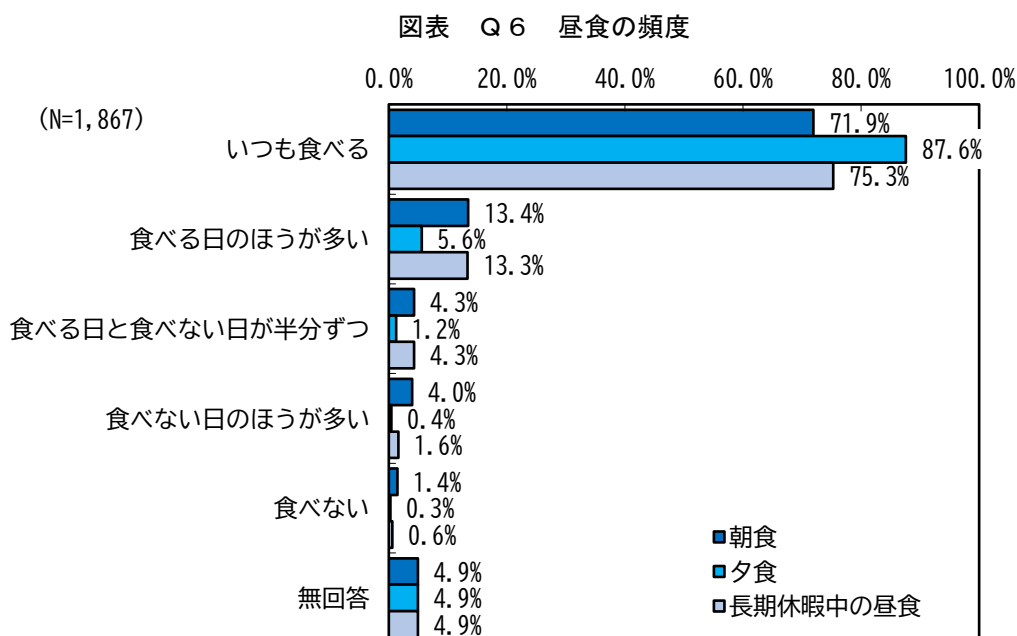
朝食の頻度についてみると、「いつも食べる」(71.9%)が最も多く、次いで「食べる日のほうが多い」(13.4%)、「食べる日と食べない日が半分ずつ」(4.3%)となっています。

夕食

夕食の頻度についてみると、「いつも食べる」(87.6%)が最も多く、次いで「食べる日のほうが多い」(5.6%)、「食べる日と食べない日が半分ずつ」(1.2%)となっています。

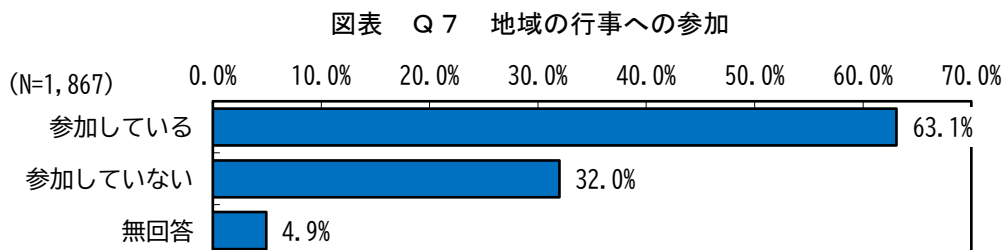
夏休みや冬休み期間中の昼食

長期休暇中の昼食の頻度についてみると、「いつも食べる」(75.3%)が最も多く、次いで「食べる日のほうが多い」(13.3%)、「食べる日と食べない日が半分ずつ」(4.3%)となっています。



Q 7 あなたは地域の行事に参加していますか。「地域の行事」とは、お祭り、運動会、クリスマス会、子ども食堂など、自治会やまちづくり協議会などが開催する行事のことです。

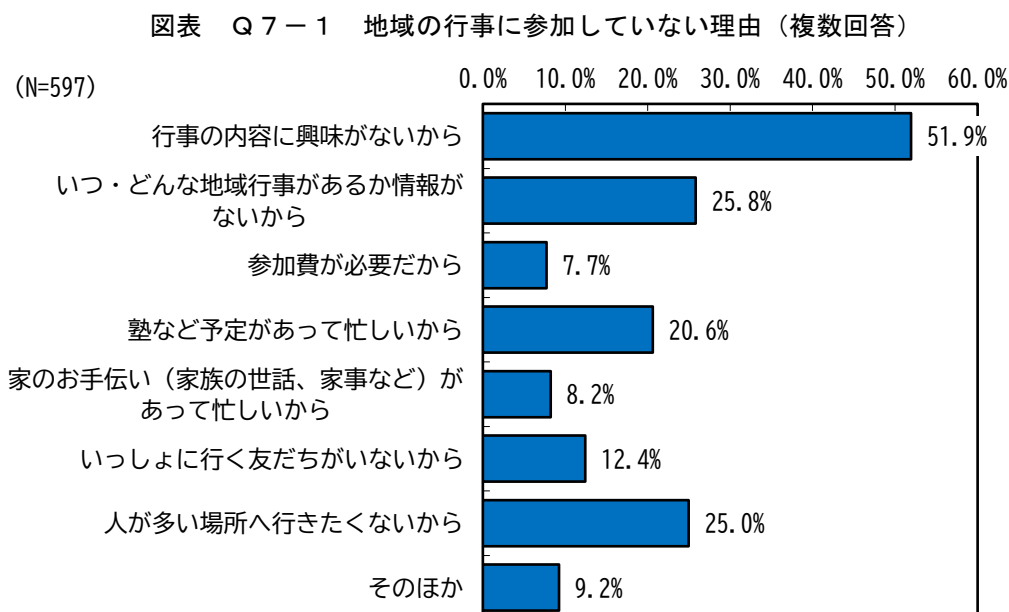
地域の行事への参加についてみると、「参加している」が 63.1%、「参加していない」が 32.0% となっています。



Q 7 で「地域の行事に参加していない」を選択した人

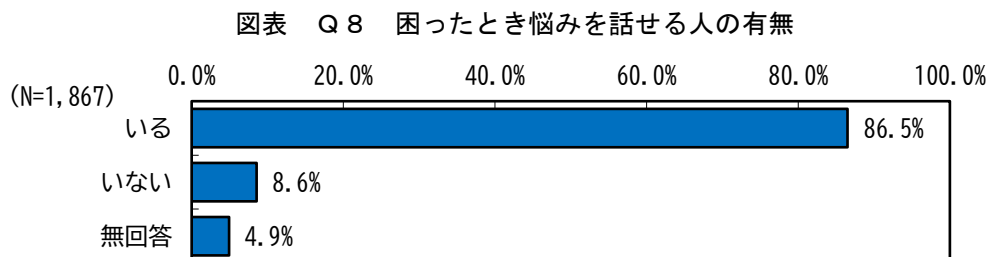
Q 7－1 それはなぜですか。あてはまる理由をすべて選んでください。

地域の行事に参加していない理由についてみると、「行事の内容に興味がないから」(51.9%) が最も多く、次いで「いつ・どんな地域行事があるか情報がないから」(25.8%)、「人が多い場所へ行きたくないから」(25.0%) となっています。



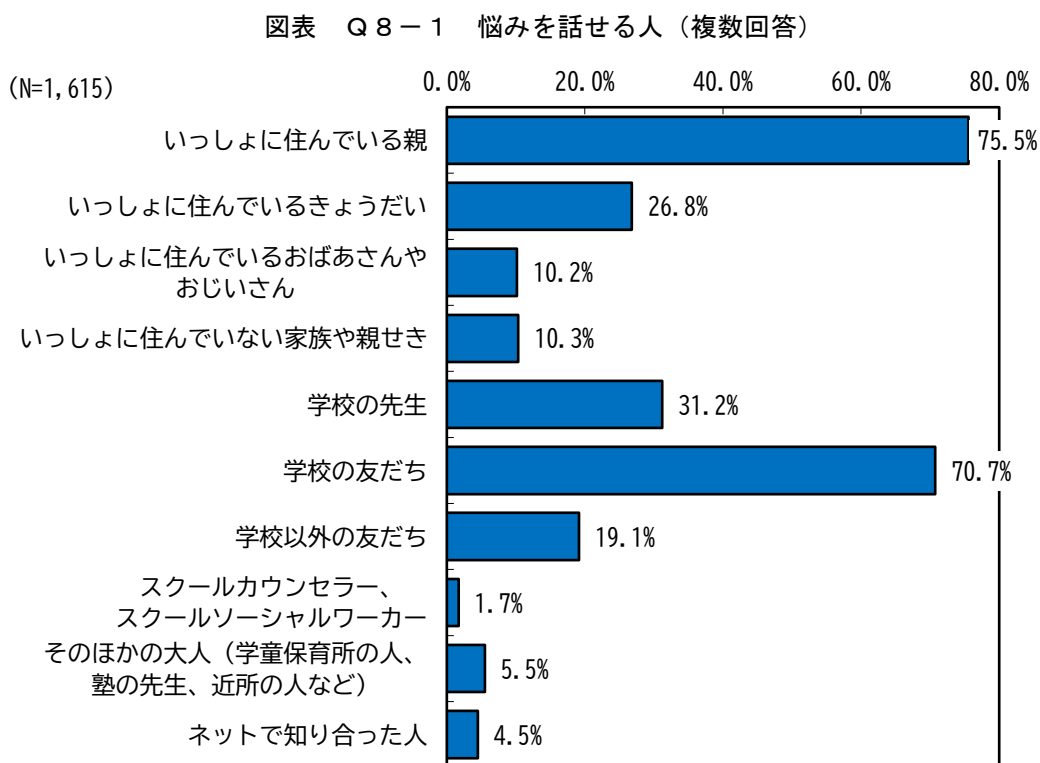
Q 8 あなたが困ったとき、悩みを話せる人はいますか。

困ったとき悩みを話せる人の有無についてみると、「いる」が86.5%、「いない」が8.6%となっています。



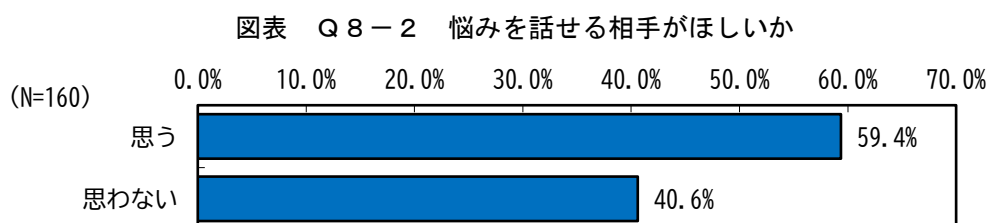
Q 8 - 1 それはだれですか。あてはまる人をすべて選んでください。

悩みを話せる人についてみると、「いっしょに住んでいる親」(75.5%)が最も多く、次いで「学校の友だち」(70.7%)、「学校の先生」(31.2%)となっています。



Q 8 - 2 悩みを話せる相手がほしいと思いますか。

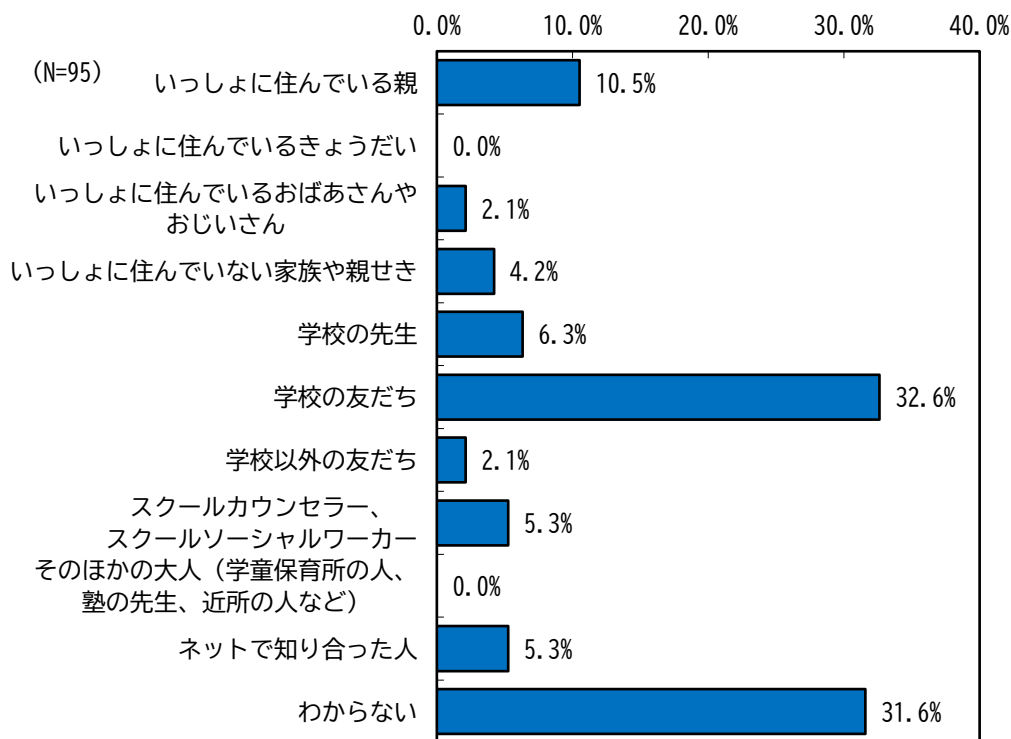
悩みを話せる相手がほしいかについてみると、「思う」が59.4%、「思わない」が40.6%となっています。



Q 8－3 どんな人に悩みを話したいですか。あてはまるものをひとつ選んでください。

悩みを話したい人についてみると、「学校の友だち」（32.6％）が最も多く、次いで「わからない」（31.6％）、「いっしょに住んでいる親」（10.5％）となっています。

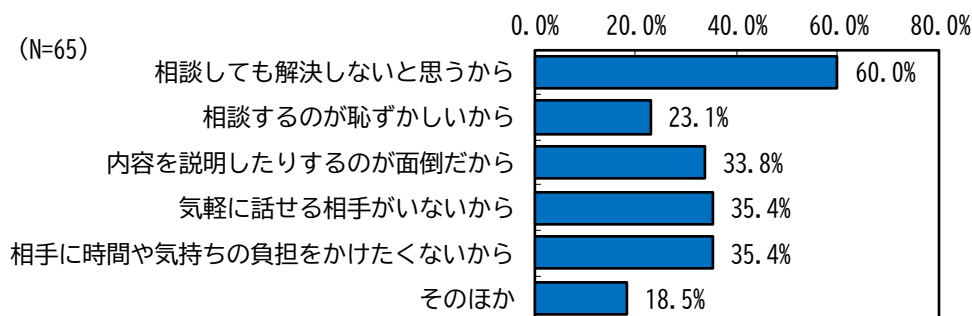
図表 Q 8－3 悩みを話したい人（複数回答）



Q 8－4 だれかに悩みを話したいと思わない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

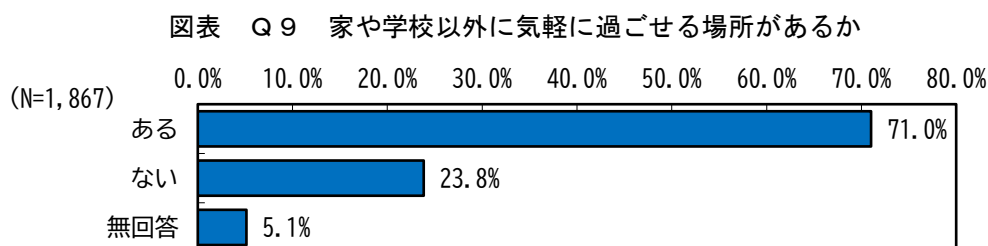
だれかに悩みを話したいと思わない理由についてみると、「相談しても解決しないと思うから」（60.0％）が最も多く、次いで「気軽に話せる相手がないから」、「相手に時間や気持ちの負担をかけたくないから」（いずれも 35.4％）となっています。

図表 Q 8－4 だれかに悩みを話したいと思わない理由（複数回答）



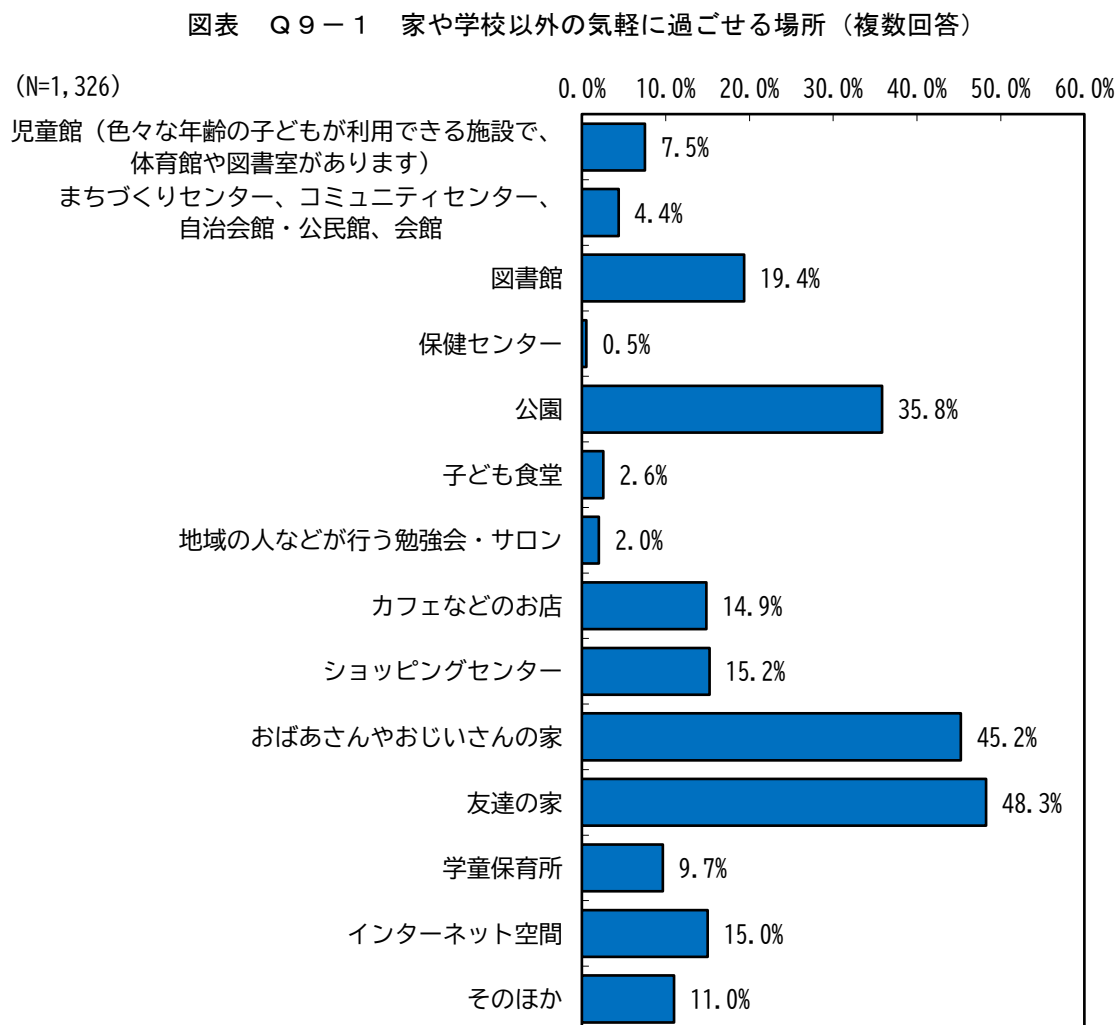
Q 9 あなたは、家や学校以外に気軽に過ごせる場所がありますか。

家や学校以外に気軽に過ごせる場所があるかについてみると、「ある」が 71.0%、「ない」が 23.8%となっています。



Q 9 - 1 そこはどのような場所ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

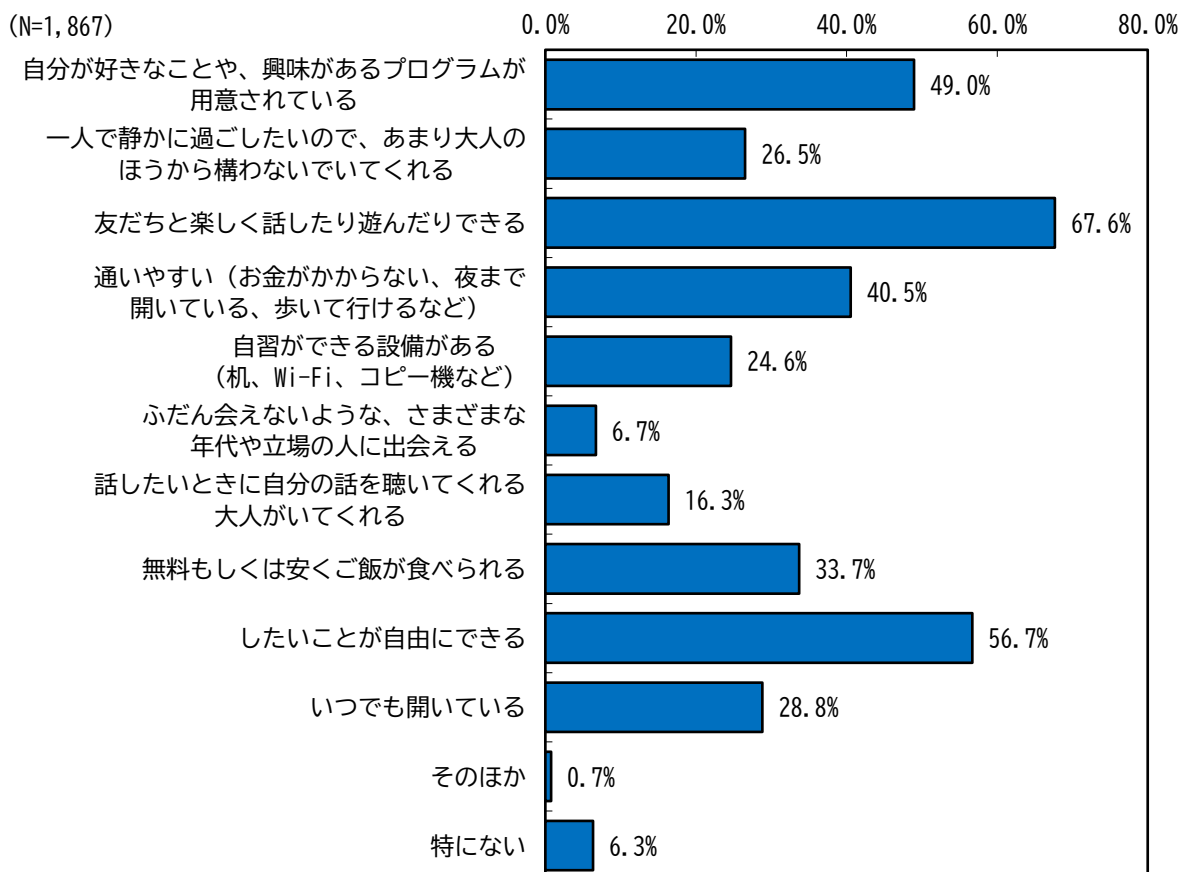
家や学校以外の気軽に過ごせる場所についてみると、「友達の家」(48.3%)が最も多く、次いで「おばあさんやおじいさんの家」(45.2%)、「公園」(35.8%)となっています。



Q10 どういう場所があれば行ってみたいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

あれば行ってみたいと思う場所についてみると、「友だちと楽しく話したり遊んだりできる」(67.6%) が最も多く、次いで「したいことが自由にできる」(56.7%)、「自分が好きなことや、興味があるプログラムが用意されている」(49.0%) となっています。

図表 Q10 あれば行ってみたいと思う場所（複数回答）



Q11 あなたが困っていること、友だちが困っていることなどがあれば、自由に書いてください。

232 人からの回答があり、合計 280 件の意見がありました。分類別にみると以下の通りです。

項 目	内 容	件数
友人との関係やいじめに関する意見	友人関係	44
	意地悪をされる、悪口を言われる	36
	いじめがある	11
	友人からの暴言・暴力	11
	喧嘩が起こること	6
	小計	108
自分自身のことについての意見	体調不良、性的なトラブル	19
	自分自身についての悩み	11
	進路・将来の悩み	10
	忘れ物が多い	6
	睡眠に問題がある	5
	運動が苦手である	3
	恋愛の悩みがある	2
	小計	56
勉強に関する意見	勉強が難しい	36
	小計	36
学校や授業、部活に関する意見	授業に集中できない	13
	他学年の生徒とのトラブル	9
	学校に行きたくない	6
	部活の人間関係	6
	小計	34
家族に関する意見	家族関係	19
	金銭面で困っている	11
	小計	30
相談に関する意見	相談相手がいない	5
	小計	5
その他の意見	その他（アンケートへの不満、インフルエンザ流行への不安、道路環境など）	11
	小計	11
合計		280

※「特になし」などの記述については意見数に計上していません。